

衆議院第七十五回帝國議會所得稅法改正法律案外三十件委員會議錄(速記)第二十一回

付託議案	所得稅法改正法律案 (政府提出) (第一 七號)	外貨債特別稅法案 (政府提出) (第八號) 外貨債特別稅法案 (政府提出) (第九號)	支那事變稅法 (政府提出) (第三二號)	出スル物品ノ内國稅免除ニ關スル
大正九年法律第五十一號中改正法律	大正九年法律第五十一號中改正法律案 (政府提出) (第一 九號)	鑄錢稅法案 (政府提出) (第一三號) 鑄錢稅法案 (政府提出) (第一四號)	臨時利得稅法中改正法律案 (政府提 出) (第一五號)	資本利稅廢止法律案 (政府提出) (第三 三四號)
大正内地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮移	地營業稅法案 (政府提出) (第一六號) 地營業稅法案 (政府提出) (第一七號)	酒稅法案 (政府提出) (第一八號) 酒稅法案 (政府提出) (第一九號)	臨時利得稅法中改正法律案 (政府提 出) (第一四號)	資本利稅廢止法律案 (政府提出) (第三 三五號)
大正内地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮移	砂糖消費稅法案 (政府提出) (第一一號) 砂糖消費稅法案 (政府提出) (第一二號)	清涼飲料稅法案 (政府提出) (第一一號) 清涼飲料稅法案 (政府提出) (第一二號)	酒稅法案 (政府提出) (第一一號) 酒稅法案 (政府提出) (第一二號)	資本利稅廢止法律案 (政府提出) (第三 三六號)
大正内地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮移	織物消費稅法案 (政府提出) (第一三號) 織物消費稅法案 (政府提出) (第一四號)	稅法中改正法律案 (政府提出) (第一一號) 稅法中改正法律案 (政府提出) (第一二號)	稅法中改正法律案 (政府提出) (第一一號) 稅法中改正法律案 (政府提出) (第一二號)	資本利稅廢止法律案 (政府提出) (第三 三七號)
大正内地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮移	發行稅法案 (政府提出) (第一三號) 發行稅法案 (政府提出) (第一四號)	發行稅法案 (政府提出) (第一三號) 發行稅法案 (政府提出) (第一四號)	稅法中改正法律案 (政府提出) (第一一號) 稅法中改正法律案 (政府提出) (第一二號)	資本利稅廢止法律案 (政府提出) (第三 三八號)
大正内地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮移	通稅法案 (政府提出) (第一五號) 通稅法案 (政府提出) (第一六號)	通稅法案 (政府提出) (第一五號) 通稅法案 (政府提出) (第一六號)	稅法中改正法律案 (政府提出) (第一一號) 稅法中改正法律案 (政府提出) (第一二號)	資本利稅廢止法律案 (政府提出) (第三 三九號)
大正内地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮移	狩獵法中改正法律案 (政府提出) (第 三〇號)	狩獵法中改正法律案 (政府提出) (第 三一號)	稅法中改正法律案 (政府提出) (第一一號) 稅法中改正法律案 (政府提出) (第一二號)	資本利稅廢止法律案 (政府提出) (第三 四〇號)
大正内地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮移	骨牌稅法中改正法律案 (政府提出) (第 一九號)	骨牌稅法中改正法律案 (政府提出) (第 二〇號)	稅法中改正法律案 (政府提出) (第一一號) 稅法中改正法律案 (政府提出) (第一二號)	資本利稅廢止法律案 (政府提出) (第三 四一號)
大正内地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮移	印紙稅法案 (政府提出) (第一七號) 印紙稅法案 (政府提出) (第一八號)	印紙稅法案 (政府提出) (第一七號) 印紙稅法案 (政府提出) (第一八號)	稅法中改正法律案 (政府提出) (第一一號) 稅法中改正法律案 (政府提出) (第一二號)	資本利稅廢止法律案 (政府提出) (第三 四二號)
大正内地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮移	明治四十四年法律第四十五號中改正 稅收二關スル件 (政府提出) (第二一號)	明治四十四年法律第四十五號中改正 稅收二關斯ル件 (政府提出) (第二二號)	稅法中改正法律案 (政府提出) (第一一號) 稅法中改正法律案 (政府提出) (第一二號)	資本利稅廢止法律案 (政府提出) (第三 四三號)

農林大臣 島田 俊雄君	入場稅法案(政府提出)	スカ、ドウナリマスカ
内務大臣 伯爵兒玉 秀雄君	印紙稅法中改正法律案(政府提出)	ルト云フコトハ、非常ニ惡イ影響ヲ青年職
厚生大臣 吉田 茂君	骨牌稅法中改正法律案(政府提出)	工其ノ他ニ與ヘシナイカト思フノデアリ
出席政府委員左ノ如シ	狩獵法中改正法律案(政府提出)	撞球ノ稅金ガ極メテ少イ所カラ課セラレテ
内務省地方局長 挟間 茂君	明治四十四年法律第四十五號中改正法律案(砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關スル件)(政府提出)	居リマス、今マデノ御説明ヲ聽キマスルト、
大藏政務次官 木村 正義君	(内地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ内國稅免除ニ關スル件)(政府提出)	大體有產階級ノ者ガ樂シミニヤルヤウニ御
大藏省主稅局長 大矢半次郎君	支那事變特別稅法及臨時租稅增徵法廢止法律案(政府提出)	考ニナツテ居フレルヤウデアリマスガ、御
大藏書記官 田中 豊君	法律案(政府提出)	意見ハ其ノ通りデスカ
營繕管財局理事 山田 義見君	營業收益稅法廢止法律案(政府提出)	○大矢政府委員 別ニ有產階級トハ申シテ
文部省圖書局長 近藤 壽治君	資本利子稅法廢止法律案(政府提出)	居リマセヌガ、大體アア云フ所ニ出入リ致
物價局次長 新倉 利廣君	法人資本稅法廢止法律案(政府提出)	シマシテ、相當ノ料金ヲ支拂ツテ居ル者ハ、
厚生省社會局長 新居善太郎君	所得稅法改正法律案(政府提出)	多少ノ負擔力アリト見マシテ、課稅致シテ
厚生省勞働局長 藤原 孝夫君	法人稅法案(政府提出)	居ルヤウナ次第デアリマス
特別法人稅法案左ノ如シ	外貨債特別稅法中改正法律案(政府提出)	○瀧澤委員 ソコデ私御話申上ゲタイコト、
配當利子特別稅法案(政府提出)	相續稅法中改正法律案(政府提出)	一面ニ於ケル見方ハ其ノ通りデアラウト思
建築稅法案(政府提出)	昭和十二年法律第九十四號中改正法律案(支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬ニ對スル租稅ノ減免、徵收猶豫等ニ關スル件)(政府提出)	ヒマスガ、一面ニ於キマシテハサウデアリ
鑄區稅法案(政府提出)	大正十三年法律第六號中改正法律案(外國船舶ノ所得稅等免除ニ關スル件)(政府提出)	マセスデ、私共ハ此ノ撞球ト云フモノヲ、
臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)	アルコール製造事業等ニ對スル所得稅等ノ免除規定ノ改正ニ關スル法律案(政府提出)	寧口獎勵シテ戴カケレバナラニヤウニ
營業稅法案(政府提出)	○堀切委員長	思ツテ居ルノデアリマス、ソレハ現ニ私ト
地租法中改正法律案(政府提出)	アルコール製造事業等ニ對スル所得稅等ノ免除規定ノ改正ニ關スル法律案(政府提出)	致シマシテモ數年前マデハ青年園ノ爲、又
酒稅法案(政府提出)	アルコール製造事業等ニ對スル所得稅等ノ免除規定ノ改正ニ關スル法律案(政府提出)	レガ段々工場ガ狹クナツタカラ、ツイ其ノ所ヲ壞シマシテ、今ハ置キマセヌガ、職工
清涼飲料稅法中改正法律案(政府提出)	提出)	ナドニ致シマシテモ青年ナドニ致シマシテ
揮發油稅法中改正法律案(政府提出)	アルコール製造事業等ニ對スル所得稅等ノ免除規定ノ改正ニ關スル法律案(政府提出)	モ、夜遊ビニ出ルノヲ、斯ウ云フ所デ愉快
物品稅法案(政府提出)	○瀧澤委員	ニ遊バセルト、惡イ遊ビノ方ヘ參リマセス、
遊興飲食稅法案(政府提出)	簡單ニ伺ヒタイト思ヒマス、	レガ段々工場ガ狭クナツタカラ、ツイ其ノ所ヲ壞シマシテ、今ハ置キマセヌガ、職工
取引所稅法中改正法律案(政府提出)	撞球ノコトデアリマスガ、交詢社トカ鐵道協會等ノ玉突ニハ課稅サレルノデアリマ	ナドニ致シマシテモ青年ナドニ致シマシテ
通行稅法案(政府提出)	ス——瀧澤君	モ、夜遊ビニ出ルノヲ、斯ウ云フ所デ愉快

ニシ、貯金ヲ五十万ニシ、政府ノ方デハ此ノ金ヲ  
ト思ツテ居ル間ニ、政府ノ方デハ此ノ金ヲ  
貸スコトハ困難ダト云フノデ、地方ヘノミ  
送ラレルヤウニナツタ、ソレデ私ハ自己資  
金ノミニ依ツテ貸付ケルコトニ、主力ヲ注  
ガナケレバナラナイカラ、ソコデ骨ヲ折リ  
マシタケレドモ、五十万圓ノ貯金ヲ集メル  
ノニ十七年掛リマシタ、又私共ノ出資ヲ五  
十万圓ニスルノハ、ヤハリ十七年掛ツテ居  
ルノデアリマス、サウ云フ間ニ事業ヲ經營  
シテ参リマスカラ、例ヘバ市街地信用組合  
一人當リノ貯金金額二百九十圓、普通銀行  
ハ一口當リ二千二百七十三圓ト云フヤウナ  
状態デゴザイマシテ、而モ貯金ヲ集メルニ  
シテモ、非常ニ努力ヲシテ尙且ツ斯様ナ狀  
態デアリマス、然ルニ利息ハ國家ノ方針ニ  
於テ安クシテヤラナケレバナラヌ、此ノ三  
千圓以上ノ貯金ニ稅金ヲ課ケルト云フコト  
ハ非常ニ宜クナイト思ヒマス、是ハドウシ  
テモイケナケレバ五千圓以上トシテ戴キタ  
イノデスガ、寧ロ此ノ信用組合貯金ニ對シ  
テハ、免稅シテ戴キタイト思ヒマス、市街  
地ハ斯ノ通リデアリマスケレドモ、全國ノ  
一万二千ノ信用組合加入者四十一万九千  
人、貯金額四百万圓、一人當リ平均十圓六  
錢ト云フ零碎ノ金ヲ集メテヤツテ居ルモノ  
デアリマスカラ、之ニ稅金ヲ課ケラレルト  
云フコトハ非常ニ酷ソヤウニ思ハレル、ノ  
ミナラズ今日ノ場合、大キナ銀行ニ集中サ  
レ、中流銀行ガ潰レタ後ヲヤツテ行クノガ  
信用組合デアリマスカラ、此ノ信用組合ハ  
尙ホ助長ヲサレルヤウナ方法ヲ取ツテ戴カ  
ナケンバ困レト思ヒマス

村方面ノ信用組合ノ預金ニ對シマシテハ、從來免稅シテ居リマシタガ、是ハ信用組合ナルガ爲ニ免稅シテ居ツタノデハナイト思フノデアリマシテ、郵便貯金ニ對シテモ免稅シテ居リマス、貯蓄銀行ノ貯金ニ對シテモ免稅シテ居ルノデアリマスガ、是ハ大體零碎ナ預金ヲ扱フ云フ趣旨ニ出テ居ルモノ存ズルノデアリマス、併シナガラ近年ノ狀況ヲ見マスト、貯蓄銀行方面ニ於キマシテ、相當多額ノ貯金ヲシテ居ルモノモ見エマス、又信用組合ニ於キマシテモ農村信用組合ハソレ程デハアリマセヌケレドモ、市街地信用組合等ニ於キマシテハ、可ナリ多額ノ預金ヲシテ居ル者モアルヤウデゴザイマスカラシテ、是等ニ對シマシテ總テ免稅スルト云フコトハ、稍免稅ノ程度ガ行過ギル感ガアルノデアリマス、今市街地信用組合ノ貯金ノ一人當リノ平均ハ、二百九十圓ダト云フコトデゴザイマス、又農村信用組合ノ方ハ十圓六十錢程度ダト云フコトデ、此ノ爲メ免稅程度ヲ三千圓ト致シマシテ、三千圓ヲ超ユル場合ニ於テ、始メテ課稅スルト云フコトニ致シマスレバ、一般大衆ノ零碎ナ貯金、預金ト云フモノハ大部分免稅セラレ、課稅ヲ受ケルモノハ極ク一部少數ノ人ニ限ルト思フノデアリマシテ、是ハ普通銀行ニ於キマシテ、總テノ預金ニ對シマシテ課稅シテ居ルノト均衡ヲ考ヘマシテモ、大體三千圓ヲ超ユル場合ニハ課稅スルト云フコトガ、寧ロ負擔ノ均衡ヲ得ルノデハナカラウカト存ズルノデアリマス、但シ從來信用組合ノ預金、貯蓄銀行ノ貯金等ニ對シマシテハ、免稅シテ居ツタノデアリマスカラ、急激ノ負擔増加モ如何カト存ジマシテ、普通銀行ノ場合ノ約半額程度ノ稅

○瀧澤委員 御趣旨ハ分ツテ居リマスケレ  
ドモ、信用組合運用ノ全體ノ上カラ見マシ  
テ、市街地信用組合ハ非常ニ困難ヲ感ズル、  
ソレハ政府ガ最初四年ノ間ハ低利資金ヲ  
其ノ當時貸シテ吳レマシタガ、今ハ一錢デ  
モ貸シマセヌ、皆自己資金ニ依ツテ賄ツテ  
居ル、サウシテ東京市ニ於キマシテモ、御承知  
ノ通リ、中流銀行ト云フモノハ全部ナクナツ  
テシマツタ、ソレデ大キナ銀行ニ行キマシテ  
モ、金融ノ途ガ容易デナイ、ソコデ信用組合  
ト云フモノヲ發達セシムテ、其ノ信用組合ノ  
金利ヲ成ベク安クサセルコトヲ考ヘテ行カ  
ナケレバ、中小商工業者ノ金融ニ非常ニ困難  
ヲ感ズルノデアリマス、震災當時、建テマシタ私  
共ノ組合ハ、日歩四錢ヲ取ツテ居リマシタノ  
ガ、漸クニシテ昨年二錢五厘、本年度ノ總會  
ノ決議デ二錢三厘ニシタ、一錢三厘ト致シ  
マシテモ銀行ノ二倍デアリマス、非常ニ高  
イ、ドウシテ斯ウ高イ金利ヲ中小商工業者  
ハ拂ナケレバナラナイカ、大キナ人達ハ  
一錢一厘、藤本「ビルブローカー」ノ如キハ  
一錢ノ金利ヲ以テ取扱ツテ居ルノニ、尙ホ  
勉強シテモ二錢三厘ノ金利ノ金ヲ使ハナケ  
レバナラナイト云フコトハ、ドウ云フ譯デ  
アルカ、銀行ハ之ニ金ヲ貸サナイ、信用組  
合ガ若シ銀行ノヤウナコトヲヤツテ居ツタ  
ナラバ、モツト安ク貸シマセウ、兎ニ角銀  
行デハ金ヲ貸サナイ、何處デモ金ヲ貸サナ  
イガ、アノ人ナラバ貸シテヤツタラ是ハ宜イ  
ダラウ、必ズ是デ利益ハ舉ゲラレルダラウ  
ト云フノデ、危險ノ程度ヲ越シデモ、其ノ  
組合員ノ便宜ヲ圖ツテ參リマスル結果、私  
共、信用組合ハ、昨年ハアリマセヌガ、一昨  
年マデ凡ソ十箇年ニ亘ツテ、年ニ一万圓ツ

ツ缺損金ヲ出シテ、ソレヲ處理シテ居リマス。ヤウナ狀態デアリマスカラ、課稅ノ方法  
ト致シマシテハ、御說モ一應ノ御理論ト存ジマスケレドモ、信用組合ト云フモノヲ生  
カシテ行ツテ、其ノ組合員ノ利益、幸福ヲ圖ルト云フ上カラ考ヘテ戴キマスト、此ノ零  
細ナル貯蓄ヲ集メテ、サウシテ三千圓ニナ  
ツテ繪メテ定期貯金ニナツタ時ニ、之ニ課  
稅セラレルト云フコトハ、零細ナル貯蓄ヲ  
シタ者ノ爲ニモ、又組合ノ預金ヲ集メル上  
ニ付テモ、銀行ト同一ノヤウニナリマスカラ  
、此ノ資金ハ皆銀行ニ行ギマス、銀行ハ  
之ヲ大金持ニ、融通ノ出來ル人ニ一錢一厘  
デ貸シマス、信用組合ハ二錢三厘デ貸シテ  
居ルモノヲ、又二錢五厘ニ上ガナケレバナ  
ラナイト云フヤウナ風ニモナツテ參リマス  
カラ、此ノ信用組合ノ貯蓄ニ課稅ヲスルト  
云フコトヲ御考慮フ戴キタイ、私共ハ又私  
共ノ考へ方デ進ンデ行ツテ見タイト思ヒマ  
スケレドモ、其ノ場合ニ於テ十分ノ御者慮  
ヲ戴キタイ、而モ信用組合ハ六分ノ配當ヲ  
許サレテ居リマスケレドモ、東京ニ於テハ  
四分五厘ヲ以テ制限ヲ受ケテ居リマシテ、  
組合員モ決シテ利息ヲ二錢三厘取ツタガ爲  
ニ、六分ノ配當ヲスルト云フノデハアリマ  
セヌ、殊ニ御承知ノ通り信用組合ノ役員ハ、  
專務ヲ除クノ外ハ殆ド名譽職デ、サウシテ  
職員モ他ノ人ヨリハ割合ニ安イ給料デ働イ  
テ居ル、其ノ剩餘金ノ出タモノニ向ツテノ  
課稅デス、此ノ點ハ他ノ人達カラモ御話ガ  
アリマシタカラ、私ハ唯此ノ程度ニ措キマ  
シテ、十分ノ御考慮ヲ戴キタイト云フコト  
ヲ申上ゲテ置キマス

第一十一回 昭和十五年三月十一日

○大矢政府委員、市街地信用組合其他農産

マシテ、普通銀行ノ場合ノ約半額程度ノ稅

年マデ凡ソ十箇年ニ瓦ツテ、年ニ一万圓ヅ

信用組合ノ經營ノ相當困難デアルト云フコ

トハ、私共モ十分認マテ居リマス、大震災後  
ニ於キマシテ東京市ノ復興ノ爲ニ、政府ガ  
色々助成ノ措置ヲ執ツタノデアリマスガ、  
此ノ場合ニ於キマシテ、東京市内ノ市街地  
信用組合ニ低利資金ノ融通等ニ付キマシテ、  
相當是ガ保護助長ノ途ニ出タノハ仰セノ通  
體ガ、ドウモ中々困難ノコトカト存ズルフ  
デアリマス、併シナガラ東京、大阪ノ如  
キ大都市ニ於テノ市街地信用組合ノ經營自  
中小商工業者ニ對スル金融ト云フコトヲ考  
ヘテ居リマスルガ、一面ニ於キマシテ、最近  
ニ於元ハ普通銀行等ニ於キマシテモ、相當  
マシテモ、之ニ對シテ相當補償制度ヲ採ル  
ト云フ風ニシテ、各種ノ方面カラ中小商工  
業者ノ金融ニ關シテ考慮シテ居ル次第ア  
リマス、私共モ大都市ニ於ケル市街地信用  
組合ノ効キ其ノモノニ對シマシテハ、十分  
ニ認識ヲ持ツテ居ル積リデアリマスルガ、  
唯前ニモ申上ゲマシタ通り、一口三千圓ヲ  
超エルト致シマスルト云フト、此ノ種ノ貯  
金、預金ト致シマシテハ、相當多額ト申シ  
テモ宜イカト存ジマス、一面ニ於テ百分ノ  
五程度ノ税率デ課税ヲ受ケマシテモ、税引  
キノ裕リガ著シク減殺シテ、信用組合ニ預  
金シテ居ル者ガ、其ノ課税ノ負擔ノ爲ニ、  
之ヲ引出シテ他ノ金融機關ニ持ツテ行クト  
云フ程度ニハ至ラナイデハナカラウカ、斯様  
ハ已ムヲ得ナイコトデハナカラウカ、斯様  
ニ考ヘテ居リマス。

○瀧澤委員 已ムヲ得ナイト云フ御考ト、  
サウデナイ考ガアルト云フコトダケ申上ゲ  
テ、次ノコトニ移リマス

○堀切委員長 瀧澤君、文部省ノ政府委員  
ガ見エラレテ居リマス

○瀧澤委員 ソレデハ丁度宜イ折デスカ  
ラ、斯ウ云フコトヲ文部省ニ御伺致シタイ  
ト思ヒマス、私ハ特ニ今日文部省ノ御出席  
ヲ求メタ理由ハ、昨年マデ増税ニ次グ増税  
デ、三箇年引續イテ六億、本年ハソレニモ  
勝ル増税デアリマス、是ハ幸ニ十二年、十  
三年、十四年ト納税ノ成績ハ好クナツテ參  
ツテ居リマス、併シナガラ是ハ本當ニ舉國  
一致、戰線ノ勇士ト云フコトヲ考ヘ、而シ  
テ又利益モアリマシタカラ、昨年マデハサ  
ウナツテ參リマシタ、本年ハ此ノ増税ニ次  
グ増税、サウシテ尙ホ増税ヲセラレル先行  
キデアリマスカラ、サウ云フ場合ニ國民ガ  
喜ンデ税金ヲ納メルヤウニ、常ニ教育シテ  
行カナケレバナラナイ、斯ウ云フコトヲ考  
ヘテ居リマス、私共ノ小學教育ヲ受ケタ時  
分ハ、憲法發布モアリマセヌシ、議會モナ  
イ時ノ小學教育ヲ受ケタノデスカラ、税金  
ノコトナドヲ小學校デ教ハツタカ教ハラナ  
イカ分リマセヌ、併シ吾々ノ小學校ノ教育  
ノ如キハ、天下國家ト云フコトヲ先ニ頭ニ  
入レラレマスカラ、天下國家ヲ考ヘル時ニ  
ハ、税金ハ當然出スノダト云フ風ニ考ヘテ  
居リマス、併シ今日サウ云フヤウナ事柄カ  
ラ考ヘテ見マシテ、ドウシテ國民ニ此ノ納  
税ノ義務ヲ本當ニ果シテ行クコトヲ教ヘテ  
戴カナケレバナラナイ、コンナヤウナ見地  
カラ、私此ノ頃教科書ヲ見タ所ガ、納税ニ對  
スル教ヘ方ガ、今日ノ場合極メテ幼稚デア  
ルト考ヘタノデアリマス、例ヘバ納税ノコ  
トニ關シテ、國史ニハ足利尊氏ガ非常ニ稅  
金ヲ苛斂誅求シタ云フコトガ書イテアル  
位ナコトデ、是ハ國史ノ上カラ見テ、足利

尊氏ヲドウ云フ風ニ見タ關係カラ、斯ウ云  
フ風ニ國史ニ書レテアルカ、文部省ノ考ハ  
分リマセヌガ、其ノ他小學校ノ讀本ヲ此ノ間  
調べテ見マシタガ、税金ト云フコトニ關ス  
ル書キ方ガ極メテ少イノデス、尋常小學ノ  
卷五ニ「戰費ノタメニ、税ハ平時ヨリモ大サ  
シタ」、是ハ日露戰爭當時ノコトヲ書イタノ  
デアリマス、ソレカラモウ一ツ卷四ノ方ニ、  
是バ「ブラジル」カラ歸ツテ來タ人ノ話ダト  
云フノデ外國ノコトデス、「ブラジル」デハ  
「税ヲ納メル頃ニハ、赤ト白トヲ染分ケタ旗  
ガ、高イ所ニ立チマス、早ク税ヲ納メルヤ  
ウニトノ注意デスガ、誰モ後レル者ハアリ  
マセン」ト云フヤウナコトデ、一ツノ例トシ  
テ出テ居ル、ソレカラ更ニ昔ノ教科書ハ、  
アナタ方モ御承知デアリマセウガ、私共ノ  
教ハツタ時ノ教科書ニハ實ニ如何ハシイコ  
ト、今日ナレバトテモ大問題ヲ惹起スルヤ  
ウナコトガ、平然トシテ書イテアツタ、私  
共色々教ヘテラタコトハ忘レテシマツタケ  
レドモ、唯一ツ頭ニ残ツテ居ル、此處デ申  
上ゲルコトモ如何カト思フコトダケガ印象  
深クサレテ居ルノデスカラ、小國民ノ心ヲ  
尊嚴ヲ保ツ所以ハ納税ニアル、斯ウ云フコ  
トカラ考ヘマシテ行カナケレバナラヌト私  
共ハ思フ、ソコデ修身書ノ六ニハ「國稅ハ法  
律デキマリ、府縣稅市町村稅ハ法律デ定メ  
ラレタ範圍内デ、ソレド、府縣會市町村會  
ノ議決デキマリマス、我等ハコレラノキマリ  
ニ從ツテ稅金ヲ納メルノデス」唯斯ウ云フコ  
トダケガアルノデス、モウ一ツ私共ハ能ク  
マシテモ、兵役ノ義務ト同様ニ國民ノ義務

フコトヲ教ヘルモノトシテハ漸ク卷七ノ第  
十八ニ「五作デイサン」ト云フ話ガタツターツ  
アル、而モ是ハ例話デス、假設ノ人物ヲ借  
リテ來テ收入役ト五作デイサンノ一つノ例  
話ニ過ギナイ、是デハ小國民ノ頭ニビント  
來マセヌ、何處ノ何縣ノ誰ノ誰兵衛ハ、ドウ  
云フ風ニシテ納稅ヲ能クシタノダ、ソレガ  
爲ニ内務省ガ之ヲ表彰シタトカ、ソレニ木  
杯ヲ賜ツタト云フコトデアツタナラバ、小  
國民ノ頭ニビント來マスケレドモ、是ハ六學  
年ヲ通シテ七ノ所ニ「五作デイサン」ト云フノガ  
唯一ツアルダケデス、斯ウ云フ風ニ全體  
ヲ通ジテ是ダケシカナインデアリマス、  
唯日露戰爭ノ時ノ納稅ノコトニ關シタ話ガ  
アルダケデアル、既ニ今日ハ事變後三年、  
四年ニナツテ、サウシテ增税ニ次グニ增税  
又增税、之ヲドウシテモ國民ハ喜ンデ納付  
スルヤウニシテ行カナケレバナラナイト思  
ヒマス、之ヲ私ハ文部省ノ手ヲ借りリテ、此  
ノ教科書ニモツト、日本國體、兵役ノ義  
務ニ次イデ、此ノ納稅ノ義務、其ノ納稅ノ  
義務ト兵役ノ義務ニ付テ、日本ノ國體ヲ有  
ニル方法ニ於テ説明シテアリマスケレドモ、  
此ノ國體ノ尊嚴ヲ保ツテ行ク爲ニ、此ノ納  
稅ニ付テノ書キ方ガ非常ニ少イコトヲ、私  
ハ遺憾ト存ジマス、文部省ノ手ヲ通ジテ、  
モツト此ノ教科書ニ力ヲ注イデ戴カナケレ  
バナラヌ、殊ニ是カラ吾々ハ本當ニ苦痛ヲ  
嘗メナケレバナラヌ今日ノ狀態デアリマス  
ノデ、サウ云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマ  
ス、文部省ノ御考ハ如何デスカ

○近藤政府委員 御答致シマス、只今ノ瀧  
澤サンノ御意見ハ、洵ニ御尤モナコトト存  
ジテ居ルノデアリマシテ、吾々ノ方ニ於キ

トシテ、而モ又益、國運ヲ進展セシメル吾々  
行カナケレバナラヌト云フコトニ對シテヘ、  
沟ニ御同感デアリ、其ノ積リデ今後トモヤ  
ツテ行キタイト存ジテ居ルノデアリマス、  
只今御説明ガアリマシタヤウニ、此ノ七ノ卷ト  
云フノハ國語讀本デアリマスガ、是ハ丁度四  
年生ニナル頃ナノデス、其ノ當時ノ子供デ  
アリマスカラ、隨テ國語讀本デハ、サウ云  
フ「五作ディサン」ノ話ヲ以テ、納稅ニ對  
スル一ツノ心構ヘヲ與ヘヨウト致シテ居ル  
ノデアリマスガ、其ノ他ニ四年生ニハ修身  
書ノ四ノ「我ガ郷土」ト云フ所デ、サウ云フ  
問題ヲ取扱ハシテ居ルノデアリマス、更ニ  
尋常小學校修身ノ五ノ卷デ「勤勞」ト云フ  
所ニ、伊豫ノ農夫ノトコトはハ徳川時代デア  
リマスガ、租稅ノ問題ヲ擧ゲマシテ、自己  
ノ勤勞、又勤勞ニ依ツテ納稅スルト云フコ  
トガ、如何ニモ尊イコトデアルト云フ積リ  
デ五年生ノ修身書ニハ掲ゲテ居ルノデアリ  
マス、更ニ小學六年ノ國民ノ義務ト云フ所  
デ、先程御話ノアツタヤウナ兵役ト納稅ト  
云フコトガ、二大義務デアルト云フ積リデ  
掲ゲテ居ルノデアリマスガ、更ニ高等小學  
校修身書ノ二ノ卷デ、國憲國法ト云フ所デ、  
租稅ノコトヲ掲ゲテ居ルノデアリマス、國  
語讀本ノ方デハ高等小學校ノ三ノ卷、即チ  
高等小學二年生ノ所デハ、男女用及ビ農村  
用トモ、第十五課ニ租稅ト云フ題目ヲ置キ  
マシテ、租稅一般ニ付テ記述シテ居ルト云  
フヤウナ態度ヲ執ツテ居ルノデアリマス、  
更ニドウシテモ國民全般ノ基礎教育デアル  
此ノ小學教育ニ於テ、斯ウ云フ心得ヲ持タ  
セルニハ、教員ガヤハリ其ノ心持デ、ソレ  
ニ對スル理解ト云フモノガ深クナイト、其

ノ效果ガ擧リヤセヌカラ、ソコデ師範教育ニ對シテハ、特ニ此ノ點ニ留意ヲ致シマシテ、師範學校デ使ヒマスル「公民」是ハ文部省デ編纂シテ居ルノデアリマスガ、師範公民書上ノ卷、詰リ是ハ師範四年生デアリマスガ、四年生デ用ヒルモノニハ、市町村民ノ心得ト云フノデ、納稅ニ對スル心得ヲ相當詳シク説キ、又是ノ教師用ニ於テハ、隨テ農村子弟バカリデハナク、小學校ノ兒童ヲ取扱フ場合ニ、十分此ノ點ニ理解ヲ持ツヤウニト云フ注意ヲ與ヘテヤツテ居リマスガ、更ニ師範ノ五年生デ用ヒマス公民教科書ノ下ノ卷ト云フモノニ於キマシテハ、ヤハリ第六課ニ於テ今御話ノヤウナ、斯ウ云フ事變ノ時バカリデハナイ、今後本當ニ吾吾ガ納稅ト云フコトヲ心持好ク勇ンデヤラケレバナラスト云フコトハ、何トシテモ我ガ國體ヲ理解シ、吾々ノ生活ト云フモノガ、國家町村ニ依存シテ居ル生活カラ出發セネバナラヌ、ソレニハ納稅ト云フコトガ、ドウ云フ基本ヲ爲スモノデアルカト云フコトニ付テ、相當詳シク書キ、今後ニ對スル心構ヲ教ヘルコトニ努力ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、明年カラ國民學校ガ實施サレルコトデアリマスカラ、一層今後ノ對策トシマシテモ、國運發展ノ根抵ヲ培フ上カラシマシテモ、今御話ノヤウナ御精神ハ十分ニ體シテ、一層は深刻ニシテ、唯期日ヲ違ヘズニ出ストカ云フコトダケデハナシニ、モット根本的ニ斯ウ云フモノニ對スル認識ヲ能ク深メルヤウニ兒童ヲ導イテ行キタイ、新シイ編纂ニ於キマシテハ、其ノ點ヲ十分心得テ參りタイ、斯様ニ存ジテ居リマス

談ガアリマス、ソレハ數學ノ教科書ノ中ニ  
ヤハリ是ト關聯シテ納稅ニ關スルコトガ、  
租稅ヲ中ニ十四題、色々ナ例ヲ設ケテ算盤  
ヲ教ヘテ居リマス、所デ私ノ註文ト云フノ  
ハ、今度稅法ガ改正サレマスレバ、勤勞所  
得卽チ役人サン達或ハ會社員等ハ、三千  
圓取ル人ガ百四十四圓ノ稅金デ濟ム、ソレ  
カラ五千圓取ル局長級ノ人ハ二百六十四圓  
デ濟ム、然ルニ私共ノヤウニ事業ヲシテ働  
イテ居ル工場ノ人デ、一千圓取ル人ハ二百  
五十六圓ノ負擔ヲスル、三千圓取ル人ハ四  
百一圓、五千圓取ル人ハ六百九十一圓ト云  
フ稅金ヲ拂フ、勤勞所得ト事業所得ト斯ウ  
云フ風ナ違ヒガアル、ソコデ工業地帶ノヤ  
ウナ所、或ハ商業地帶ノヤウナ所、或ハ地  
方農村ニ於キマシテ、普通カラ云ヘバ洋服  
ヲ著テ立派ニシテ行ク人ハ安イ稅金デ濟ム  
ノダ、眞黒ニナツテ吾々ノヤウナ家ニ住ン  
デ工場ニ働く人ハ高イ稅金ヲ拂フ、  
之ヲ此ノ數學ノ所デ教ヘテ貰ヒタイ、然ラ  
ザレバ稅金ヲ納メロ／＼ト云ツテモ、子供  
ガ家へ歸ツテ見テ、勤勞所得ハ八十四圓シ  
カ出サナイガ、オ父サン、家デハ二百五十五  
六圓出スノダ、何ト子供ニ説明シテ喜ンデ  
出スト云フコトニ教ヘラレマスカ、是ハ一  
ツドウ云フ風ニ御教ニナルカ文部省圖書局  
長ノ御説明ヲ承リタイ

居ル者ハ三倍ノ税金ダト言ハレタ時、是ハ本當ニ深刻デス  
モウ一ツ是ハ別ナ方面デ、大藏省ノ人ニ申上ガルノデスガ、私ハ圖書局長ニ下ウシテ之ヲ御直シニナツカト云フ一ツノ點ヲ伺ヒタイ、是ハ昭和九年ニ修正サレテ居ツテ、昨年マデ使ハレタ教師用卷ノ六、尋常小學校修身デ六年生ニ教ヘル租稅ノ所ニス、「租稅ハ法律ノ定ムル所ニ從ヒテ國民ニ賦課セラル、即チ國稅ハ帝國議會ノ協賛ノ經、府縣稅及ビ市町村稅ハ法律ノ定ムル範圍内ニ於テソレドヽ府縣會・市町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム、而シテ此等ノ議事ニ參與スル議員ハ我等ノ選舉セルモノナルガ故ニ、租稅ノ規則ヲ定ムルニハ、我等自ラ之ニ關與スルモノトイフヲ得ベシ」洵ニ憲カニ書イテアル、吾々ガ決メルコトハ國民自ラガ決メル、所ガ是ハ昨年斯ウ云フ風ニ訂正サレテ居ル、增稅ニ次グニ增稅ノ際ノ十四年ノ六月二十九日ニ修正サレタ、最初ハ同ジダガ、終ヒハ非常ニ違フ、「租稅ハ法律ノ定メル所ニ從ツテ國民ニ賦課サレマス、即チ國稅ハ帝國議會ノ協賛ヲ經、府縣稅及び市町村稅ハ法律ノ定メル範圍内デ、ソレゾレ府縣會・市町村會ノ議決ヲ經テ定メラレマス、サウシテ是等ノ議事ニ參與スル議員ハ國民ニヨツテ公選サレタ者デアリマス、ソレ故租稅ノ賦課ガ公平適正ニ行ハレルコトハ、イフマデモアリマセン」増稅ニ次グニ増稅、又更ニ大増稅ヲセントスル、其ノ途中ニ斯ウ云フ風ニ改正サレタ、此ノ改正サレタ理由ハ果シテドウ云フ爲デアルカ、御考ヲ承リタイ

共ハ斯ウ云フ税革ノ案ガ出ルコトヲ目シテ  
ヤツタノデモ何デモナインデアリマシテ、  
前ノ説明ト今度ノ説明ガ、根本的ニ違ツテ  
居ルト云フ譯ノモノデハナイト思ヒマズケ  
レドモ、公平適正ニ行ハレマスト云フノハ  
前フヤウニヤハリ議員ノ方々ガソレドモ府  
縣會及ビ國會ニ於テ之ニ協賛ヲ與ヘラレ  
テ、公平適切ナ法律ガ決マルト云フコトニ  
基礎ヲ置イテ書イテ居ルノダラウト思ヒマ  
ス、別ニ今御話ノヤウニ、是カラ大キナ稅  
制ノ改革ガアル、其ノ前ニ斯ウ云フモノヲ  
豫防線ニ張ルト云フ心持デ、決シテ書イテ  
居ル譯デハナインデアリマス

○瀧澤委員 或ハサウ云フ心持デナイカト  
思ヒマスガ、私共ノ見ル所ニ依ルト、官僚  
全體ヲ通ジテ潜在意識ニ是ガアル、ソコデ  
之ヲ通ジテ國民ガ見タナラバ、此ノ増稅ハ  
議員ガ公平適正ニ定メタノデアルト云フ譯

ス、ナゼ無視サレルノデアリマスカ、石鹼、  
齒磨ナドハ國民保健ノ上カラ見テ物品稅ヲ  
課ズベカラザルモノデアル、綠茶モサウデ  
アルト云フコトガ昨年三月此處デ論議セラ  
レテ、アナタ方モ同意シテ之ヲ削ツタモノ  
デス、然ルニ數箇月ヲ經ナイ間ニ、アナタ  
方ガ立案サレタモノノ中ニハ、此ノ議會ガ  
イケナイト言ツテ三箇月カ四箇月前ニ除イ  
タモノヲ、又更ニ此處ニ御出シニナルト云  
タモノヲ如何ニモ議會ノ意思ヲ無視シタモ  
ノデアラウト云フ御趣旨ノ御尋ガゴザイマ  
シタガ、是ハ決シテ左様デハナインデアリ  
マシテ、昨年ハ御承知ノ通り臨時利得稅及  
ビ物品稅等ノ增稅デゴザイマシテ、國稅全  
般ニ瓦ル增稅デハナカツタノデアリマス、  
増稅ノ規模モ比較的少ナカツタノデアリマ  
スガ、此ノ度ハ廣ク國民ニ負擔シテ戴カウ  
ト云フ趣旨ニ於キマシテ、所得稅方面ニ於  
テモ隨分課稅最低限ヲ引下グタノデアリマ  
ス、消費稅方面ニ於キマシテモ獨リ物品稅  
ノミナラズ、從來何回カノ增稅ニ當リマシ  
テモ、增稅致シナカツタ織物消費稅ニ對シ  
テモ增稅致シテ居ルノデアリマシテ、サウ  
云フ觀點カラ致シマスレバ、昨年ノ議會ニ  
於テ修正削除セラレマシタ石鹼、齒磨或ハ  
綠茶等ニ付キマシテモ、再檢討ヲ要スルノデ  
スカラ、今日マデアナタ方ノ立案セラレマシテ  
中ニハ、隨分無理アリ、其ノ無理ヲ私共  
モ、社會ノ實情ニハ頗る遠ザカツテ居ルモ  
ノガアルカラ、先般モ社會ノ實情ニ即シテ  
ト言ハレマシタケレドモ、社會ノ實情ニ即  
シテ居ルノハ吾々議員デアリマスカラ、議  
員ガ申述べル所ヲ能ク參酌セラレマシテ、

若シ是等ニ付テ修正ガアルト致シマシタナ  
ラバ、アナタ方ハ之ニ欣然トシテ同意セラ  
レナケレバナラナイト云フコトヲ申上ゲテ  
置キマス、然ラザレバ吾々ダケ責任ヲ負ハ  
サレル此ノ心持ガアナタ方ニナイカラ、吾  
吾議員ノ意思ノ存スル所ヲ無視サレルフデ  
ス、ナゼ無視サレルノデアリマスカ、石鹼、  
齒磨ナドハ國民保健ノ上カラ見テ物品稅ヲ  
課ズベカラザルモノデアル、綠茶モサウデ  
アルト云フコトガ昨年三月此處デ論議セラ  
レテ、アナタ方モ同意シテ之ヲ削ツタモノ  
デス、然ルニ數箇月ヲ經ナイ間ニ、アナタ  
方ガ立案サレタモノノ中ニハ、此ノ議會ガ  
イケナイト言ツテ三箇月カ四箇月前ニ除イ  
タモノヲ、又更ニ此處ニ御出シニナルト云  
タモノヲ如何ニモ議會ノ意思ヲ無視シタモ  
ノデアラウト云フ御趣旨ノ御尋ガゴザイマ  
シタガ、是ハ決シテ左様デハナインデアリ  
マシテ、昨年ハ御承知ノ通り臨時利得稅及  
ビ物品稅等ノ增稅デゴザイマシテ、國稅全  
般ニ瓦ル增稅デハナカツタノデアリマス、  
増稅ノ規模モ比較的少ナカツタノデアリマ  
スガ、此ノ度ハ廣ク國民ニ負擔シテ戴カウ  
ト云フ趣旨ニ於キマシテ、所得稅方面ニ於  
テモ隨分課稅最低限ヲ引下グタノデアリマ  
ス、消費稅方面ニ於キマシテモ獨リ物品稅  
ノミナラズ、從來何回カノ增稅ニ當リマシ  
テモ、增稅致シナカツタ織物消費稅ニ對シ  
テモ增稅致シテ居ルノデアリマシテ、サウ  
云フ觀點カラ致シマスレバ、昨年ノ議會ニ  
於テ修正削除セラレマシタ石鹼、齒磨或ハ  
綠茶等ニ付キマシテモ、再檢討ヲ要スルノデ  
スカラ、今日マデアナタ方ノ立案セラレマシテ  
中ニハ、隨分無理アリ、其ノ無理ヲ私共  
モ、社會ノ實情ニハ頗る遠ザカツテ居ルモ  
ノガアルカラ、先般モ社會ノ實情ニ即シテ  
ト言ハレマシタケレドモ、社會ノ實情ニ即  
シテ居ルノハ吾々議員デアリマスカラ、議  
員ガ申述べル所ヲ能ク參酌セラレマシテ、

○大矢政府委員 私共ガ此ノ稅制改正案ヲ  
立案スルニ當リマシテハ、勿論此ノ租稅  
ノ生産ハ負擔ノ均衡ヲ得ルト云フコトニア  
ルト固ク信ジテ居リマスノデ、有ユル觀點  
カド検討致シマシテ、是ガ負擔ノ均衡ヲ得  
タ案デアルト信ジマシテ提案致シタ次第デ  
アリマス、而シテ從來議會ノ協賛ヲ得テ法  
律ニナツテ成立シタモノモ、議會ニ於テ十  
分御審議ヲ願ツテ、是ガ最モ適切妥當ナル  
案デアルト云フ意味ニ於テ、御協賛ヲ得タ  
モノト信ズル次第デアリマス、ソレデ昨年  
提案シテ議會ニ於テ修正致サレマシタ茶、  
齒磨或ハ石鹼等ニ對スル課稅ヲ再び提案シ  
タノハ、如何ニモ議會ノ意思ヲ無視シタモ  
ノデアラウト云フ御趣旨ノ御尋ガゴザイマ  
シタガ、是ハ決シテ左様デハナインデアリ  
マシテ、昨年ハ御承知ノ通り臨時利得稅及  
ビ物品稅等ノ增稅デゴザイマシテ、國稅全  
般ニ瓦ル增稅デハナカツタノデアリマス、  
増稅ノ規模モ比較的少ナカツタノデアリマ  
スガ、此ノ度ハ廣ク國民ニ負擔シテ戴カウ  
ト云フ趣旨ニ於キマシテ、所得稅方面ニ於  
テモ隨分課稅最低限ヲ引下グタノデアリマ  
ス、消費稅方面ニ於キマシテモ獨リ物品稅  
ノミナラズ、從來何回カノ增稅ニ當リマシ  
テモ、增稅致シナカツタ織物消費稅ニ對シ  
テモ增稅致シテ居ルノデアリマシテ、サウ  
云フ觀點カラ致シマスレバ、昨年ノ議會ニ  
於テ修正削除セラレマシタ石鹼、齒磨或ハ  
綠茶等ニ付キマシテモ、再檢討ヲ要スルノデ  
スカラ、今日マデアナタ方ノ立案セラレマシテ  
中ニハ、隨分無理アリ、其ノ無理ヲ私共  
モ、社會ノ實情ニハ頗る遠ザカツテ居ルモ  
ノガアルカラ、先般モ社會ノ實情ニ即シテ  
ト言ハレマシタケレドモ、社會ノ實情ニ即  
シテ居ルノハ吾々議員デアリマスカラ、議  
員ガ申述べル所ヲ能ク參酌セラレマシテ、

立案スルニ當リマシテハ、勿論此ノ租稅  
ノ生産ハ負擔ノ均衡ヲ得ルト云フコトニア  
ルト固ク信ジテ居リマスノデ、有ユル觀點  
カド検討致シマシテ、是ガ負擔ノ均衡ヲ得  
タ案デアルト信ジマシテ提案致シタ次第デ  
アリマス、而シテ從來議會ノ協賛ヲ得テ法  
律ニナツテ成立シタモノモ、議會ニ於テ十  
分御審議ヲ願ツテ、是ガ最モ適切妥當ナル  
案デアルト云フ意味ニ於テ、御協賛ヲ得タ  
モノト信ズル次第デアリマス、ソレデ昨年  
提案シテ議會ニ於テ修正致サレマシタ茶、  
齒磨或ハ石鹼等ニ對スル課稅ヲ再び提案シ  
タノハ、如何ニモ議會ノ意思ヲ無視シタモ  
ノデアラウト云フ御趣旨ノ御尋ガゴザイマ  
シタガ、是ハ決シテ左様デハナインデアリ  
マシテ、昨年ハ御承知ノ通り臨時利得稅及  
ビ物品稅等ノ增稅デゴザイマシテ、國稅全  
般ニ瓦ル增稅デハナカツタノデアリマス、  
増稅ノ規模モ比較的少ナカツタノデアリマ  
スガ、此ノ度ハ廣ク國民ニ負擔シテ戴カウ  
ト云フ趣旨ニ於キマシテ、所得稅方面ニ於  
テモ隨分課稅最低限ヲ引下グタノデアリマ  
ス、消費稅方面ニ於キマシテモ獨リ物品稅  
ノミナラズ、從來何回カノ增稅ニ當リマシ  
テモ、増稅致シナカツタ織物消費稅ニ對シ  
テモ增稅致シテ居ルノデアリマシテ、サウ  
云フ觀點カラ致シマスレバ、昨年ノ議會ニ  
於テ修正削除セラレマシタ石鹼、齒磨或ハ  
綠茶等ニ付キマシテモ、再檢討ヲ要スルノデ  
スカラ、今日マデアナタ方ノ立案セラレマシテ  
中ニハ、隨分無理アリ、其ノ無理ヲ私共  
モ、社會ノ實情ニハ頗る遠ザカツテ居ルモ  
ノガアルカラ、先般モ社會ノ實情ニ即シテ  
ト言ハレマシタケレドモ、社會ノ實情ニ即  
シテ居ルノハ吾々議員デアリマスカラ、議  
員ガ申述べル所ヲ能ク參酌セラレマシテ、

○大矢政府委員 只今ノ御答辯ハ御答辯トシテ  
私共ト致シマシテハ適正公平ヲ得テ居ルト  
思ツテ居リマスカラ、大體是デ御協賛ヲ得  
テレルノデハナカラウカト存ジテ居リマス  
カラ、私共ハ左様ニ了承致シマス、ソコデ  
カエ、ソレハ其ノ通りニシテ、私共ハ私共  
ノ考へ方ヲ以テ進メト云フ御話ト承リマス  
コトハ、ドウカ本當ニ文部大臣ニ御話ヲ戴  
キマシテ、省トシテモ十分ノ御研究ヲ願ヒ  
マシテ、此ノ納稅ノ話ヲ如何ニ小國民ニ御  
教下サルカ、適正公平ニ考へテ、一つ教ヲ  
垂レテ戴キマセヌト、納稅不能者ガ出來テ  
參リマスカラ、其ノ點ヲ恐レルガ爲ニ私ハ  
言フノデス、勤勞所得者ハ三分ノ一ダ、眞  
黒ニナツテ働イテ居ル者ハ三倍ダ、馬鹿馬  
鹿シイ、斯ウ云フ考へ方ヲ小國民ニ持タセ  
タナラバ納稅上由々シキ大事ヲ釀スニ至ル  
ト云フコトヲ憂フルノデアリマスカラ、特  
ニ小國民ヲ通ジテ——青年學校、公民學校  
ト云フノデナク、其ノ點ヲ進ンデ戴キタイ

ソレカラモウ一ツ御伺シタイコト、此ノ機會ヲ利用致シマシテ……今國民教育ガ八年ニナル譯デアリマス、ソレカラ地方ノ農村ハ能ク存ジマセヌガ、大都市殊ニ東京ナドニ於キマシテ、既ニ今日人口ノ増加著シキモノデアリマシテ、折角廢メタ二部教授ヲ復活スルノハ當然ノコトニナツテ居ル、甚シキハ三部教授ヲ致サナケレバナラヌ、而シテ又中等學校ニ於テハ數千人就學スルコトガ出來ナイ實情デアリマス、ソコデ小學校ヲ建設シヨウ、中學校ヲ建設シヨウト考ヘマシテモ、其ノ市其ノ府ニ對シテ大體ニ於テ起債ヲ御許ニナリマセヌ、サウシテ或ル剩餘金ガアツカラ、ソレデ建築スル、斯ウ云フノデス、而モ此ノ生徒ノ方ハ左様デアリ、而シテ之ヲ教ユル師範學校、是亦生徒ガ少イ、校舎ハ建テルコトガ出來ナシ、セラレルカドウ云フ御考ヘ方ヲ以テ大藏當局ニ御盡力遊バサウトスルノデアルカ、其ノ御答辯アツテ、文部大臣ニ傳ヘテ戴キタイソレ等ノコトヲドウスルト言ツテモ、局長トシテアナタハ御答辯ニ多少御困難デゴザイマセウケレドモ、併シナガラ文部省ハドンナ考ヲ持ツテ居ル位ハ、平素考ガアルグラウト思ヒマスカラソレフ伺ヒマス

ニ教員モ事實足リナ、或ハ他ニ轉職ヲス  
ルトカ、其ノ他ニ關係デ優秀ナ教員ガ多數  
得ラレナイト云フコトモ事實アリマスガ、  
是等ニ對シマシテモ、本年度豫算等ニ於キ  
マシテモ、色々師範學校生徒ノ待遇トカ、或  
ハ小學校教員ノ年功加俸等ニ對シテ、多少  
デモ優遇ノ途ヲ講ジテ戴イテ、優秀者ノ足  
ヲ止メテ置キ、又將來教育者トナラウト云  
モノヲ出來ルダケ多ク吸收シタ、今  
後ハ其ノ方面モ十分ニ努力ヲシテ、優良  
ナル教育者ヲ作ツテ行キタイト云フコトニ  
努力ヲシテ居ラレルヤウデアリマスシ、尙  
ホ中等學校ニ於テモ、現ニ東京市内デモ數  
千名行キ所ガナイト云フヤウナコトガ新聞  
ニモ出テ居リマスルガ、是モヤハリ相當大  
キテ問題デアラウト思フノデアリマス、隨  
テ無論府當局ニ於テモ本年モ相當新建設ヲ  
サレタヤウデアリマスガ、尙ホ文部省トシ  
マシテモ、府ノ當局其ノ他ニ於テ御盡力ヲ  
願フト同時ニ、ヤハリ私立中學及ビ私立學  
校ナドニ對シテモ今後十分援助モシテ、是  
等モ同ジ大事ナ日本國民ノ教養ニ當ツテ貴  
ダイト云フコトハ考ヘテ居ラレルヤウデア  
フノデアリマスカラ、出來ルダケ是等ノ助  
長ト云フヤウナコトニモ骨折ツテ、一層斯  
ウ云フコトニ手落ノナイヤウニ致シテ行キ  
ダイト云フコトハ考ヘテ居ラレルヤウデア  
リマスガ、尙ホ御意見ハ大臣マデ申上ゲテ  
一層御考覈ヲ願フヤウニ致シタ、伊ヒマ  
是ガ一ツデアリマス、ソレカラ國費ヲ投ジ  
ス

テ私立中等學校ヲ助成セラレルト云フコト  
ガ第二デアリマス、ソレカラ應急ノ策ト致  
シマシテ、今カラ本年收容スル生徒ノ人員  
ヲ、各學級ノ五十ト決メテ居ルモノハ六十  
トスルトカ、七十トスルトカシテ、此ノ應  
急ノ處置ヲ執ツテ戴キタイ、斯ウ云フ認可  
ヲ申出マシタ學校ニ對シテハ、出來ルダケ  
許可ヲ與ヘテ、此ノ就學難ヲ緩和シテ戴キ  
タイ、此ノ事ヲ大臣ニ御傳ヲ戴キタイト思  
ヒマス

○堀切委員長 政府委員ハ唯大臣ニ傳ヘル  
使ヒ番デハナイノデスカラ、責任ヲ以テ御  
答辯ナサラナケレバイケマセヌ

○瀧澤委員 其ノ御報告ヲ委員長ノ手許マ  
テ……

○近藤政府委員 今ノ御質問ナリ御希望ニ  
對シテハ、責任ヲ以テ大臣マデ申上ガテ置  
キマス、何レ其ノ内御手許ニ御返事ヲ申上  
ゲルヤウニ致シマス

○瀧澤委員 其ノ内デナク至急委員長ノ手  
許マデ……ソレデハ文部大臣ニ對スル方ハ  
宜シウゴザイマス、厚生省ハマダ御見エニ  
ナリマセヌカ

○堀切委員長 ソレデハ厚生大臣ニ交渉シ  
テ居マスカラ、其ノ間松永君カラ關聯事項  
デ質問ガアルサウデスカラ、此ノ際松永君  
ニ發言ヲ許シテ宜シウゴザイマスカ

○瀧澤委員 宜シウゴザイマス

○堀切委員長 ソレデハ松永君

○松永委員 成ダケ簡單ニ要領ヲ述べテ或  
ハ言ヒ足リナイ點モアルカト存ジマセヌガ、  
大蔵省デ十分諒解ノ上デ御回答ヲ願ヒタ  
ト思ヒマス、第一ニ御聽シタイコトハ、  
今度通貨保證準備引上ノ法律案ガ出ルト云  
フヤウナ御話デアリマシタガ、ソレハ中止

○大矢政府委員 日本銀行ノ保證準備擴張ノ問題カト存ジマス、ソレハ本議會ニハ別ニ提案セラレナイヤウニ、私ハ承知シテ居リマスガ、其ノ理由ニ付キマシテハ大藏大臣ヨリ御答致シタ方ガ適當カト存ジマス  
○松永委員 ソレデハ更ニ引續イテ御尋致シタノデスガ、假リニ保證準備引上ノ議ガ中止セラレルト云フコトニナリマシテ、今日ノ膨脹シタル通貨ヲ如何ニ處理スルカト云フ税金ノ建前カラノ如ク申述ベラレタノデゴザイマスガ、購買力ノ吸收ト云フコトノ最モ效果ヲ擧ゲル方法トシマシテハ、寧ロ金ヲ使ハセル時ニ、金ヲ取ルト云フコトモ一ツノ方法デセウガ、其ノ源泉ニ向ツテ購買力ヲ吸收シタ方ガ最モ適當デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、所得稅ニ向ツテ寧ロ増徵シテ、サウシテ購買力ノ吸收ヲシタ方ガ適當ナリト思フノデスガ、是モ大藏大臣ニ御質問シタ方ガ宜イカモ知レマセヌガ、主税局長カラ御答辯願ヘレバ結構デアリマス

不急ノ購買力吸收ノ點カラ見テ、其ノ方面  
ハ高度ニ引上げテモ宜イト云フ意見デゴザ  
イマスガ、大體ト致シマシテハ松永サンノ  
仰セノ通り、所得稅方面ニ重キヲ置クベキ  
モノト、斯ウ云フ風ニ考ヘマス  
○松永委員 然ラバ御尋致シタイノデス  
ガ、今日ノ膨脹ノ程度ヲ更ニ過大ニスルコト  
ヲ防止スル爲ニハ、稅金ノ方面カラ言ヒマ  
スナラバ、今度ノ增稅額ハ五億一千万圓ト  
云フ御話デアリマスガ、將來其ノ程度デ果  
シテ增稅ノ使命トシテ、通貨ノ過大ナル膨  
脹ヲ防止スル所ノ御自信ガアルカドウカト  
云フコトヲ伺ヒタイ  
○大矢政府委員 私ハ購買力吸收ノ點カラ  
見ルト、間接稅ヨリモ直接稅ノ方面ニ、增  
微ノ主眼ヲ置クコトガ適當ト認メルト云フ  
コトハ申上ゲタノデアリマスルガ、併シナガ  
ラ今回ノ增稅ハ、購買力吸收ヲ主要ナル目  
的トスルモノトハ考ヘテ居ナインデアリマ  
シテ、國庫ノ狀況カラ見テ、相當程度增收  
ヲ圖ラナケレバナリマセヌガ、一面ニ於テ  
產業界ニ與フル影響、國民生活ニ及ボス影  
響等モ十分考慮シナケレバナラヌ、斯ウ云  
フ觀點カラ致シマシテ、增稅ノ程度ト之ヲ  
直接稅ニ俟ツカ、間接稅ニ俟ツカト云フ方  
面ヲ、大體ニ於て決メタノデアリマス、購  
買力吸收ハ先づ其ノ副作用程度ノモノト御  
承知置キ願ヒタク、購買力吸收ヲ主トシテ  
ノ増稅ナレバ、ソシナ五億トカ十億ノ增稅  
スル、國民生活ノ破壊ヲ來スト云フコトガ  
ガアルノデアリマスルカラ、增稅ニハ自ラ  
限度ガアル、購買力吸收ニハ資スル所ガア

ルガ、之ヲ主要ノ目的トスルモノデハナク、購買力吸收ノ爲ニハ他ニ貯蓄獎勵トカ、其ノ他各種ノ手段ヲ用ヒテ行クベキデアリシテ、増稅ノ此ノ方面ニ對スル役割ハ、ソレ程多キヲ期待シ得ナイノデハナカラウカト存ジテ居リマス。

○松永委員 簡單ニ御質問シマスガ、更ニ獨占價格利得稅ト云フモノヲ設ケタラドウカ、其ノ意味ハ此ノ度ノ石炭ノ增產ニ付テ、多額ノ獎勵金ヲ政府カラ交付サレルト云フノデスガ、通貨膨脹ハ、歐洲戰爭ノ前例モアリマス通リニ、生産力ノ擴充ヲ刺戟スル爲ニ、當ヲ得ナイ獎勵金ヲ交付スル場合ノヤウナ時ニ起ルト云フコトモアツテ、獎勵金ノ交付ハ適切妥當ニヤラナケレバナラ又ト云フコトニナルノデゴザイマスガ、今度ノ石炭ノ增產ニ關スル石炭ノ價格ニ付テハ、良イ機械ガアル、或ハ礦質ノ良イ礦山ガアル、サウ云フ大礦山ノ單價ト云フモノハ、安クシテ而モ尚且ツ利益ヲ擧ゲラレル、所ガ惡不方ノ礦山ハ、惡イ機械ヲ使ツテ居ルノデ、費用ヲ餘計掛ケテモ石炭ガ出テ來ナリ、隨テソコニ獎勵金ヲ出シテ增產計畫ヲ圖ラレルト云フコトハ洵ニ結構ナコトデゴザイマスガ、併シ一面ニ「インフレ」ヲ刺戟スル結果ニナルト云フヤウナ、大藏大臣ノ御答辯ガアツタノデゴザイマスガ、サウ云フヤウナ時、斯ウシタ良イ礦山ヲ持ツテ良イ機械ヲ持ツテ增產ヲシテ、尚且ツ儲カルヤウナ礦山ニ對シテ、獨占的ノ價格ヲ維持シテ、尙且ツ利益ヲ擧ゲテ居ルヤウナ礦山ニ對シテ、增產計畫ガ出來ルシ、而モ尙ホ惡性「インフレ」ヲ刺戟スルコトナクシテ濟ム

ト云フ結果ニナルト思ヒマスガ、之ハ礪山ニ  
對シテノミナラズサウ云ツク工業ニ對シテ  
モ、獨占的ノ價格ニ依ツテ利益ヲ擧ゲて居  
ルモノニ課稅スル御意思ガアルカナイカ、  
ソレヲ承リタイ

○大矢政府委員 今ノ御說モ一ツノ理由デ  
ハゴザイマスルガ、獨リ礪山方面ノミニ止  
マラズ、御承知ノ通り經濟統制ガ漸次強化化  
致ザレマシテ、國策ニ依ツテ各會社ノ狀況  
ト云フモノハ、隨分支配サレテ居ルノデア  
リマスカラシテ、斯ウ云フ見方カラ致シマ  
スレバ、獨リ礪山ノミデナク、全般ニ亘ツ  
テ相當考慮ヲ運サナケレバナラヌコト存  
ジマス、併シナガラ實際問題ト致シマシテ、  
各會社ニ付キ、各業態ニ付キマシテ、今ノ  
御示ノヤウナ趣旨ニ基キマシテ、課稅スル  
ト云フコトハ、中々困難カト存ズルノデア  
リマスガ、一面ニ於キマシテ臨時利得稅ガ  
アリマシテ、資本ニ對シマシテ一定利廻以  
上ノ利益ヲ納メタ場合ハ、其ノ利益ノ收メ  
方如何ニ依ツテハ、相當強度ノ稅負擔ヲ受  
ケル、斯ウ云フコトニ依リマシテ、大體ニ  
於キマシテ其ノ御趣旨ノ目的ハ達シ得テ居  
ルノデハナカラウカト存ジマス、個々ノ營  
業ニ付キ、或ハ獨占的會社ニ對シマシテノ  
特別ノ課稅ト云フコトハ、相當考究致シテ  
見タノデアリマスケレドモ、マダ適切ナ成  
案ヲ得ナイハデアリマスガ、併シ大體ニ於  
テ臨時利得稅ニ於テ、其ノ目的ヲ達シ得ル  
モノダント云フ風ニ考ヘテ居リマス

○瀧澤委員 全國ノ生命保險金一年ノ支拂  
額ハ、ドノ位ニナツテ居リマスカ

○大矢政府委員 取調べマシテ後程御答敷  
シマス

ト大臣ニ伺ヒタイト思フカラズ、國債ノ消化ガ段々鈍ツテ來ルノデ、マア生命保険モ積立金ヤ色々國債ヲ買ツテ居リマスカガ、此ノ生命保険ノ支拂ノ二割トカ三割ハ、國債ヲ以テ支拂フト云フヤウナコトヲ、何カ御考ニナツテ保険會社ト御相談ニナツタヤウナコトガアリマスカ、如何デアリマスカ  
○櫻内國務大臣　マダ左様ナ事柄ガアツタト云フコトヲ聞イテ居リマセヌノデ、今ノ御話ノヤウナ御意見ニ付キマシテハ、高額ノ支拂ヲ致ス場合ニ於テ、公債ヲ一部使用シタラドウダト云フ風ナ意見ガアルト云フコトハ聞イテ居リマスガ、其ノ問題ニ對シマシテハマダ何等決ツタコトハゴザイマセヌ  
○大矢政府委員　手許ニアリマスノハ、少シ古イ數字デゴザイマスケレドモ、昭和十二年ニ於キマシテ一億九千二百万圓程度アリマス

云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、アレヲ五億ト  
云フヤウナコトデナク、徹底シテオヤリニ  
ナルヤウナ御考ニナレマセヌデスカ。  
○櫻内國務大臣　只今御話ノヤウナ事柄ニ  
付キマシテモ、篤ト研究致シテ見タノデア  
リマスガ、成程零細ナ資金ヲ集メル上ニ於  
キマシテハ、富籤ノ方ガ一時ハ集メラレ易  
イト思ヒマス、併シナガラ富籤デアリマス  
ト、一般大衆ノ中ニ應募者ガ出來マスト同  
時ニ、其ノ富籤ニ對シマシテ無理ナ借金ヲ  
シテデモ富籤ヲ買フト云フ風ナ事柄ガ起リ  
易イモノデアリマシテ、其ノ結果意外ナル  
負債ヲシテ、非常ニ困ツテ來ルト云フヤウ  
ナ人ガ出ストモ限ラナイノデアリマス、隨  
ヒマシテ此ノ富籤ヲ發行致スト云フコトニ  
付キマシテハ、色々ナ點カラ研究ヲ致シテ  
見マセヌト、其ノ及ボス所ノ影響ガ非常ニ  
大キイノデアリマシテ、其ノ點ニ付テ未ダ  
富籤ヲ發行スルト云フ風ナ考ニナツテ居ナ  
イ譯デアリマス、今回議會ニ提案致シマシ  
タ報國債券モ、一種ノ富籤デハナイカト云  
フ御話デアリマスガ、成程割増金ガ多ク附  
イテ居リマスノデ、見様ニ依ツテハサウ云  
フ風ニ見エマスケレドモ、併シはハ元金ガ  
存在致シテ居リマスノデ、決シテソレニ依  
ツテ資産ヲ無クシテシマフトカ、或ハ全ク  
ソレニ夢中ニナツテ、資產ヲ蕩盡シテシマ  
フトカ云フヤウナ者ハ出ナイモトト思ツテ  
居リマス、今回五億圓ト云フコトニ致シテ  
居リマスケレドモ、本年度ニ於キマシテハ  
大體二億圓程度ノ募集ヲ致シテ見タイト思  
ツテ居ル譯デアリマシテ、其ノ影響等ヲ  
モ十分考慮致シテ見テ、若シ御話ノヤウナ  
事柄ガ必要デアリト致シマスレバ、更ニ考  
慮致シマスケレドモ、今日ノ所ニ於テハ、先

○ 債券ヲ持タセテ、其ノ持タセタ結果、其ノ  
債券ヲ保管スルノ途ヲ講ジテ、次第ニ資産  
ヲ作ラセル、牛ニ引カレテ善光寺詣リト云  
フ言葉ガアリマスガ、サウ云フ風ナ意味ニ  
依ツテ次第ニ資産ガ出來マスト、從來何百  
圓ト云フ資産ヲ見タコトモナイ人モ、ソコ  
ニ資産ガ自然ノ裡ニ出來テ來ル、斯ウ云フ  
風ナ所ニ見込ヲ立テテ、報國債券ヲ發行致  
シタイ、斯ウ云フコトニ致シタノデアリマ  
シテ、富籤トハ少シ性質ガ異ツテ居ルノデ  
アリマス、其ノ當籤者ニ對シテ債券ヲ渡ス  
ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ洵ニ御尤  
モナ御意見デアリマシテ、是ハ報國債券ニ  
致シマシテモ、當籤者ニ其ノ點ニ付テハ考  
慮ヲ求メルト云フコトニ致シタイト思ヒマ  
ス

デ税金ノ差ガ非常ニアルノデアリマス、ソ、コデ地方ノミナラズ、東京市内ニ於キマシテモ、今マデノ税金カラ見マスト、營業者ニ於キマシテハ、所得稅ヲ出ス人ハ二千圓、三千圓程度ノ階級ノ人ガ多イノデアリマスガ、勤勞所得者ト比べテ、事業所得者ハ主人モ効キ、細君モ効キ、子供モ効キ、殊ニ工業ニ於キマシテハ親子眞黒ニナツテ効イリマス、何トナレバ今マデ是等ノ所得者ハ凡ソ帳簿ニ依リマセヌデ、腰ダメデ、サウシテ或ハ組合ノ申請デアルトカ、アノ程度ノ人ハ此ノ位グラウトカ、帳簿ガハツキリ致シマセヌカラ、役人或ハ勤人ト云フ風ナ者ニ比ベテ算出ガ困難デアル、ソレデマア高イ稅金ヲ課ケテモ宜イグラウト云フヤウナコトデ、今マデハ宜イ加減ナ所デ、所得調査會ニ於テ妥協シテ納稅シテ納稅シ居ツタコトハ事實デアリマスケレドモ、近來ソレガ非常ニヤカマシクナツテ參リマシテ、往々ニシテ苛酷ナル取扱ヲ受ケテ居リマス、サウシテソレノ發見サレタ場合ニハ、概ネ誤謬訂正ニ依ツテ訂正サレテ、最後ノ争ヲシナイヤウニシテ收マリヲ付ケテ行クカラ、大藏省ノ方へ向ツテ最後マデ争フ人ハ少イノデアリマス、殊ニ大都市ノ例ナドヲ聽イテ見マシテモ、寄附金ノ場合デスガ、例ヘバ防護團ガ出來ル、政府ハ僅カバカリシカ金ヲ吳レナイ、サウシテ其ノ防護團ニ出テ手間ヲ潰スノハ、當然國家ニ對スル義務デアリマセウケレドモ、其ノ外ニ費用ノ殆ド大部分ヲ町村自體ガ負擔シテ居ル、或ハ女學校ヲ建テヨウツルト、ソレデハ何處へ建テル

カト云フコトニナルト、先づ納稅ヲ調べ、納稅ノ額ニ依ツテ寄附ヲシテ貰ツテ、學校ヲ建テルト云フヤウナ譯デ、ソレガ大體ニ於テアノ人ハ月給取ダカラ、寄附金ハ勘辨シテ置ケト云フノガ、吾々所ノ氣風デアリマス、サウ云フヤウナ稅金以外ノ負擔ヲ、事業ヲシテ居ル者ハ取ラレルノデアリマスカラ、今度ノ是ハ非常ニ苦痛デアリマス、苦痛デアルケレドモ吾々ハ納メナケレバナラナイト思ヒマスガ、一體此ノ苦痛ヲ、ドウシテモ背負ツテ立ツテ行カナケレバナラナイノデセウカ、厚生大臣ノ適正ナル御判断ヲ御伺ヒシタイト思ツテ居リマス、○吉田國務大臣 只今御述ニナリマシタヤウニ、實際市民生活ノ實情ニ付キマシテハ、洵ニ御尤ナ點ガアルト思フノデアリマス、本來勤勞所得ト事業所得ト云フモノノ間ニハ、今御述ニナリマシタヤウナ事情モゴザイマスガ、又一方ハ兎ニ角中小商工業ト云フヤウナ分野デアリマシテモ、ソレニ相應スル資産ヲ以テ、自ラノ責任デ事業ヲ運營シテ居ラレル、一方勤勞所得ト云フノハ自分ノ一身ダケデ働イテ居ル、働くノ内容ノ違ヒト云フ點カラ勤勞所得ニ對スル税ト、事業所得ニ對スル税トノ比率ニ違ヒノアリマスルコトハ、是モ或ル程度已ムヲ得ナイト思ヒマス、此ノ頃寄附金ノコトナリ、或ハ色々出費ガ掛ツテ居ルコトナリ、サウ云フ事情ハ御察シ出來ルノデアリマスガ、兩ノデハナイカ、尙ホ其ノ方面ノ人々ノ社會生活ノ上ニ於キマシテノ色々ナ難儀ト云フコトモ、御察シ出來ルノデアリマスガ、是

ハ稅ノ方トハ別ニ、其ノ問題ニ對スル政治行政ノ上ノ改善モ必要デアラウガ、稅ノ上デ兩方ノ間ニ、法案ニアリマスヤウナ若干ノ違ヒノアリマスコトハ、ドウモ勤勞ト云フモノト事業ト云フモノトノ相違カラ見マシテ、已ムヲ得ナイコトデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第アリマス

○灌澤委員 政府ノ大臣デスカラ、サウ云フ風ニ御答ニナルノハ、當然ダト思ヒマスガ、モウ少シ實情ヲ私ハ兩大臣ニ御聽キヲ戴キタイコトハ、今日殊ニ事變ニナリマシテ勤勞所得者ニ對シテハ、アノ人ハ役所へ勤メルノダ、アノ人ハ會社ニ勤メルノダト云フテ、兵隊ノ送迎カラ、防護團ノ團員ニナルコトカラ、一切ノコトハ月給ヲ取ツテ居ル人ニハ課セナイ、斯様ナ所モアリマス、役所カラ歸ツテ喜んで夜モ顔ヲ出サウト云フ人モアリマスケレドモ、大體町内會ニ出ル者ハ、事業ヲヤツテ居ル者デアリマシテ役人ハ殊ニ出マセヌ、ソレカラ會社ノ社員モ出マセヌ、隨て今日事業者ノ負擔ガ多イノデアリマス、是ハ實情デアリマス、二千圓ト云フ金ハ勤勞所得者ノ一千圓モ、事業所得者ノ二千圓モ額ニハ違ヒガアリマセヌケレドモ、サウ云フ出費ノ爲ニ、今中小工業者ノ負擔ト云フモノハ非常ニ多イ、ソレカラ此ノ頃大キナ會社へ行キマシテ色々ナ話ヲ聞クト、昨年カラノ決算ヲ見テモ皆儲カツテ居ルデヤアリマセヌカト、斯ウ云フ、サウスルト事業ヲヤツテ居ル者ハ、皆儲カツテ居ルヤウニ思ハレマスガ、是ハ考ヘ方ガ違フ、昨年カラ本年ノ初メニ決算報告ヲスル會社ノ大キナモノハ、皆何年モノ註文ヲ受ケテ居リマシテ、昨年ノ品物ナドハ皆儲カツテ居リマス、電力ノ制限ヲ受ケタリ、色

色チ出費ノ多イノハ今年ニナツテカラデアスガ、小サナ人達ハ今年ニナツタラ、今マデスガ、小サナ人達ハ今年ニナツタラ、今マデ殷賑產業ダト申サレテ居ル所ノ鐵工業ニ關シマシテモ、御承知ノ通リデアリマシテ、今年ニ入リマシテ此ノ一月カラ二月マデノ配給ト云フモノハ、一般民需ニ於キマシテハ、十二年度ノ二割シカナイノデアリマシテ、サウシテ物價ハ高クナツテ居リ、工場ノ出費ハ非常ニ多イ、例ヘバ軍手一ツ純綿ナラ二十五錢ガ公定價格デアリマスガ、手ニ入ルノハ八十錢、九十錢デアリマス

(委員長退席、小笠原委員長代理著席)

サウ云フヤウニ帳面ヘ付ケルノモ闇相場デ買ツタモノナドハ帳面ヘ付ケラレマセヌ、帳面ヘ付ケレバ引張ラレマス、仕事ヲヤツテ行く者ハサウ云フヤウナ苦痛ヲ忍ンデヤツテ居リマスカラ、此ノ増稅ニ對シテ餘程大藏大臣御考慮ヲ戴キマセヌケレバナリマセヌ、今マデノ二億ノ增稅ニハ堪ヘテデ買ツタモノナドハ帳面ヘ付ケラレマセヌ、帳面ヘ付ケレバ引張ラレマス、仕事ヲヤツテ行く者ハサウ云フヤウナ苦痛ヲ忍ンデヤツテ居リマシタガ、其ノ上ノ六億ノ増稅ニナリマスト、容易ニ之ヲ納メルコトガ出來ナ人達ガ、本年度ハ澤山出テ參り大藏大臣ハ國務大臣トシテ一ツ大藏大臣トドウカ適當ニ御考ヲ戴キマシテ、此ノ商工業者ノ三千圓五千圓程度ノ人達ノ負擔輕減ヲ圖マス、サウ云フコトヲ憂フルノデアリマスガ、兩大臣ヨリ御考ヲ御伺シタイノデアリマス

○櫻内國務大臣 中小工業者ノ方々ガ今日非常ニ窮境ニ立タレ居ルコトニ付キマシテハ、御説洵ニ御尤モデアリマシテ、御同情申上ゲナケレバナラスト思ヒマス、只今電力不足ノ問題等ニ對シマシテノ御尋ニゴザイマスガ、是ハ不時ノ出來事デアリマシテ、左様ナ場合ニ於テ、特ニ勞働賃銀ノ六割ヲ拂フトカ、何割ヲ拂フトカ云フヤウナコトハ、是ハ事業家トシテハ隨分困ラレル

カラ六割ノ手當ヲヤルノデアリマスガ、材料が今マデ十割ノモノガ八割ニナリ五割ニスル手當ハ一體誰ガ出セバ宜イノデス、世ノ中ノ物價モ高クナツテ居リマスカラ、二千圓位ノ賣上ガナクテドウシテヤツテ行カレマス、而モ是ニハ高イ稅金ガ掛カル、私ハ此ノ點ニ關シテ特ニ御考慮ヲ戴キ、國務大臣トシテ厚生大臣ハ能ク大藏大臣ト御相談ヲ戴キマシテ、此ノ中小工業者ニ對スル課稅ニ對シテハ十分ノ御考慮ヲ戴キマセヌケレバ、紛糾ノ種ヲ蒔キ、納稅不能者簇出スル所以ニナルダラウト思ヒマス、併シ又國家ガ商工政策ヲ御變ニナツテ、サウシテ別問題デアリマス、一面ニ於キマシテ低物價政策ヲ御執リニナツテ之ヲ抑ヘ付ケラレ物ノ值上リヲ策スルヤウナ場合ニナツタラヨリズット高クナツテ居ルノデスカラ、サウ云フ場合モ考慮セラレマシテ、特ニ厚生大臣ハ國務大臣トシテ一ツ大藏大臣トドウカ適當ニ御考ヲ戴キマシテ、此ノ商工業者ノ三千圓五千圓程度ノ人達ノ負擔輕減ヲ圖ツテ戴キタイト思ツテ、御願スルノデアリマスガ、兩大臣ヨリ御考ヲ御伺シタイノデアリマス

○櫻内國務大臣 中小工業者ノ方々ガ今日非常ニ窮境ニ立タレ居ルコトニ付キマシテハ、御説洵ニ御尤モデアリマシテ、御同情申上ゲナケレバナラスト思ヒマス、只今電力不足ノ問題等ニ對シマシテノ御尋ニゴザイマスガ、是ハ不時ノ出來事デアリマシテ、左様ナ場合ニ於テ、特ニ勞働賃銀ノ六割ヲ拂フトカ、何割ヲ拂フトカ云フヤウナコトハ、是ハ事業家トシテハ隨分困ラレル

コトカト思ヒマス、殊ニ中小工業者ノ方々ニ於カレテハ御困リダラウト思ヒマスガ、是ハ稅其ノモノトハ變ツタ立場ニ於テ、研究致シテ見マシテ、出來ルダケノ方途ハ講ジナケレバナラニヤウニ考ヘテ居リマスガ、稅其ノモノカラ申シマスト、是ハ平素ノ建前カラ考ヘナケレバナラズコトデアリマシテ、成程先刻御話ノ如ク勤勞所得者ニ對シテ少シ率ガ高クナツテ居ル、是ハ今厚生大臣モ話サレマシタ通り、一部所謂企業資金ノ活用ニ依リマスコトモ含ンデ居リマス、又獨立シタル一個ノ法人トシテ普通ノ傭ハレ人、或ハ労働ニ從事サレル方々ト自ラ其處ニ異ツテ居ル點ガアル、斯ウ云フ建前デ從來カラモ參ツテ居ルノデアリマシテ、今回モ其ノ建前ヲ執ツテ參ツタノデアリマスガ、御話ノヤウナ事柄ニ付キマシテハ、今日色々ナ事柄ニ付キマシテ、中小工業者ノ方々ガ特ニ社會奉仕ニ努メ、又今回ノヤウナ電力饑饉ナドニ對シマシテハ、困難ナ地位ニ立タレテ居ルト云フコトハ、私共モ沟ニオ氣ノ毒ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、此ノ問題ニ對シマシテハ、因難ナ地位ニ立タレテ居ルト云マシテハ、別ニ適當ナル考慮モ拂ハナケレバナラヌコトデアラウト考ヘテ居リマスガ、稅致シマシテハ、提案致シマシタ本案程度ニ於テ、犠牲ヲ拂ツテ戴キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○吉田國務大臣 稅ノコトニ付キマシテハ先程モ申上ゲマシタシ、只今大藏大臣ノ御説明ノヤウナ取扱ハ、私共沟ニ已ムヲ得ナイ次第ダト考ヘルノデアリマス、實情ニ付テ色々御述ベニナリマシタコト、是亦一々御尤モト存ジマス、中小工業或ハソレ等ノ人々ノ居ラレマス下町方面ノ事情ニ御精通

ノ龍澤サンノ御話デゴザイマスノデ、洵ニ適切ナ御配慮、御心配ト承ツタノデアリマス、銃後ノ奉仕等ノコトニ付キマシテハ、是ハ私共ト致シマシテモ若干關係ノアリマス立場カラ見テ居リマスガ、勤勞階級ノ人ノ努メト云フコトニ於テ、殊ニ東京ハ若干缺クル所ガアルヤウニ考ヘマスガ、ソレハソレトシテ、ソレ等ノ人々モ銃後ノ奉仕ト云フコトニ付テハ事業家同様、或ハソレ以上ニ努メマスヤウニ、今後ハ全體トシテ心配セネバナラズ耳思フノデアリマス、資材不足等ニ御難儀ナサイマス事情モ、十分御推察出来ルノデアリマス、尙ホ電力不足ニ依ル休業ニ付テノ手當ニ付キマシテハ、一般ニ六割位拂ツテ戴イタラドウダラウト云フコトヲ獎メマシタコトモ、御質疑ニナリマシタ通リアリマスガ、是ハ御承知ノ通り、先般沟ニ窮迫シタ場合ニ勞資協力ノ實ヲ擧ゲテ戴キタイト云フ趣意デ、臨機ノ措置トシテ御獎メラシタ譯デアリマス、其ノ外材料不足ニ依ツテ、仕事ヲ休マナケレバナラヌヤウナ所ガ近來簇出シタ云フ實情モ承ツテ居リマス、是ハ事業主ニ取ツテモ勞務者ニ取ツテモ、洵ニ難儀ナコトデアリマス、ソレ等ニ付キマシテハ、其ノ難儀ノ事情ノ厚薄、及ビ實力等ニ依リマシテ、今日政府カラ何等御示シヲセズトモ休業ニ依ル手當ヲ拂ツテ居ラレル所モアリ、中ニハ大分困ツテ居ラレル所モアルヤウニ伺ツテ居リマス、事情ノ程度ガ一律デゴザイマセヌカラ、電力不足ノ場合ト違ヒマシテ、之ニドレ位拂ツテ戴イタラ宜カラウカ、或ハソレニ對シテ政府デドノ程度ノ心配ヲ致シタラ宜カラウカ、中々一律ニハ決メラレマセヌノデ、ソレハ其ノ場合々ニ應ジテ、

○小笠原委員長代理 厚生大臣ハ貴族院ノ  
分科會デ今討論及び採決ニ入ルサウデ、已  
ムヲ得ヌサウデゴザイマスカラ、他ノ機會  
ニ於テ如何デセウカ

○瀧澤委員 先達テハ凡ソ六割ト言ハレマ  
シタカラ、全部小サナ工場マデヤツタノデ、  
隨分物議ヲ起シテ居リマシタケレドモ、厚  
生省ノ方針ト云フノデ、又ヤラナケレバ警  
察デ叱ラレルカラト云フノデヤツタノデア  
リマスガ、今後ハサウ濫リニ御示シニナラ  
ナイデ、只今御話ニアリマシタ實情ニ即ス  
ルヤウニ願ヒタイ、是ダケハ是非御願致シ  
テ置キマス、サモナイト非常ニ困ルノデア  
リマス、モウ少シアリマスケレドモ、大臣  
ガ御急ギデスカラ、大體今ノコトダケヲ申  
上ゲテ置キマス、税金ノコトニ付テハモウ  
少シ御考者置キヲ願ヒタイ、ソレカラ只今大  
藏大臣ノ御答辯ガアリマシタガ、此ノ課率竝  
ニ控除額ト云フヤウナコトニ付キマシテ  
ハ、中小工業ニ對シテ相當ノ御考ヲ戴キタ  
イ、兎ニ角私共本當ニ黒クナツテ働イテ居  
ル者ガ、如何ニ苦勞シテ居ルカト云フ實情  
ヲ、御考下サラナケレバナラヌ、私共ト致  
シマシテモ、モウ五時ニハ起キテ居ラナケ  
レバ工場ヲ一廻り出來ナイ、是ハ吾々バカ  
リデナク、總テ其ノ通リ働く事居ルノデス、  
サウ云フコトヲ十分御認置キヲ願ヒマス、  
私共ガ尙ホ理事、委員長ヲ通ジテ御相談申  
上ゲル場合ニハ、適正ニ御考慮戴キタイト  
云フコトヲ申上ゲマシテ、私ノ大臣ニ對ス  
ル質問ハ打切ルコトニ致シマス

○小笠原委員長代理 桜永君が何か關聯シテ此ノ際發言ヲ求メラレテ居リマス  
○松永委員 先程主税局長カラ大臣ニ讓ラレタ答辯ガゴザイマスガ、其ノ前ニ御伺致シテ置キタ伊、厚生大臣ニモ共ニ御質問致シタイノデゴザイマスケレドモ、大藏大臣ダケデモ宜シト存ジマス、増稅ト物價ト言ヒマスカ、ソレカラ國民生活ニ關聯シテ伺ツテ置キマス、ソレハ今度ノ地租ガ國稅及ビ市町村稅、府縣稅ヲ加ヘマシテ百分ノ八ニナツテ、約二割ノ減稅ニナツテ居ルト私ハ思ツテ居リマス、所ガ都會地殊ニ東京、大阪等五大都市ニ於ケル土地ノ暴騰ハ實ニ驚クベキモノガアルト伺ツテ居リマス、所デ九・一八ニ依ツテ物價停止令ガ行ハレマシテ、家賃、地代ト云フモノハ其ノ儘ニナツテ居ルノデゴザイマスガ、斯ウシテ地租ガ下リマスレバ、當然地代モ下ツテ來ナケレバナラヌ、同時ニ又ソレガ家賃ノ方ニ影響ヲ來シテ家賃ヲ下がテ行カナケレバナラスト存ジマスガ、地租ノ減率ニ依リマシテ、都會地ニ於キマスル家賃ノ値下ニ對シテ、ドウ云フ風ニ御考ニナリマスカ

○小笠原委員長代理 桜永君、アナタノ御質問ハ少シ長イヤウデアレバ、大臣モオ急ギノヤウデアリマスカラ、今ノ點ダケ御答ヲ願ツテ、後ハ午後ニ御願シタイト思ヒマラ、若シ他ノ事情ガ何等變ラナカツタ際ニ  
○櫻内國務大臣 只今ノ九・一八ノ關係ト、地租ノ下ツタ場合ニ於ケル家賃及ビ地代ノ關係ノ御意見ノヤウデアリマスガ、此ノ問題ニ付キマシテハ、遠カラズ總テ低物價政策ニ對スル主義ニ準據致シマシテ、所謂適正價格ト云フモノガ出來ルノデアリマスカ

於テ、地租ガ下ツタト云フコトニナリマスレバ、ソレダケハ即チ家賃ヲ下ゲルトカ、或ハ借家人ト地主ノ雙方ニ均霑スルトカ、色々ナ方法ガアルデアリマセウガ、此ノ問題ニ付キマシテハ、總テノ物價ニ對スル適正價格決定ノ際ニ於キマシテ、大體ノ方針ガ決ルコトトス様ニ考ヘテ居リマス、其ノ他ノ稅金ノ關係等モザイマスノデ、サウ云フ事柄モ十分參酌シテ、ソレハ決定サレルコトト思ヒマス、ソレカラ先刻私ノ留守ニ日銀發行限度擴張ヲ取止メタ理由ハ、ドウデアルカト云フ御話アリマスガ、此ノ問題ハ實ハ取止メタト云フニアラズシテ、之ヲ改正致サウトシテ研究シテ居リマシタガ、年々歲歲限度ヲ擴張スルト云フ事柄ハ、是ハ餘程考慮シタ上デナケレバ實行スベキモノデナイト云フ點ト、出來得ル限り通貨ノ收縮ヲ圖リタイト云フ見地カラ、種々ナル制度ヲ講ジマスル際ニ於テ、之ヲ擴張スルト云フコトハ如何ナモノデアルカト云フ點ト、ソレカラ若シ此ノ發行限度ヲ擴張致スト云フヤウナ場合ニハ、從來ノ制度ト、更ニ之ヲ變ヘテ根本的改正ヲ致ス必要ガアルノデハナイカト云フヤウナ點等ニ付キマシテ、更ニ研究ヲ要スル點ガアリマシタノデ此ノ際ハ見合セタ次第デゴザイマス

考へテ居ツタ矢先、三圓ニ下ゲルト云フノ

デ、是モ今日ノ場合已ムヲ得ナイト思ツテ

居リマス、上ゲテ貰ヒタイ積リノ所ヲ下ゲ

ラレタノデスカラ、三圓カラ五圓マデノ間

ノ税率ハ百分ノ十二シテ、今マデノ五圓以

上デアツタ所ノ税率ヲ以テ、三圓ト五圓ノ

間ヲ律シテ戴キタイト思ヒマス

○大矢政府委員 「カフエー」等ニ對シマシ

テ、特殊ノ考慮ヲ拂ハナケレバナラヌト云

フ事柄ニ付キマシテハ、度々御答シテ居ル

ノデアリマシテ、大體成案ヲ得ツツアル、

斯ウ申上げタイト思ヒマス、ソレカラ免稅

點ヲ五圓カラ三圓ニ引下ゲマシタニ付キマ

シテ、從來五圓以上ノ分ニ付テハ同率ニ差

支ナイガ、三圓カラ五圓マデノモノハ、新

シク課稅ニナルノデアルカラシテ、稅率ノ

差等ヲ設ケタラドウカト云フノモ、一應ノ

御考デハゴザイマスケレドモ、實ハ本稅施

行ノ狀況ヲ見マシテ、花代ト花代以外ノ料

金ニ付テ、稅率ノ差等ヲ設ケテ居ルコトニ

付キマシテモ、相當施行上困難ガアルト懇

ヘル向モアルノデアリマスルガ、之ヲ飲食ダ

ケ、或ハ花代以外ノ料金ニ付キマシテ、更

ニ差等ヲ設ケルト云フノハ、實際施行ノ上

ニ於テ色々紛議ガ起ルノデハナカラウカト

云フコトヲ密ニ虞レルノデアリマス、大體

三圓以上カラ課稅スルト云フコトニ致スノ

デアリマスカラ、稅率ニ付テハ一率ニ致シ

タイト考ヘテ居リマス

○小笠原委員長代理 ソレデハ此ノ程度ニ  
止メ、午後ハ一時十五分ヨリ開會致シマス  
午後零時二十分休憩

午後一時三十五分開議

○堀切委員長 ソレデハ開會致シマス——

北君、

○北委員 是カラ先ハ實バ大藏大臣ノ答辯

ヲ得タイト思ツタノデスガ、丁度今御都合ガ

惡イト云フコトデ已ムヲ得マセヌカラ、先

ニ進ミマス、第一ニ一日ノ私ノ質問ニ對

シマシテ主稅局長ノ御答辯ニ、產業組合ガ

原價デ賣ルト、小賣商ガ困ルト云フガ、ソ

レハ產業組合ノ商品ノ制限等ニ依ル政策デ

行クベキデアツテト、斯ウ仰セラレテ居ツ

タノデアリマスガ、是ハ主稅局長ノ全ク獨

斷的見解デアラウト思フ、何モ目下ノ所左

様ナ國策ハ決ツテ居ナイ、現ニ小賣商免許

ガアリマセヌガ、左様ナ共同事業ノ設備ヲ

スルノデアリマス、又相互扶助ノ事業トシ

鶏ノ產卵所ヲ設ケルトカ、數ヲ言ヘバ限り

ガアリマセヌガ、左様ナ共同事業ノ設備ヲ

シタ設備ヲ致シマシテ、同ジ材料ヲ使ツテ

ト云フヤウナコトモ聞イテ居リマス、又例

ノ中小產業ノ調查委員會是モ隨分難カシ

イ問題デ、遂ニ結論ヲ得ナカツタ始末デス、

斯様ナ譯デアリマスガ、斯ウ云フ重大問題

ヲ輕々ニ獨斷デ、假ニ想定ヲ下シテノ御答

辯ハ、ソレハ私ハ御答辯ニナラヌト思フ、

飽マデモ現實ニ即シテ御答辯ヲシテ戴カナ

ケレバナラヌト云フコトヲ、此ノ際希望シ

テ置クノデアリマス

次ニ産業組合ガ市價主義デ賣ル位ナラ

バ、產業組合存立ノ意味ヲ成サヌデハナ

イカト云フ御答辯モ、私共全ク意外トス

上ナラバ相當ノモノガ戴ケル、斯ウ云フ譯

デアリマスカラ、今日ト雖モ一食三圓以

上ナラバ相當ノモノガ戴ケル、斯ウ云フ譯

デアリマスカラ、稅率ニ付テハ一率ニ致シ

タイト考ヘテ居リマス

ソレデハ此ノ程度ニ

止メ、午後ハ一時十五分ヨリ開會致シマス  
午後零時二十分休憩

ソコデ農村ノ四種兼營ノ組合ガ、市價主義

デ賣ツテ購買品ノ利益、否組合ノ小拂金、

即チ原價ト市價ノ差額、此ノ組合ノ小拂金、

ヲオ互ノ決議ニ依ツテ、經濟的方面ノ仕事

デハ、時局ニ應ジタ國策ニ副フ仕事ヲスル、

色々ナ生產擴充ノ事業ヲスルノデアリマス、

例ヘバ勞力不足ノ對策トシテハ農民ガ農具

ヲ共同使用スル設備ヲスル、或ハ輸出農作

物ノ加工所ヲ設ケテ加工シテ出ス、或ハ良

イ種牛、種豚ヲ買入レテ利用サセル、或ハ

自家用醬油ノ製造デアリマス、最モ進歩

スルノデアリマス、又相互扶助ノ事業トシ

テハ貧農ノ生活向上ニ協力スル爲ニ、例ヘ

バ自家用醬油ノ製造デアリマスガ、是ハ

シタ設備ヲ致シマシテ、同ジ材料ヲ使ツテ

ト云フヤウナコトモ聞イテ居リマス、又例

ノ中小產業ノ調查委員會是モ隨分難カシ

イ問題デ、遂ニ結論ヲ得ナカツタ始末デス、

斯様ナ譯デアリマスガ、斯ウ云フ重大問題

ヲ輕々ニ獨斷デ、假ニ想定ヲ下シテノ御答

辯ハ、ソレハ私ハ御答辯ニナラヌト思フ、

飽マデモ現實ニ即シテ御答辯ヲシテ戴カナ

ケレバナラヌト云フコトヲ、此ノ際希望シ

テ置クノデアリマス

次ニ産業組合ガ市價主義デ賣ル位ナラ

バ、產業組合存立ノ意味ヲ成サヌデハナ

イカト云フ御答辯モ、私共全ク意外トス

上ナラバ相當ノモノガ戴ケル、斯ウ云フ譯

デアリマスカラ、今日ト雖モ一食三圓以

上ナラバ相當ノモノガ戴ケル、斯ウ云フ譯

デアリマスカラ、稅率ニ付テハ一率ニ致シ

タイト考ヘテ居リマス

ソレデハ此ノ程度ニ

止メ、午後ハ一時十五分ヨリ開會致シマス  
午後零時二十分休憩

テ貰ヘルノダト云フヤウナコトデ、何モ不

平ヲ言ハズニ少シ位高クテモ買ツテ行ク、

スウ云フヤウナ消費團體ノ小拂金、斯ウ云

フモノデ國家ノ爲ノ、先程申上ゲマシタヤ

人ノ關係ナドヲ思ヒ遣ツテ市價主義デ賣

事業等ニ使ツテ行クノデアリマス、是ガ本

當ノ產業組合ノ姿デアリマス、特ニ小賣商

人ノ關係ナドヲ思ヒ遣ツテ市價主義デ賣

事業等ニ使ツテ行クノデアリマス、是ガ本

若シモ中小商工業者トノ相剋摩擦ヲ避ケナ  
ケレバナラスト云フナレバ、是ハ産業組合  
ガドウ云フ品物ヲ扱フカト云フヤウナ點ニ  
考慮ヲ拂ツテ、産業組合ノ活動ノ分野ト云  
モノニ付テ、考究ヲシナケレバナラヌモ  
ノデハナカラウカ、サウ云フ意味ニ於キマ  
シテ、或ハ中小産業調査會等ニ於テモ、相  
當考究セラルベキ問題デアリマセウ、斯ウ  
云フ趣旨ノコトヲ述べテ居タノデアリマス、  
ソレデ原價主義ニ依ラズ市價主義ニ依ツテ、  
相當剩餘金ヲ得テ居ルナラバ、ソコニ一ツ  
ノ擔稅力アリトシテ、此ノ際ノコトデアリ  
マスカラ、或ル程度負擔シテ戴クノハ差支  
ナイノデハナカラウカ、斯ウ云フコトヲ申  
上ゲタノデアリマス、勿論購買組合ガ、他  
ノソレトキ組合員ノ爲ニ利益ニナルヤウナ  
事業ヲナサルト云フノハ、是ハ結構ナコト  
デアリマシテ、是ハ醫療組合等ヲ作リマシ  
テ、サウシテ其ノ他ノ方面デ剩餘金ヲ得タモ  
ノヲ、コチラノ方ノ損失ニ充當スルト云フ  
コトニスルノモ、一ツノ結構ナ行キ方ト存  
ジマス、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、結  
局一事業年度間ノ剩餘金ト云フモノハ、ソ  
レダケ減ツテ行クノデアリマスカラ、ヤハ  
リ擔稅力ハ其ノヤウニナイト云フコトニナ  
ツテ、今回ノ案ニ依リマシテモ負擔ガ輕減  
サレルカト思フノデアリマス、資產的ニ相  
當ノモノガ残ツテ行クト云フ場合ニハ、ソ  
ニニ或ル程度ノ擔稅力ガアルノダ、斯ウ見  
ルノガ適當デハナカラウカ、斯ウ考ヘテ居  
ル次第デアリマス

リ得ルモノノ一部ヲ含マレ居ル、斯ウ言ハレテ居ル、又大矢主税局長ハ、産業組合本來ノ精神ニ全ク徹底シテシマヘバ、課税スペキ何物モナイノデアル、斯ウ言ハレテ居ル、是ハ非常ニ綺麗ニ行ツタ場合ノ話デス、事業ニ應ジテ配當ヲスル以外ノ剩餘金ノ性質ヲ考ヘルト、産業組合ノ本質ニ徹底シタモノデナイ分子ガ相當ニアル、斯ウ云フ二人トモ同ジヤウナコトヲ言ツテ居ラレルノデアリマスガ、サウシマスト何カ産業組合ガ其ノ本來ノ仕事以外ノ仕事ヲシテ居ルト云フ工合ニ御考デナイカ、即チ諸外國ニ例ガアルノデスガ、諸外國ノ産業組合ハ、日本ノ産業組合トハ達ツテ、組合員外トノ取引ヲ許シテ居ル、是ハサウ言ハレル場合ニ當ツテ居リマセウガ、日本デハサウデハナイ、組合員外トハ何ノ取引モナイ、ソコデ或ハ産業組合本來ノ仕事デナイソレ以外ノ仕事ヲシテ居ルト云フコトヲ言ハレテ居ル所ニ私へ大變斯ウ云フ問題ノ間違ヒガ起ルノデナカラウカ、斯ウ思フノデアリマス、又局長ハ曰ク、組合員ノ出資ニ對スル配給ハ、見様ニ依ツテハ或ハ他ノ方面ニ運用シテ居ル資本ノ利益ト見ラレナイイ譯モナカラウ、資本ノ利益ト全ク同ナダトハ言ハヌガ、ドウシテモ多少サウ云フ色彩ガアルカト思フ、斯ウ言ハレテ居ルノデアリマスガ、是ハ吾々ニハ全ク分ラナイ、一ツ御答辯ヲ願ヒタク

ガ非常ニ産業組合ノ精神的方面ヲ高調致  
レマシテ、斯ノ如キ公共的使命ヲ帶ビテ致  
シテ居ルノダ、斯ウ云フモノニ對シテ課稅  
ヲスルノハドウカ、斯ウ云フ御話デアツタ  
ノデアリマスカラ、サウ云フ指導精神デ產  
業組合ヲ導イテ居ラレルノハ洵ニ結構ダ、  
其ノ指導精神ニ徹底シテシマヘバ、恐ラク  
課稅スル何物モ出テ來ナイデアラヴ、斯ウ  
云フコトヲ申上ゲタ、併シ現實ノ問題トシ  
テ經濟活動ヲシ、剩餘金ヲ得、出資ニ應ズ  
ル配當モシテ居ル、斯ウ云フ方面モアル、  
是ハ産業組合法カラ見テ決シテ違法ノコト  
ヲヤツテ居ルノデモ何デモナイ、正當ノコ  
トヲヤツテ居ルノデアリマスルガ、石井委員ノ  
員ノ非常ニ高調力說セラレマシタ精神的方  
面カラ言ヒマスレバ、多少ソレト幾ラカ相  
距ル所ガアルデハナカラウカ、石井委員ノ  
意見ヲ徹底致シマスレバ、ソレハ事業ノ分  
量ニ應ジテノ剩餘金ノ分配ノミニナルノデ  
ハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ考へマシテ申  
上ゲタ次第デアリマシテ、決シテ外國デテ屢  
問題ニナツテ居ルヤウナ、産業組合ガ組  
合員以外ノ第三者トノ取引マヂモ致シマシ  
テ、普通ノ商人ト同ジヤウニ營利的ニ活動  
シテ居ルト云フコトヲ申上ゲタノデハアリ  
マセヌカラ、其ノ點十分御諒承ヲ願ヒタイ  
ト思フノデアリマス

アルト假定シマス、サウスルト損益計算ノ益ノ部ニハ八百圓ト出ル、ソレカラ此ノ貯金利子ヲ拂ハナケレバナラヌノデスガ、其ノ一万圓ノ貯金利子ヲ假ニ三百圓拂ツタトシマス、又組合ノ一年中ノ事務経費ガ百圓掛ツタトスル、サウスルト合計損失ノ部ニハ四百圓ト云フモノガ出テ來ル、ソコデ結局四百圓ノ剩餘金ガ出テ來ルコトニナルノデアリマス、組合デハ拂込済出資金ニ對シテ、貯金ト同率ノ配當金約三百圓ト云フモノヲ引キマス、サウスルト尙ホ残リガ後百圓アル、ソレハ非營利的本質ノ産業組合デアリマスカラ、之ヲドウシテモ組合員ニ戻サナケレバナラヌ、其ノ戻ス場合ニ之ヲ半半ニシテ、五十圓ハ貯金者ノ貯金高ニ應ズル分配、所謂特別配當ト云フモノニナル、後ノ残リハ是ト同ジ率デ出資金ノ配當ニ加ハル、合計ドウナルカト云フト貯金者ノ方モ、貯金利子ハ特別配當デ三百五十圓貫ヘル、ソレカラ出資者ノ方モ三百五十圓貫ヘル、一万圓ヅ出シ合ツタシテデアリマス、斯ウ云フ工合ニナルノデアリマシテ、ソコデ産業組合ニハ一厘モ残ラナイ、所ガ此ノ場合特別配當ニシタモノハ課稅ノ對象物ニハナラヌガ、一身同體デ同ジク産業組合員ニ貸付ケテ、同ジ經濟活動ヲシタ所ノ、而モ同ジヤウニ組合員ニ戻ス金デアルニ拘ラズ、出資ニ對シテ戻ス方ニハ課稅ヲシナケレバナラヌ、斯ウ言ハレマスガ、ドウシテモ合點ガ行カナイ、同ジ經濟活動デズヨ、ソコデ剩餘金ヲ組合員ノ利用高ニ應ジテ分配スル分ハ、是ハ組合ノ利益デハナイカラ課稅セヌ、斯ウ言ハレル、然ラザルモノハ課稅ノ對象トナリ得ルトセラレル、ソコニ無理ガアルト思フ、少々諄イヤウデスガ、

Digitized by srujanika@gmail.com

其ノ組合ガ自己ノ組合員トノ取引カラノミ  
生ジタ組合ノ收入ト云フモノハ、如何ナル  
部分ト雖モ組合員ノ過拂金デアル原價ト時  
價トノ差ノ金デアツテ、組合員ニ全部戻ス  
ベキ金デアル、ソコデ組合自身ノ利益デハ  
アリ得ナイ、サウデナイト云フコトハスツ  
カリ分ルト思フ、ソレヲ購賣高ニ對スル  
配當ニシヨウガ、或ハ準備金ニ繰入レヨウ  
ガ、或ハ其ノ他ノ方面ニ使用サレヨウガ、  
承リタイ。

○大矢政府委員 出資ニ應ズル配當ハ必ズ  
産業組合トシテシナケレバナラヌ性質ノモ  
ノカドウカト云フコトニ付テハ、私ハ一ツ  
ノ疑フ持ツテ居ルノデアリマス、組合員ガ  
ナイ筈ダト私ハ思フ、之ニ對スル御所見ヲ  
出資ヲシテ、組合事業ヲ營ンデ居ル場合ニ  
於キマシテ、寧ロ剩餘金ヲ得ナイデ、組合  
員ノ爲ニナルコトヲヤルノガ、本來ノ姿ト  
存ズルノデアリマス、ソレヲ剩餘金ヲ得テ  
出資ノ高ニ應ジテ分配スルト致シマスレ  
バ、多少ソコニ資本的ノ分子ガ入ツテ來テ  
居ルデハナカラウカト思ヒマス、是ハ私ガ  
前ニ申上ゲタ通り、普通ノ營利法人ニ對ス  
ル出資トハ勿論違フケレドモ、併シナガラ  
當ニ付テ、應分ノ負擔ヲシテ戴イテモ宜イ  
デハナカラウカト云フ分子ガアルデハナカ  
ラウカ、然ルニ一方ニ於テ事業ノ分量ニ應  
ジテ剩餘金ヲ分配スルニ付テハ歩戻シ、ナ  
ケレバナラヌ、普通ノ商人デモ斯ウ云フ歩

戻シハ經費ニ見テ居サマス、況ニ是ハ組  
合員ノ爲ニナル仕事ノ分量ニ應ジテ剩餘金  
部 分ト雖モ組合員ノ過拂金デアル原價ト時  
價トノ差ノ金デアツテ、組合員ニ全部戻ス  
ベキ金デアル、ソコデ組合自身ノ利益デハ  
アリ得ナイ、サウデナイト云フコトハスツ  
カリ分ルト思フ、ソレヲ購賣高ニ對スル  
配當ニシヨウガ、或ハ準備金ニ繰入レヨウ  
ガ、或ハ其ノ他ノ方面ニ使用サレヨウガ、  
其ノ分配ノ方法ニ依ツテ課稅ノ目的物ニナ  
ツタリ、ナラナカツタリスルヤウナコトハ  
ナイ筈ダト私ハ思フ、之ニ對スル御所見ヲ  
承リタイ。

○北委員 配當ハ資本的分子ガアルト言ハ  
レルノデアリマスガ、剩餘金ハ總テ組合員  
ノモノデアル、併シサウ言フト語弊ガアル  
ガ、實ハ積立金モ出資金モ、皆此ノ組合員  
ノ個人々々ノ財產ニナツテ居ル、ダカラ組  
合ニハ一厘モ残ラナイモノデアル、御承知  
ト思ヒマスガ、産業組合ニハ持分臺帳ト云  
フモノガアリマシテ、組合自身ニハ一厘一  
毛モ残ラナイト云フコトニナツテ居ル、是  
ハ毎年綺麗ニ仕分ケテ居ル、之ヲシモ利得  
アリト云フ工合ニ御考ニナルノカ、例ヘバ  
積立金ヤ準備金ヲスルニ付テ、是ハ誰ソレ  
ノモノデアル、是ハ又誰ソレノモノダ、此  
ノ人ノ持分ハ幾ラト云フ風ニナツテ、全部  
一人々々ノ財產ニナルノデアル、イツ脱退  
シテモ其ノ人ニ渡サナケレバナラヌコトニ  
ナツテ居ル、之ヲシモ産業組合ニ利得ア  
リ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデアルカ、  
組合ノ本質ガ根本的ニ非營利ガカラ、剩餘  
金ハ組合自身ノモノデハナク、皆組合員ノ  
小拂金デアルカラ、全部組合員ニ歸屬シテ  
居ル、組合ニ幾ラ金ガアラウガ、ソレハ皆  
切ヲ捧ゲテ活動シテ居ルト云フ風ニモ言ヒ  
切レナシ所ガアル、ソコニ出資ニ對スル配  
當ニ付テ、應分ノ負擔ヲシテ戴イテモ宜イ  
ガアリマスガ、是ハ組合員箇々ノ爲ト云フ  
合員ノ爲ニナル仕事ノ分量ニ應ジテ剩餘金  
ヲ分配スルノデアリマスカラ、産業組合本  
來ノ性質カラ見テ、是ハ假令剩餘金ノ分配  
ヲシテモ課稅スベキモノデハナイ、此ノ意  
味ニ於テ出資ニ對スル分配ト、ソレカラ事  
業ニ應ズル分配トハ截然ト區別シテ然ルベ  
キモノデハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘ  
ルノデアリマス

○北委員 配當ハ資本的分子ガアルト言ハ  
レルノデアリマスガ、剩餘金ハ總テ組合員  
ノモノデアル、併シサウ言フト語弊ガアル  
ガ、實ハ積立金モ出資金モ、皆此ノ組合員  
ニ利得アリ、剩餘金アリト、斯ウ思ツテ居  
ルノデアリマス、今持分ノ關係ノ御話ガアリマ  
シタガ、サウ云フ意味ニ持分ナラバ合名、合  
資ニアリマス、又株式會社ニモアリマシテ、  
是等ガ退社ラスル、或ハ株式ノ消却ヲ受ケ  
ルト云フ場合ニハ、全體ニ對スル自分ノ持分  
ノ拂戻シヲ受ケルト云フコトニナリマシテ、  
サウ云フ意味ニ於ケル持分ト云フモノハ、  
是ハ産業組合ニモ、ソレカラ合名、合資、  
株式會社ニ於キマシテモ同ジヤウニナルト  
思フノデアリマス、ソレヲ以テ組合ノ利益  
ニアラズ、剩餘金ニアラズト申シマスナラ  
バ、普通ノ營利法人ニ於ケル利益モ、當該  
營利法人ノ利益ニアラズ、社員ノ利益ナリ、  
株主ノ利益ナリ、斯ウ言ハナズト申シマスナラ  
カト思ヒマス、法律上獨立ノ人格ヲ持チ、  
個人ト離レタ收支計算ヲ致シ、ソコニ剩餘  
金ガアルト云フノガ明カナル事實ダト思フ  
ノデアリマス

○北委員 次ハ私ハ組合ノ本質論ニ據ツテ、  
稍形式的ノ問デアリマスガ、次ノ問題ノ爲  
ニ必要デアリマスカラ御伺スルノデアリマ  
ス、産業組合法ニ「組合員ノ産業經濟ノ發達」  
トアル、ソコデ斯ウ解釋サレテ居ル、先達テ  
モ法ノ上デハ相互扶助ト云フコトガ現ハレ  
テ居ラヌト云フコトヲ、御話ニナツタコト  
ガアリマスガ、是ハ組合員箇々ノ爲ト云フ  
マスケレドモ、併シ實ハ組合員對組合ト云  
フ廣義ノ解釋ヲスペキモノデアツテ、ソコ  
ニ組合ノ相互扶助的ノ性質ヲ見出スコトガ  
出來ルコトニナル、狹義ニ解釋スルノト廣  
義ニ解釋スルノトノ違ヒテ、廣義ニ解釋ス  
レバ、法律ノ上ニチャント相互扶助的ノ性  
質ガ現ハレテ來ル、斯ウ云フコトニナルノ  
デアリマス、例ヘバ逆ニ組合員カラ言フト、  
自分個人トシテハ田舎ノ組合デ買フヨリモ、  
東京デ買ツテ行ツカ方ガ得デアルカモ知レ  
スガ、併シ組合員全體ノ爲ダト云フ考カラ、  
下層ノ弱イ人々ノ爲ニ何トカシテヤラナケ  
レバナラズ、買上高ヲ成ベク大量ニ纏メテ、  
ノ拂戻シヲ受ケルト云フ意味カラ、少々  
シタガ、サウ云フ意味ニ持分ナラバ合名、合  
資ニアリマス、又株式會社ニモアリマシテ、  
是等ガ退社ラスル、或ハ株式ノ消却ヲ受ケ  
ルト云フ場合ニハ、全體ニ對スル自分ノ持分  
ノ拂戻シヲ受ケルト云フコトニナリマシテ、  
サウ云フ意味ニ於ケル持分ト云フモノハ、  
是ハ産業組合ニモ、ソレカラ合名、合資、  
株式會社ニ於キマシテモ同ジヤウニナルト  
思フノデアリマス、ソレヲ以テ組合ノ利益  
ニアラズ、剩餘金ニアラズト申シマスナラ  
バ、普通ノ營利法人ニ於ケル利益モ、當該  
營利法人ノ利益ニアラズ、社員ノ利益ナリ、  
株主ノ利益ナリ、斯ウ言ハナズト申シマスナラ  
カト思ヒマス、法律上獨立ノ人格ヲ持チ、  
個人ト離レタ收支計算ヲ致シ、ソコニ剩餘  
金ガアルト云フノガ明カナル事實ダト思フ  
ノデアリマス

○北委員 其ノ通リ考ヘテ居リマス  
ス、殊ニ自分ノ組合員トノミ取引スルモノ  
カラ生ズル組合ノ剩餘金ト云フモノハ、如

何ナル意味ニ於テモ利潤ト稱スベキ性質ノモノデハナ、當局ハ相互扶助的産業組合ノ事業カラ出來タ所ノ金ヲ配當スルコトヲ、營利會社ガ配當スルヤウニ解釋サレテ、妙ニ之ヲ氣ニ病ンデ居ラレルヤウデアルノデアリマスガ、積立テル金モ出資ニ對シテ配當サレル分モ、一切皆相互扶助ノ爲ノ組合ノ事業資金ナリ、或ハ組合員ノ出資金ニ充當サレルノデアリマシテ、第一日本ノ狀況カラ見ルト、出資ノ口數ハ全國平均一組合員ニ對シテマダ二口ニシカナツテ居ラス、拂込金モ出資金モ、全國平均僅ニ五十圓内外ニ過ギヌノデアリマス、日本ノ組合トシテハ是カラ出資ノ増嵩ト、拂込トヲシテ行カナケレバナラヌ經濟發展ノ段階ニアル、三十口マダ持テルコトニナツテ居ルノニ、マダ二口シカ持ツテ居ラス、ソレヲ相互扶助的ノ出資金ニ使ヒ、相互扶助的ノ事業ニ使フ爲ニヤツテ行クノデアリマスカラ、隨テ配當金ノ全部ガ漸次出資ノ拂込ニ充テラテ居ル狀況ナンデス、アノ剩餘金ノ處分案ヲ御覽ニナツテモ分ルト思フガ、配當金ハ總テ悉ク出資ノ拂込ニ充ツト書イテアル、所謂似テ非ナルモノデ、營利會社ト見方ヲ性質ニ相違ガ來ル筈ガナイ、配當ノ形ハ營利會社ニ似テ居ツテモ、全ク性質ガ違フ、所謂似テ非ナルモノデ、營利會社ト見方ヲ同ジウスベキモノデナイト思フノデアリスガ、此ノ點ニ對スル當局ノ御考ヲ承リタ

○大矢政府委員 剰餘金ヲ出資ニ應ジテ配當スル場合ニ、出資ガ未拂込ニナツテ居

場合ニハ、拂込ニ充當スルト云フコトニナ

ツテ居ルノハ、私共モ承知致シテ居リマス、併シナガラ是レアルガ爲ニ出資ニ應ズル配

當デハナイト言ハレナイト思フノデアリマ

シテ、出資ガ全額拂込ニナツテ居リマスレバ、其ノ出資ニ對スル配當ト云フノハ、各組合員ニ行クノデアリマスガ、未拂込ノ存

シテ居ル場合ニハ、一旦各組合員ニ配當シテ、更ニ之ヲ拂込ニ充當スルト云フ手續ヲ

省略シタ關係ニ立ツト思フノデアリマシテ、ヤハリ出資ニ對スル配當其ノモノノ性質ニハ、違ヒガナイト云フ風ニ考ヘテ居リマスカラ、ソコデ相互扶助的ノ仕事ニ使フコトニナツテ居ル、サウ云フ相互扶助的ノモノニ課稅スベキデハナイト云フコトヲ、私ハ申上ゲタノデアリマス、次ニ組合ハ非營利原則ニ依ツテ、組合員ノ利益ヲ圖ルノデアルカラ、個々ノ組合員ノ富力ガ増スノデアル、所謂稅源涵養ノ役目ヲシテ居ル小サイ人々モ産業組合ノ活潑ナル活動ニ依ツテ、免稅點以上ノ收入ニ達スル、斯ウ云フヤウナコトニナル、又現在財產ノアル人々モ組合ノ活潑ナル活動ニ依ツテ、其ノ人ノ財力ガ増ス、ソコデ國家ハ是等ノ者カラ稅金ヲ取ルト云フコトニナルノデアツテ、斯ウ云フ組合ガドンヽ出来タラ、國家ノ稅源ガ無クナル、國家ガ持テナクナルト云フヤウナ間違ツタ議論ガアリマスガ、此ノ點ニ付テ當局ハドウ考ヘラレルカ

○大矢政府委員 若モ産業組合ニ對シテ、此ノ度ノ課稅案ノヤウナモノヲ行ハズ、出資ニ對スル配當モ其ノ儘認メテ、組合員ノ資產ガ增加シテ行クト云フコトニ致シマスレバ、仰セノ通り確ニ稅源涵養ト申シマスカ、サウ云フ效果ハアルト思ヒマス、併シ

是ハ獨リ産業組合員ノミニ限ラズ、中小商

業者、或ハ今日時局ノ波ニ乘ツテ居ル會社ニ付テモ、同ジヤウナコトガ言ヘルト思

ヒマス、課稅ノ程度ヲ輕減致シマスト、ソレダケ將來ニ於テ稅ノ負擔能力ガ殖エルト

云フコトハ、是ハ獨リ産業組合ノミナラズ、總テニ付テ言ハレルコトト存ズルノデアリマシテ、要スルニ國ノ財政ノ狀況ヲ見

經濟界ノ狀況ヲ見テ、サウシテ一般ガ此ノ員ガ、果シテ此ノ程度ノ負擔ヲシテ差支

ナイカドウカト云フコトニ歸著スルカト存ジマス

○北委員 拂込ガ濟ムト又增口ヲサセラレ、サウシテ又拂込ニ充テテ行クノデアルカラ、ソコデ相互扶助的ノ仕事ニ使フコトニナツテ居ル、サウ云フ相互扶助的ノモノニ課稅スベキデハナイト云フコトヲ、私ハ申上ゲタノデアリマス、次ニ組合ハ非營利原則ニ依ツテ、組合員ノ利益ヲ圖ルノデアルカラ、個々ノ組合員ノ富力ガ増スノデアル、所謂稅源涵養ノ役目ヲシテ居ル小サイ人々モ産業組合ノ活潑ナル活動ニ依ツテ、免稅點以上ノ收入ニ達スル、斯ウ云フヤウナコトニナル、又現在財產ノアル人々モ組合ノ活潑ナル活動ニ依ツテ、其ノ人ノ財力ガ増ス、ソコデ國家ハ是等ノ者カラ稅金ヲ取ルト云フコトニナルノデアツテ、斯ウ云フ組合ガドンヽ出来タラ、國家ノ稅源ガ無クナル、國家ガ持テナクナルト云フヤウナ間違ツタ議論ガアリマスガ、此ノ點ニ付テ當局ハドウ考ヘラレルカ

○大矢政府委員 大藏當局ハ産業組合ノミナラス、商業組合、工業組合、是等ノモノニ特別法人稅ヲ課稅スルコトハ、其ノ發達ヲ阻碍スルモノト御考ニナラスカ

○北委員 大藏當局ハ産業組合ノミナラス、

合一万二千近クアルト思ヒマスガ、其ノ半分ハ殆ド剩餘金ヲ擧ゲテ居リマセヌ、剩餘金ノ分配ヲシテ居リマセヌ、又此ノ度免稅

圈内ニ置キマス拂込出資額ニ對シテ、年三分未滿ノ剩餘金ヲ擧ゲテ居ル組合モ、相當

アルノデアリマシテ、隨ツテ産業組合等ノ單位組合デ、課稅ニナル分ハ全體ノ中デモ

左程多クハナイノデアリマシテ、ソレ等ニ對シマシテ、此ノ程度ノ負擔ヲスル爲ニ、

産業組合ノ發達ガ著シク阻碍サレルト云フコトニハ、實ハ考ヘテ居ナイノデア

リマス、一面ニ於キマシテ課稅ヲ回避シヨウトシテ、原價販賣スルヤウニナルデハナカ

カ、或ハ此ノ爲ニ農村ノ金融恐慌マデモ來

居ルノデアリマスガ、當局ハドウ云フ工合ニ見テ居ラレマスカ

○大矢政府委員 此ノ度ノ稅負擔ハ剩餘金ノ百分ノ九程度デアリマスカラ、私ハ是ガ起リハシナイカ、斯ウ云フ風ニ私共ハ見テ居ルノデアリマスガ、當局ハドウ云フ工合ニ見テ居ラレマスカ

○大矢政府委員 此ノ度ノ稅負擔ハ剩餘金ノ百分ノ九程度デアリマスカラ、私ハ是ガ爲ニ著シク産業組合ノ發達ヲ阻害スルト

カ、或ハ此ノ爲ニ農村ノ金融恐慌マデモ來

スト云フ風ニハ、實ハ考ヘテ居ナイノデア

リマス、一面ニ於キマシテ課稅ヲ回避シヨウトシテ、原價販賣スルヤウニナルデハナカ

カ、或ハ此ノ爲ニ農村ノ金融恐慌マデモ來

居ルノデアリマスガ、當局ハドウ云フ工合ニ見テ居ラレマスカ

○大矢政府委員 此ノ問題ハ頗ル小サイ問題ノヤウニ見ラレテ居リマスガ、是コソ眞綿ノ中ニ針ガ入ツタ程、產業組合ノ發達ノ妨害ニ

合ニ課稅スルト、自然大藏當局ガ考ヘラレ

ナルコトデアリマス、ナゼナラバ、產業組合ニ

アリマシテ、先程將來ノ稅源涵養ニモナル

マシテ組合員ガ安ク品物ヲ手ニ入レレバ、ソレダケ支出ガ減ルノデアリマスカラ、組

合員ノ經濟力ニ及ボス影響ガ、非常ニ結構デ

アリマシテ、私ハ是ハ不都合ナ

カラウカト存ジマシテ、私ハ是ハ不都合ナ

コトトモ何トモ考ヘテ居ナイノデアリマス

○北委員 大藏當局ハ之ヲ何デモナイコト  
ノヤウニ思ツテ居ラレルノデアリマスガ、  
影響スル所ガ頗る大キイ、能ク一ツ御考直  
シヲ願ハナケレバナラヌト思フノデアリマ

次ニ御伺シタイコトハ、日本ノ組合ハ組合以外ノ取引ヲ許サヌ、最初カラ法律ガ非課税本位ニ出來テ居ルノデアリマス、今度課税ヲスルト云フナラバ、先づ産業組合法ヲ同時ニ改正シテ、或ハ商業組合法、工業組合法ヲ同時ニ改正シテ、サウシテ産業組合ニ課シテ居ル所ノ各種ノ制限ヲ緩和スベ

此ノ儘ニシテ課稅ヲスルト云フコトハ、マ  
ルデ縛ツテ置イテ叩クコトト同ジダ、實ニ  
ヒドイコトダ、斯ウ言ツテ居ルノデアリマ  
スガ、課稅ト同時ニ制限緩和ヲスルト云フ  
コトニ付テ、御考ヲ持ツテ居ラレマスカ  
**○大矢政府委員** 産業組合本來ノ性質ニ鑑  
ミマシテ、之ヲ普通ノ營利法人ト同率ニ置  
イテ課稅スルノハ、私ハ當ヲ得ナイト思フ  
ノデアリマス、此ノ度ノ産業組合等ニ對スル  
特別法人稅ノ制定ニ依ツテ、ドウシテモ產  
業組合ガ普通ノ營利法人ト同様ノ經濟行動  
ニ出デナケレバナラスト云フヤウナコトガ  
アルナラバ、ソレハ考慮シナケレバナラヌ  
ト思フノデアリマスガ、私ハ決シテサウ云  
フコトハナイト思フノデアリマス、外國等  
ニ於ケル課稅ノ例ヲ見マスト、普通ノ營利  
法人ニ對スル課稅ト同様ノコトヲ致シテ居  
ル向モアルノデアリマシテ、サウ云フ場合  
ニ於キマシテ、北サンノ仰セラレルヤウナ  
コトガ問題ニナルノデアリマスガ、此ノ度  
ニ於キマシテハ、普通ノ營利法人ニ對スル  
法人稅ノヤウナ課稅ハ致シマセヌ、地方團

アリマシテ、産業組合法自體ニ於キマシテ  
ハ、産業組合ノ性質ニ鑑ミマシテ、法人税、  
營業税ハ課稅シナイト云フコト、是ガ本則  
ダト思フノデアリマシテ、度々申上ゲマス  
通り、此ノ度ノ課稅ハ臨時當分ノ間ト云フ  
コトニナツテ居ルノデゴザイマシテ、其ノ  
課稅ノ方法、課稅ノ率、稅ノ建テ方カラ致  
シマシテ、此ノ程度ノ負擔ヲ致シタカラ  
ト申シテ、産業組合ガ從來ノ經營方法ヲ  
全ク放擲シテ、普通ノ營利法人ト同様ノ經  
濟活動ニ出デナケレバナラヌト云フヤウニ  
ハ、實ハ考ヘテ居ナイ譯デアリマス  
○北委員 今ノ御答辯ニ依リマスト、外國  
ノ組合モ皆課稅ガレテ居ルヤウニ伺フノデ  
アリマスガ、英國ノ組合ト云ヒ、或ハ獨逸  
ノ組合ト云ヒ、是ハ何レモ自分ノ組合員ノ  
ミトノ取引ニ對シテハ課稅シナイ、ソレハ  
理論的ニハサウデナイ、是ハ本位田サン  
ノ去年出シタ本ニアル、私ハ之ヲ信ジマ  
スガ、サウ言ツテ居ル、組合員外トノ取  
引ニ對シテハ課稅スル、組合員ダケノ  
取引ニ對シテハ課稅シナイ、斯ウ言ツテ居  
ル、是ハ先程言ツタ本位田サンノ書イ  
タ本デアリマスカラ、間違ヒハナイト思  
フ

ニ付テ御伺致シタイ點ハ、非課稅ノ產業組合ニ對シテ、立法調査會ヲ重ねテ政府ガ課稅シナケレバナラスト云フ基礎ヲ一  
點御尋シマス、續イテソレニ關聯シマシテ、所謂課稅非課稅ニ付テ産業組合ニ疑問ヲ持ツテ居リマスガ、ソレヲ課稅シナケレバナラヌト云フ政府ノ所見ヲ先ニ聽キダイ

○大矢政府委員 産業組合等ハ是等ノ組合等ノ本質ニ鑑ミマシテ、普通ノ營利法人ノ如キ課稅ハ致スベカラザルモノト考ヘテ居リマス、併シナガラ此ノ時局下ニ於キマシテ、國民一般ニ負擔ガ漸次重クナツテ來マシタ今日ト致シマシテ、産業組合モ一面ニ於キマシテ經濟活動ヲ致シ剩餘金ヲ得、出資ニ應ジテ組合員ニ剩餘金ノ分配ヲ致シテ居ルト云フノデアリマスカラ、ソコニ多少ノ擔稅力アリト認スマシテ、普通ノ營利法人トハ全然別個ノ見地ニ立ツテ、或ル程度ノ負擔ヲ臨時當分ノ間シテ戴カウ、斯ウ云フ趣旨デアリマス

○深澤委員 政府ノ國民所得ニ於ケル統計年鑑ニ於キマシテ、主トシテ産業組合ヲ組織スル日本ノ農業者ハ「パーセンテージ」ニスルト、總人口ノ四〇・五%デアリマス、又工業ハ一九・二%デアリ、商業ハ一五・一%デアル、サウシテ所得ノ總額カラ見マスト、農業者ハ總額ニ對シテ「パーセンテージ」ニシテ一七・七%デアリ、工業者ハ四九・二%デアリ、商業者ハ二五・四%デアル、此ノ點カラ見マスト農業者ハ工業ニ對シマシテハ、何分モノノ所得シカ認メ得ナイ、商業ニ對シテモ亦何分ノート云フコトノ觀察ヲ爲シ得ルモデアリマスガ、此ノ課稅ノ改正ヲ爲スニ付キマシテ、此ノ所得比例ニ於ケル農業者課稅ガ他ニ比シテ重ク、他ハ輕イト云フ帝

○大矢政府委員 今ノ御話ハ國全體トシテ農業者ノ所得ト商業者ノ所得、工業者ノ所得、斯ウ云フ點カラト存ジマス、課稅ノ所得ニナリマスト、是ハ各人ノ所得高ト云フモノハ違ヒマス、農業者ハ比較的大所得者ガ少イ、然ルニ商工業者ハ大所得者ガ多イ、免稅點ノ關係等ヨリ致シマスルト、此ノ農業者、商工業者ヲ全國通計シテノ所得高ト、ソレカラ課稅所得高トハ必ズシモ一致シナイノデアリマス、免稅點ノ點デ餘程達ツテ來ル、富ノ分配ガ農業者、商業者、工業者等ニ依ツテ、ソレヘン違ツテ來ルノデアリマスカラ、是ハ課稅上ハ個々ノ所得者ノ負擔ガ果シテ農、工、商ノ三者ニ於テ、均衡ヲ得テ居ルカドウカト云フ點著眼シテ決スベキ問題カト存ジテ居リマス

○深澤委員 大藏大臣ニ一寸御伺シタイノデスガ、產業組合等非課稅團體ニ對シマスル課稅ノ制度ノ趣旨ハ、時局柄デ剩餘金ガアリ、事業收益ガアルカラ、之ニ賦課スルト云フヤウナ御説明ハ承知致シマシタガ、更ニ他ノ委員ノ質問ニ對シテ、商業トノ關聯ガアルカラト云フ意味合モ、同僚ニ對スル御説明ノ御言葉ノ中ニ含マレテ居リマスガ、ソレニ關聯致シマシテ御伺シタイ點ハ、消費稅ノ課稅ニ付テ煉乳事業ニ對シマシテハ、消費稅改正ニ伴フアノ戻稅ノ趣旨ハ、育兒上國民保健ノ戻スト云フコトデアリマスガ、ソレニ依リマシテ私共ノ心配スル點ハ、消費稅改正ニシテ

スル、是ハ非常ニ適切ナル立法デアリ、國民ハ雙手ヲ擧ゲテ喜ンデ居ル、次第ニアリマスガ、但シ煉乳ノ内菓子用ニ利用スル「コンデンスミルク」ト云フモノニモ免稅ニナルカ、御承知ノ通り日本ハ菓子製造業者ハ、四万或ハ五万ニ達セントシテ居ル、其ノ方面ハ戻稅ノ恩典ニ浴セヌ、一方煉乳事業ヲヤツテ居ル方面ノ菓子製造業者ハ、戻稅ノ恩典ニ浴シ、サウシテ小サナ中小ノ菓子製造業者ヲ、統制ノ下ニ壓迫スルト云フ結果ガ生ズル、之ニ對スル大藏大臣ノ御所見ヲ御伺シタインデアリマス。

○田中政府委員 事實ダケ私ガ先ニ御答申上ゲマス、御話ノ煉乳ノ製造ノ用ニ供シ砂糖ニ對シテハ、從來戻稅ノ規定ガアツタノデアリマス、今回ノ消費稅法ニ於キマシテモ、改正ノ第十一條ニ於キマシテ、同ジク煉乳ノ製造用ニ供シタ砂糖ニ對シマシテハ、免除又ハ戻稅スルト云フコトヲ設ケテ居リマス、但シ此ノ煉乳原料砂糖ヲ戻稅又ハ免稅致シマス趣旨ハ、育兒用ノ煉乳、サウ云ツタナヤウナモノヲ課稅品トスルコトハ適當デナイト云フ趣旨カラ、免稅致シテ居リマスケレドモ、御承知ノヤウニ煉乳ハ非常ニ高級ノ菓子ニ使ハレ、相當ノ部分ガ菓子ノ方ニ使ハレテ居ルヤウナ状況デアリマスノデ、菓子等ニ使用スル煉乳ノ原料砂糖ニ付キマシテハ、免稅スルコトハ必ズシモ適當デナイト云フ趣旨カラ、今回命令ヲ以テ或ル程度煉乳原料砂糖ノ戻稅ヲ、制限スルコトニ致シタ譯デアリマス、其ノ實質ハ菓子等ニ使用セラレマスモノニ付テ戻稅シナ、斯ウ云フ規定ヲ命令ニ挿入致スコトニナツテ居リマス

スルノデアリマスガ、私ハ根本問題トシテ御承知ノ通り日本ハ菓子製造業者ハ、四万或ハ五万ニ達セントシテ居ル、其ノ方面ハ戻稅ノ恩典ニ浴セヌ、一方煉乳事業ヲヤツテ居ル方面ノ菓子製造業者ハ、戻稅ノ恩典ニ浴シ、サウシテ小サナ中小ノ菓子製造業者ヲ、統制ノ下ニ壓迫スルト云フ結果ガ生ズル、之ニ對スル大藏大臣ノ御所見ヲ御伺シタインデアリマス。

○櫻内國務大臣 今回ノ特別法人ニ關スル課稅ハ、産業組合バカリデナク、商業組合、工業組合總テサウ云フ同一性質ヲ持ツテ居團體ニ對シマシテ、課稅ヲ致スノデアリマスガ、剩餘金ガアツタ場合、即チ數量ニ比例シテ組合員ニ對シテノ割戻ス所ノ金度ノ高ニ上ツダ場合、即チ出資金ノ三分以上ニナツタ場合ニ於テ、初メテ課稅スルノデアリマシテ、其ノ課稅ガ私ハ大ナル影響ヲ與ヘルトハ思ツテ居リマセヌ、併シナガラ本來ノ性質ハ課稅セザルコトヲ本質ト致スノデアリマスガ故ニ、此ノ稅金ハ適當な時期ニ於テ、減稅其ノ他ノ場合ガ起リマスレバ、第一ニ取去ルベキモノデアルト思ヒマス、唯今日ノ際ニ於キマシテハ、所謂特別法人ノ如キ性質ヲ持ツテ居ル部分ノ人スラ、稅ヲ負擔シテ行クベキ時代デアルト云フ見地カラ、私ハ是等ノ人々モ諒解ヲシテ下サルモノト、斯様ニ確信シテ居ルノデアリマス

○北委員 大藏大臣ハ時局ニ鑑ミ當分ノ間負擔ヲサセル、斯ウ云フ風ニ言ハレルノデアリマスガ、併シ此ノ課稅問題ノ起因、ドウ云フコトデ課稅問題ガ起ツタカト云フコトニ對シテハ、全國ノ農民ハ能ク知ツテ居ル、何ノ爲ニ課稅サレカ、所謂産業組合ノ大藏大臣ノ所見如何

スルノデアリマスガ、私ハ根本問題トシテ御承知ノ通り日本ハ菓子製造業者ハ、四万或ハ五万ニ達セントシテ居ル、其ノ方面ハ戻稅ノ恩典ニ浴セヌ、一方煉乳事業ヲヤツテ居ル方面ノ菓子製造業者ハ、戻稅ノ恩典ニ浴シ、サウシテ小サナ中小ノ菓子製造業者ヲ、統制ノ下ニ壓迫スルト云フ結果ガ生ズル、之ニ對スル大藏大臣ノ御所見ヲ御伺シタインデアリマス。

○櫻内國務大臣 産業組合ヲ設ケマシタノハ、御承知ノ通り明治三十三年カラデアリマスガ、是ハ全ク特殊ノ公共的使命ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、産業組合ノ本來ノ目的ト云フモノハ、私ハ今後ト雖モ益其ノ發達ヲ圖ツテ行クベキモノト考ヘテ居リマス、御話ノ煉乳ノ製造ノ用ニ供シ砂糖ニ對シテハ、從來戻稅ノ規定ガアツタノデアリマス、今回ノ消費稅法ニ於キマシテモ、改正ノ第十一條ニ於キマシテ、同ジク煉乳ノ製造用ニ供シタ砂糖ニ對シマシテハ、免除又ハ戻稅スルト云フコトヲ設ケテ居リマス、但シ此ノ煉乳原料砂糖ヲ戻稅又ハ免稅致シマス趣旨ハ、育兒用ノ煉乳、サウ云ツタナヤウナモノヲ課稅品トスルコトハ適當デナイト云フ趣旨カラ、免稅致シテ居リマスケレドモ、御承知ノヤウニ煉乳ハ非常ニ高級ノ菓子ニ使ハレ、相當ノ部分ガ菓子ノ方ニ使ハレテ居ルヤウナ状況デアリマスノデ、菓子等ニ使用スル煉乳ノ原料砂糖ニ付キマシテハ、免稅スルコトハ必ズシモ適當デナイト云フ趣旨カラ、今回命令ヲ以テ或ル程度煉乳原料砂糖ノ戻稅ヲ、制限スルコトニ致シタ譯デアリマス、其ノ實質ハ菓子等ニ使用セラレマスモノニ付テ戻稅シナ、斯ウ云フ規定ヲ命令ニ挿入致スコトニナツテ居リマス

○堀切委員長 只今ノ御質疑ノヤウニ、一ツ簡單明瞭ニ願ヒマス

○北委員 大藏大臣ハ、此ノ産業組合ノ課稅ニ依ツテ、今後ノ産業組合ノ發達ニ非常ニ對シテハ、全國ノ農民ハ能ク知ツテ居ル、何ノ爲ニ課稅サレカ、所謂産業組合ノ大藏大臣ノ所見如何

○櫻内國務大臣 是ガ農民ニ關係アリマスル産業組合ダケニ、課稅スルト云フノデアリマシタラ、サウ云フ疑問モ起リマスガ、商業組合デモ工業組合デモ、總テノ同じ性質ノ團體ニ付キマシテモ同一ノ立場ニ於テ課稅スルノデアリマスガ、ソレモ極メテ金額トシテハ極メテ少額ナモノト思ヒマスガ、是ガ今御話ノヤウナ風ニ、非常ニ感情ヲ害スル程ノ事柄デハナイト、私ハ斯様ニ考ヘテ居リマス、殊ニ現在ノ時局ヲ認識セラレテ居

ル所ノ多數ノ人ガ、左様ニ考ヘラレルトハ思ヒマセヌガ、私共ハ勿論現在ノ農家ノ人々ガ、血ミドロニナツテ、非常國策ニ副ウテ御勵キニナツテ居ル點ニ付キマシテハ、深ク感激致シテ居ルノデアリマスガ、ドノ方面ノ國民モ亦等シク勵イテ居ルノデアリマス、ソレニ對シマシテ少ナカラザル増稅ヲ致ス場合デアリマスガ故ニ、ヤハリ産業組合其ノ他ニ於キマシテモ、特ニ剩餘金ニ對シテ相當ナル利益ガアリマシタ場合ニ於テノミ、多少ノ負擔ヲシテ戴クト云フ事柄ハ、左程私ハ無理ナモノデハナイト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス。

○北委員 大變簡單ニ考ヘテ居ラレルヤウ

デアリマスガ、既ニ全國ノ農家ニ對シテハ、

産業組合ノ壓迫感ト云フ印象ヲ、スツカリ植

付ケテシマツテ居ルノデアリマシテ、商業

組合ニモ、工業組合ニモ成程課カルガ、是

ハ産業組合壓迫ノ爲ニ、サウ云フヤウナ商業

組合、工業組合ガ御相伴サセラレテ居ル、

斯ウ云フ工合ニ考ヘテシマツテ居ルト思フ

ノデアリマシテ、此ノ心理的影響ハ非常ニ

私ハ大キイモノガアルト思フカラ、モウ一

遍考ヘ直シテ貰ハナケレバナラスト思フノ

デアリマス、ソレカラ是ハ大藏大臣ニ對ス

ル質問ノ終リデアリマス、先程政府委員ニ

モ御伺シタノデアリマスガ、大事ナコトデ

スカラ、モウ一遍大藏大臣ニ承ツテ置キタ

イト思ヒマス、産業組合ニ課稅シマスルト、

自然原價販賣ニ近イコトヲスル、割戻金マ

デヤツテシマウト云フヤウナコトニナリマ

シテ、剩餘金ヲ出サス、ソコデ組合ノ積立、

金ト云フモノガ少クナル、配當金ガナクナ

ルカラ、ソコデ出資金ノ拂込モ中々面倒ニ

ナル、新タニ國策ニ應ジタ生産擴充ノ仕事

○北委員 農民ハ非常ニ金ノ儲カラヌ仕事

ヲシヨウト思ツテ、事業ヲヤラウトシテ總會フ開いて、新タニ又各自ノ懷カラ金ヲ出

サウト言ツテモ、纏ルコトハナイノデアリマス、ソンナヤウナコトニナリマシテ、產

業組合ノ基礎ガ段々々々薄弱ニナル、オ終

ヒニハ私ハ農村ノ金融恐慌サヘ起リハシナ

イカ、モウ産業組合ハ見込ガナイ、澤山金

ガ預ケテアルカラ、足許ノ明ルイ申ニ早く

引出シテシマハナケレバナラナイト云フコ

トガ生れ出ルノデハナイカ、斯ウ考ヘルノ

デアリマスガ、其ノ影響スル所ニ對シテ、

大藏大臣ハ如何ニ御考ヘニナルカ

○櫻内國務大臣 今ノ御話ニ依リマスト、

總テ組合員ガ利潤ヲ、組合ニ於テ取扱ツタ

數量ニ依ツテ配分シテシマフ、私ハ農民ゾ

シテ政府が何トモ云フベキ筋合モナケレ

バ、私ハ差支ナイト思フノデアリマス、唯

ト思フノデアリマス、又農民ハヤハリ目前

ノ利益ヲ見ル、大藏大臣ノ今言ハレルヤウ

ニ、早ク金ヲ持ツテ歸レバ宜イノデス、サ

ウシテ安イ物ヲ買ヘルノガ、ソレガ理想ナ

ノデス、サウ云フ希望ガ多イ、産業組合カラ

ウシテ安イ物ヲ買ヘルノガ、ソレガ理想ナ

ノデス、サウ云フ希望ガ多イ、産業組合カラ

金ヲ持ツテ歸ラウ、持ツテ歸ラウトスル、其

ノ爲ニ組合ト云フモノノ基礎ガ弱クナツテ

來ル、斯ウ云フ結果ガ出來テ居ルノデアリ

マス、ソヨデ農村ノ指導者ハ、所謂目前ノ

利益ト云フコトヨリハ、農民ノ困ツテ居ル

状況ヲ救フガ爲ニ、ヨリ良キ明日ヲ作ルト云

フコトヲ「モットー」トシテ居リマス、サウシ

テ、金ヲ持ツテ歸ラズニ成ルベク殘シテ置

キ、サウシテ將來オ互ノ生活ノ爲ニ、相互

扶助ノ爲ニ良イ仕事ヲシテ行カナケレバナ

ラヌ、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデア

リマシテ、幾ラカ利益ハ薄イガ産業組合ニ付

テ、自分等ノ前途ニ希望ヲ持ツテ居ル、其ノ

トガ、日本ノ國ノ將來ノ爲ニ極メテ必要ダ

ト思ツテ居リマス、ソヨデ農村發展ニ對シ

テ有ユル角度カラ、出來ル、ダケ最大ノ努

力ヲ致サナケレバナラスト云フコトニ付キ

マシテハ、私モ深ク感じ居リマス、唯、

只今ノ産業組合特別法人課稅ノ問題ニ付キ

マシテ、是ハ課稅シタラ宜イカ、セヌガ宜

イカト云フコトナラバ、課稅セヌ方ガ宜イ

マスアリマス、併シナガラ今日ノ狀態カラ

申シテ、有ユル方面ノ者ガ總テ負擔ヲスル

場合ニ於テ、一部ノ負擔ニ任ジテ戴クト云

フコトハ、必ズシモ農村民ノ心理狀態ニ左



ヲ又ノ此戰時體制カラ考ヘマスト、年々五十億、六十億ト云フ澤山ノ公債ヲ發行致シマスカラ、本年ノ議會ニモ現ハレマスル通り、又豫算案ノ附帶決議ニ現ハレマスル通り、有ユル人ノ關心ヲ唆ルモノハ「インフレ」ノ惡性化ヲ、如何ニシテ阻止スルカト云フコトデ、此ノ點ニ總テノ經濟論ガ集中シテ居ルノデアリマス、是ハ當然ノコトデアリマス、戰時體制ガ續ケバ續ク程、此ノ惡性ノ「インフレーション」ヲ如何ニシテ調整スルカト云フコトガ、經濟政策ノ根本ニナルコトハ必然デアラウト思フノデアリマス、隨テ此ノ稅制ノ上ニ於テモ、戰時體制シリ見ル場合ニ於テハ、ドウシテモ私ハ此ノ「インフレ」ノ惡性化ヲ阻止スルト云フコトヲ、稅制ニモ相當強ク織込マナケレバナラヌト思フノデアリマス、是ハ御當局ニ決シテ御異論ガナイコトト思フ、サウシマスルト、私ハドウシテモ稅制ハ二本建ニシナケレバ、ソレガ旨ク行カヌヂヤナイカ、詰リ「ノーマル」ノ狀態ヲ對象トシタ、サウシテ負擔ノ均衡ヲ中心トシタル所ノ基本稅制ト、此ノ戰時體制ニ於テ「インフレ」ノ惡性化ヲ阻止スルコトヲ目的トシタ所ノ臨時稅制、斯ウ云フ工合ニ二本建ニスルノガ、私ハ最モ宜イノデハナイカト實ハ考ヘルノデアリマス、若シ私ノ意見ヲ肯定シテ戴ケルナラバ、例ヘバ所得稅ノ控除額ノ如キモ、基本稅制ト致シマシテハ、今日立案セラレタモノヨリ、控除額ヲ増シ得ルト云フコトモ考ヘラレルデアリマセウ、併シナガラ「インフレ」阻止ヲ觀點カラ申シマスナラバ、臨

時稅制ト致シマシテハ、其ノ控除額ヲモツト下ゲルト云フコトモ言ヒ得ルト思ヒマス、又今度ノ稅制ニ於キマシテハ、物價ノコト入レニナツテ居ル、是モ當然デアリマス、併シナガラ國民ノ購賣ヲ力吸收シ、ソレニ依ツモ、組織ノ點ニ於テモ、直接稅ニ主ニ力ヲオ観點カラ申シマスナラバ、消費稅ヲ増徵サセナケレバナラスト云フヤウニ考ヘルノデテ「インフレ」ノ悪性化ヲ阻止シヤウト云フアリマス、現ニ間接稅ト直接稅ノ比較ヲ致シマスト、先日戴イタ參考資料ニ依ツテ見マシテモ、歐米ノ立法例ト比較シテ見マシテ、我國ガ一一番多イ、英吉利ノヤウニ直接稅ナツテ居ル、昭和十四年度ニ於ケル我國ノ直接稅ノ割合ハ五七%ニナツテ居ル、何レノ點カラ見テモ、私ハ間接稅ヲ增徵スルトルト云フコトハ、「インフレ」防止ノ上カラ極ヌテ云フコトハ、「インフレ」防止ノ上カラ極ヌテ必要ナ事態ニ、今日ハ逢著シテ居ルト思フノデアリマス、併シナガラ之ヲ物價ノ觀點、國民生活ノ點カラ考ヘマシテ、「ノーマル」ナ狀態ナラバ、出來得ルダケ直接稅ニ重點ヲ置クト云フコトガ望マシイコトデアリマス、ソレヲ戰時體制ト致シマシテハ、又ソコニ何等カノ工作ガアルベキデハナイカ、斯ウ云フ色々ナ觀點カラ考ヘマシテモ、私ハ一本建ヨリハ二本建ニシテ、恆久體制ト臨時體制ノ二本建ニスルト云フコトガ、此ノ時局ニ適合スル爲ニ最モ必要デハナイカ、斯様ニ實ハ考ヘルノデ、此ノ點ニ對スル大藏大臣ノ御所見ヲ承リタ

アリマスカラ、私ノ今申上ゲルコトヲ、幸  
ニ大蔵大臣ガ御肯定ニナツテ見タ所ガ、  
是ハ議論倒レニナツテ、此ノ會期中ニ私ノ  
希望スルガ如キ、二本建稅制改造案が出来  
ル筈ノモノデハナインデアリマスカラ、ソ  
コデ私ノ伺ヒタイノハ、幸ヒニ私ノ今申上  
ゲタ考ヲ御肯定ニナリマスナラバ、來ルベ  
キ議會ニ於テ、更ニ二本建ノ意味ニ於テ、今  
日ノ定ツタ稅制ニハ少シモ手ヲ觸レルコトヲ  
ハ要ラヌガ、詰リ臨時増徵的ノ二本建ノ他  
ノ一本ノ稅制ノ追加案ヲ、御出シニナル御  
考ハアリマセウカドウカ、其ノ點ニ向ツテ  
御考慮下サルノ御意思ガアルカドウカト云  
○武田委員 大蔵大臣ニ對シテハアト一ツ  
ニツデ、アトハ主稅局長ト國稅課長ニオ居  
デヲ願ヘバ、ソレデ宜シウゴザイマス  
○堀切委員長 承知致シマシタ

テ國民ガ稅ヲ見合ツテ仕事ヲ致スノデアリ  
マズカラ、少クトモ數年間ハ動カサヌヤウ  
ナ稅ニシタイ、ソレニハ此ノ日本ノ財政ガ  
ドウナツテ行クカト云フコトヲ睨ミマシテ、  
先般モ申上ダマシタ通り、ココ數年間ハド  
ウシテモ國費ガ容易ニ減ラナイ、隨ヒマシ  
テ現在ノ狀態ヲ基準トシテ、増稅案ヲ立て  
タ譯デアリマス、支那事變ガ終了致シマシ  
タ場合ニ於テ、即チ蔣介石ノ政權ガ潰滅シ  
テ、日本ノ出征ノ兵隊ヲ全部内地ニ呼び返  
スコトガ出來ルヤウナ時代ニナリマスレバ、  
是ハ自ラ財政上ニモ變化ヲ起シマスガ、同  
時ニヤハリ新東亞ノ建設ト云フ風ナ大事業  
ガ起り、又今日ノ國際情勢カラ申シマスナ  
ラバ、更ニ國防ノ充實モ強化シナケレバナ  
ラヌコトガ起リマスノデ、雙方ヲ見合ツテ  
見マスト、中々容易ニ國費ガ減ラナイ、此  
ノ建前ニ於キマシテ此ノ稅ヲ立テタノデア  
リマス、而シテ此ノ增稅案ヲ立テマシタ結  
果、是デ支辨ガ出來ルカト云フト、サウデ  
ハナイノデアリマシテ、現在ノ狀態カラ見  
マスト、今回ノ增稅ノ如キモ僅ニ其ノ一少  
部分ヲ負擔スルニ過ギナイヤウナ狀態ニア  
ルノデアリマス、隨ヒマシテ今後支那事變  
ガ假ニ解決致シマシテモ、サウ澤山ノ減稅  
マスト、云フヤウナ事柄ガ、起ツテ來ル  
ヲスルトカ云フヤウナ事柄ガ、斯ウ云フ場合ニ  
トハ考ヘラレナイノデアリマス、併シ經濟  
界ノ發展ニ依ツテ自然增收ガ殖エ、又國費  
ニ考ヘマスガ、今日ノ所ニ於テハ大體ニ於  
テ此ノ程度ノ増徵ラシテ戴カナケレバ、財  
政ノ基礎ハ確立シナイ、斯ウ云フ風ナ見地  
デ、今回ノ稅制ヲ決メタヤウナ譯デアリマ  
ス、勿論負擔ノ公平ヲ期スル上ニ於キマシ

テハ、十分注意致シタ積リデアルノデアリマス、ソレカラ今回ノ議會ニ於テ増稅シタル上、更ニ次ノ機會ニ於テ臨時的增稅ヲスガ申シマシタ通り、差當リ此ノ稅ハ餘リイデリタクナイ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、國際上ノ非常ナ變化ガ起ルトカ、經濟上ノ非常ナ變化ガ起ツテ來タトカ、特殊ナ事情ガ起リマシタ場合ハ別デアリマスガ、今日ノ程度ノ現狀デアリマス以上ハ、重ネテノ增稅ハココ數年行ヒタクナイ、又行ハナイト云フ覺悟ヲ以テ進ンデ居ル譯デアリマス、ソレカラ「インフレ」防止ノ爲ニ、此ノ稅ヲドウ云フ風ニ見テ居ルノト云フ御話デアリマスガ、是ハ增稅ノ自然ノ副作用トシテ、「インフレ」防止ニ效果ヲ現ハスコトヲ、私共ハ期待致シテ居ルノデアリマシテ、例ヘバ奢侈品ニ向ツテ增稅ヲ多クシタ、又不急不要ナモノニ對シマシテ増稅ヲ御願シタ、斯ウ云フ事柄ハ、少クトモサウ云フ方面ニ對スル購買慾ト申シマスカ、或ハソレニ對スル嗜好ト申シマスカ、サウ云フモノヲ多少デモ抑制スルコトガ出来ルデハナカラウカ、斯様ニ信ジタ譯デアリマス

○武田委員 大藏大臣ハ私ノ質問ヲ少シク誤解シテ御取リニナツテ居ルヤウニ思ヒマス、私ガ減稅ヲ希望スルヤウナ立場カラ、御伺シテ居ルヤウニ取リニナツテ居ルヤウデアリマスガ、併シ今申上ガタ問題ハ、之ヲ掘下ゲテ何處マデモ私ノ考ト、大藏大臣ノ考ヲ照合ハシテ見ルト云フノニハ、相當ノ時間ガ要スルノデアリマシテ、先程モ申シマシタ通りニ、假ニ私ノ意見ガ

宜シイト言ツテ御肯定ヲ願ツテ見タ所ガ、此ノ稅制案ニ直チニ變化ヲ來スモノデアリマセヌカラ、私ハ多クヲ論議スルコトヲ避ケル方ガ時間ノ關係上宜イト思ヒマスノデ、之ヲ論ズルコトヲ此ノ程度ニ止メテ置キマスガ、唯私ノ希望ノアル所ヲ誤解ノナイヤウニ御聽取ヲ願ヒマス、私ハ此ノ度ノ五億何千万圓ト云フ增稅ハ決シテ少額ナリトハ思ツテ居リマセヌ、併シ「インフレ」防止ト此ノ戰時體制ノ今日ニ於テ最モ重要ナリトスル見地カラ申シマスト、是デハ不足ダト云フ意見デアリマス、併シナガラ今茲ニ御出シニナツテ居ル案、之ヲ增額スルト云フコトハ結局ハ議論ダケデアツテ實際ニハ行ハナインデアリマス、最初ニ申シマシタ通レナインデアリマス、最初ニ申シマシタ通リニ、此ノ戰時體制ニ對シテ稅ノ組織ヲ二本建ニスル方ガ適當デナイカト云フ私ノ考ヲ一應申上ガタノデ、ソレデ増額ヲ致シテ「インフレ」ノ惡性化ヲ阻止スルニ役立ツニアリハシナイカ、斯ウ云フ見地カラ二本建ガ宜イト御肯定下サルナラバ、其ノ臨時的ノ増稅ノ二本建ノ一本ヲ、來ルベキ議會ニ御提案ニナルト云フ御考ハナイカ、斯ウ云フ意味デ申上ゲタノデアリマス、其ノ臨時的ノ一本ヲ更ニ御出シニナルト云フコトデアリマスナラバ、國民モ此ノ非常時局下ニ苦シノデハアルガ、所謂石ニ噛リ付イテモ此ノ時局ヲ突破シナケレバナラスト云フ國民ノ意氣カラシテ、多少強イト思フ位ナ稅デモ私ハ國民ガ我慢スルデアラウト思フ、之ヲ恒久的體制トシテ見ル時ニハ、是ガ負擔均衡トカ、財政ニドウ云フ影響ヲ及ボス、經濟ニドウ云フ影響ヲ及ボストカ云フ色々ナ觀點カラ、中々議論ガ紛糾シテ止マナイ

ソデアリマスケレドモ、是ハ臨時的增稅ナリト云フコトガ國民ニ明ニナレバ、私ハ國民ハ之ニ忍從スルノ覺悟ヲ持ツテ居ル、斯様ニ考ヘマスノミナラズ其ノ結果ト致シマシテケル方ガ時間ノ關係上宜イト思ヒマスノデ、此ノ資本ニ課稅スルト云フノト所得稅ハ本ケル方ガ時間ノ關係上宜イト思ヒマスノデ、此ノ資本ニ課稅スルト云フノト所得稅ハ本マセヌカラ、私ハ多クヲ論議スルコトヲ避ケル考ガアルカドウカ、斯ウ云フ御尋デアリマスガ、此ノ問題ニ付キマシテハ、只今私が申シマシタ通り、差當リ此ノ稅ハ餘リイデリタクナイ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、國際上ノ非常ナ變化ガ起ルトカ、經濟上ノ非常ナ變化ガ起ツテ來タトカ、特殊ナ事情ガ起リマシタ場合ハ別デアリマスガ、今日ノ程度ノ現狀デアリマス以上ハ、重ネテノ增稅ハココ數年行ヒタクナイ、又行ハナイト云フ覺悟ヲ以テ進ンデ居ル譯デアリマス、ソレカラ「インフレ」防止ノ爲ニ、此ノ稅ヲドウ云フ風ニ見テ居ルノト云フ御話デアリマスガ、是ハ增稅ノ自然ノ副作用トシテ、「インフレ」防止ニ效果ヲ現ハスコトヲ、私共ハ期待致シテ居ルノデアリマシテ、例ヘバ奢侈品ニ向ツテ增稅ヲ多クシタ、又不急不要ナモノニ對シマシテ増稅ヲ御願シタ、斯ウ云フ事柄ハ、少クトモサウ云フ方面ニ對スル購買慾ト申シマスカ、或ハソレニ對スル嗜好ト申シマスカ、サウ云フモノヲ多少デモ抑制スルコトガ出来ルデハナカラウカ、斯様ニ信ジタ譯デアリマス

ソレト關聯シマスカラ序ニ伺ヒマスガ、シノデハアルガ、所謂石ニ噛リ付イテモ此ノ時局ヲ突破シナケレバナラスト云フ國民ノ意氣カラシテ、多少強イト思フ位ナ稅デモ私ハ國民ガ我慢スルデアラウト思フ、之ヲ恒久的體制トシテ見ル時ニハ、是ガ負擔均衡トカ、財政ニドウ云フ影響ヲ及ボス、經濟ニドウ云フ影響ヲ及ボストカ云フ色々ナ觀點カラ、中々議論ガ紛糾シテ止マナイ

シテ、是ガ法人資本稅ト云フモノニナツタコトハ御承知ノ通リデアリマス、元來私ハ此ノ資本ニ課稅スルト云フノト所得稅ハ本質ガ違フト思フ、此ノ本質ノ違フモノヲ、ツノ稅ニ入レラレタト云フコトハドウ云フコトデアルカ、或ハ此ノ法人稅ト云フモノリト云フコトヲ、私ハ此ノ度ノ五億リト云フコトガ國民ニ明ニナレバ、私ハ國民ハ之ニ忍從スルノ覺悟ヲ持ツテ居ル、斯様ニ考ヘマスノミナラズ其ノ結果ト致シマシテケル方ガ時間ノ關係上宜イト思ヒマスノデ、此ノ資本ニ課稅スルト云フノト所得稅ハ本マセヌカラ、私ハ多クヲ論議スルコトヲ避ケル考ガアルカドウカ、斯ウ云フ御尋デアリマスガ、此ノ問題ニ付キマシテハ、只今私が申シマシタ通り、差當リ此ノ稅ハ餘リイデリタクナイ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、國際上ノ非常ナ變化ガ起ルトカ、經濟上ノ非常ナ變化ガ起ツテ來タトカ、特殊ナ事情ガ起リマシタ場合ハ別デアリマスガ、今日ノ程度ノ現狀デアリマス以上ハ、重ネテノ增稅ハココ數年行ヒタクナイ、又行ハナイト云フ覺悟ヲ以テ進ンデ居ル譯デアリマス、ソレカラ「インフレ」防止ノ爲ニ、此ノ稅ヲドウ云フ風ニ見テ居ルノト云フ御話デアリマスガ、是ハ增稅ノ自然ノ副作用トシテ、「インフレ」防止ニ效果ヲ現ハスコトヲ、私共ハ期待致シテ居ルノデアリマシテ、例ヘバ奢侈品ニ向ツテ增稅ヲ多クシタ、又不急不要ナモノニ對シマシテ増稅ヲ御願シタ、斯ウ云フ事柄ハ、少クトモサウ云フ方面ニ對スル購買慾ト申シマスカ、或ハソレニ對スル嗜好ト申シマスカ、サウ云フモノヲ多少デモ抑制スルコトガ出来ルデハナカラウカ、斯様ニ信ジタ譯デアリマス

ソレト關聯シマスカラ序ニ伺ヒマスガ、シノデハアルガ、所謂石ニ噛リ付イテモ此ノ時局ヲ突破シナケレバナラスト云フ國民ノ意氣カラシテ、多少強イト思フ位ナ稅デモ私ハ國民ガ我慢スルデアラウト思フ、之ヲ恒久的體制トシテ見ル時ニハ、是ガ負擔均衡トカ、財政ニドウ云フ影響ヲ及ボス、經濟ニドウ云フ影響ヲ及ボストカ云フ色々ナ觀點カラ、中々議論ガ紛糾シテ止マナイ

稅ト相反シタ資本課稅ヲ法人ノ申ニ入レル、マルデ是ハ思想ノ混亂デハナイカト思フノデアリマス、是ハ資本課稅ニ補完的ノ意味ヲ持タルシメルト云フ意圖カラ、資本課稅ノ存立ヲ御認メニナツタスルナラバ、私ハ寧ロ臨時利得稅ノ申ニ資本課稅ヲ入レバ臨時利得稅ヲ遁レントスル人々ハ、其ノ資本ノ増大ニ依ツテ臨時利得稅ヲ逃ゲルコトガ出來ルコトハ明カデアル、サウ云フコトヲヤツテ居ル人ガ澤山アル、サウスレバサウ云フ必要ナラザル所ノ資本ヲ増大シテ臨時利得稅ヲ遁脱セントスルヤウナ人々ニ對シテハ、資本課稅ヲ以テ之ヲ防止スルト云フ意味ニ於テ、資本課稅ガ意味ヲ成スノデアリマス、然ルニ之ヲ法人稅ノ方ニ入レテシマヘバ、結局ニ於テ同ジ勵キヲ爲スト云フコトモ言ヘナイコトモナイカモ知レマセヌガ、體制上、觀念上トシテ私ハ洵ニ意味ノナイコトデハナイカ、斯様ニ考ヘマスガ、之ヲ一つ主稅局長カラ御意見ヲ伺ヒタイト

○大矢政府委員 武田サンノ御意見御尤モノ點モアルノデアリマスガ、私共ハ、所得ニ對スル課稅モ資本ニ對スル課稅モ共ニ法人ニ對スル課稅デアリマスカラシテ、之ヲ一緒ニシテ置イタ方ガ法人ノ負擔ノ程度ガ一見明瞭ニナルカラ適當デアラウト云フ趣旨ニ於キマシテ、所得ニ對スル課稅ト資本ニ對スル課稅ト統合シタ譯デアリマス、ソレカラ利得ニ對スル課稅ト超過所得ニ對スル稅トヲ一本ニ統一シマシタノハ、度々申シマス通リ兩者トモ資本ニ對スル利廻ヲ見テ負擔ノ程度ヲ定メルノデアリマスカラ、之ヲ別個ノ法律ニ致シテ置キマスト、從來

○武田委員 或ハサウデアルカ知レマセヌガ、今度ノ稅ニ於テハ非常ナ御苦心ニナツテ、租稅理論ガ可ナリ一貫シテ居ル點ニ於テ敬服致シタノデアリマスガ、最モ重大ニシテ中心ニナル所得稅ニ對シテ、是ガ收益稅ノヤウナ形ニナルコトヲ唯便宜ダカラト言ツテオヤリニナルコトハ如何カト思フノデアリマス、又若シ資本課稅ヲ必要トスルナラバ、性質モ觀念モ全然異ルモノデアルナラバ、之ヲ元アツタ通りニ資本課稅トシテ一  
本ノ法律ニナサツテモ、既ニ三十何件アル法  
律案ニ於テ左様ナモノガアツテモ少シモ差支ナインデアリマス、主稅局長ハ一ツノ收益稅ノヤウナ形ニナルコトヲ御認メニナ  
ルデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ

○大矢政府委員 法人稅ノ資本ニ對スル課稅ハ、申スマデモナク營利法人ハ資本ヲ基礎ニシテ活動シテ居ル、資本ノ集積ソレ自體ニツノ擔稅力アリト見テ居ルノデアリマス、從來ノ收益稅ト云フ課稅ハ、稅トシテヘ個人ニ付テハ非常ニ安當性ガアルノデアリマシテ、法人ニ付テハ此ノ所得稅ト收益稅ノ區分ト云フコトハ、稅ノ理論カラ申シマシテモ甚

ノ實蹟ニ照シテ見テモ、或ル場合ニハ兩者重複シテ負擔が苛酷ニナル場合モアリマス、又其ノ反對ニ負擔が輕過ギル場合モ起シテ來ルノデアリマシテ、兩方睨合セテ或ル調整規定ヲ必要トスルノデアリマス、斯ク致シマスルト、徒ニ稅制ガ複雜ニナリマスカラ、性質ハ相當違フノデアリマスケレドモ、之ヲ一つノ稅法ニ統一一致シマシテ、其ノ統一サレタ稅法ノ下ニ兩者ノ調整ヲ圖ツテ負擔ノ適正ヲ期シタイト云フ趣旨デアリマシテ、大體理論ヨリハ寧ロ實際ト云フ見地ニ立ツテ、斯ウ云フ風ニ致シタ次第アリマス

○武田委員 或ハサウデアルカ知レマセヌガ、今度ノ稅ニ於テハ非常ナ御苦心ニナツテ、租稅理論ガ可ナリ一貫シテ居ル點ニ於テ敬服致シタノデアリマスガ、最モ重大ニシテ中心ニナル所得稅ニ對シテ、是ガ收益稅ノヤウナ形ニナルコトヲ唯便宜ダカラト言ツテオヤリニナルコトハ如何カト思フノデアリマス、又若シ資本課稅ヲ必要トスルナラバ、性質モ觀念モ全然異ルモノデアルナラバ、之ヲ元アツタ通りニ資本課稅トシテ一  
本ノ法律ニナサツテモ、既ニ三十何件アル法  
律案ニ於テ左様ナモノガアツテモ少シモ差支ナインデアリマス、主稅局長ハ一ツノ收益稅ノヤウナ形ニナルコトヲ御認メニナ  
ルデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ

○大矢政府委員 其ノ點ハ今申上ゲタ通り理論ニ瓦ルノデ其ノ程度ニ止メマシテ、大藏大臣ニ御伺シタイニ三點ダケヲ御質問シタイト思ヒマス、新聞ニ出テ居ル所ニ依ツテ、此ノ度石炭ノ增產計畫ニ關スル補助金、或ハ「マッチ」肥料ノ增產ニ對スル補助金等、二億圓ノ追加豫算ヲ御提出ニナルヤウニ伺ツテ居リマスガ、是ハ低物價政策ヲ維持スル必要上御考ニナツタノデアツテ、私ハ相當ノ御計畫デアルト思ツテ居ルノデアリマスガ、唯問題ハ其ノ財源デアリマス、低物價政策ヲ目的トシテ、石炭其ノ他ノ基礎産業若クハ國民ノ生活必需品等ノ增產ニ向ツテ補助金ヲヤルト致シマスルナラバ、其ノ財源ニ付テハ餘程深ク考慮シナケレバ其ノ御趣旨ガ徹底シナイト思フ、一面ニ於テ補助金ヲ與ヘルコトニ依ツテ生産費ノ昂騰ヲ抑ヘルト同時ニ、若シ之ヲ公債支辨ニ依ツテソレダケノ通貨ヲ市場ニ放出致シマスナラバ、「インフレ」ヲ誘發シ、一面ニ於テ物價ヲ抑ヘタモノガ他ノ方面カラ物價ノ昂騰ヲ誘フ

○田中政府委員 御話ハ御尤モダト思ヒマス、唯此ノ所得稅、或ハ之ヲ補完スル意味ノ收益稅ト云フ課稅ハ、稅トシテヘ個人ニ付テハ非常ニ安當性ガアルノデアリマシテ、法人ニ付テハ此ノ所得稅ト收益稅ノ區分ト云フコトニナツテ、是ハ矛盾スル政策デ

ハナイカト思フノデアリマス、故ニ補助政策ヲ以テ低物價政策ヲ維持シヨウト云フ政策上ノ豫算デアリマスナラバ、其ノ財源ヲ増税ニ依ツテ賄フト云フコトデナケレバ理論的ニハ一貫致シマセヌシ、又效果ヲ致サナイデアラウト思ヒマス、或ハ既ニ五十億、六十億ノ公債ヲ出シテ居ルカラ、其ノ上ニ二億位ノ公債ヲ出シテモサウ大シテ影響ハナイト云フ御考デアルカモ知レマセヌ、又サウ云フ議論ヲスル人ガアルカモ知レマセヌガ、是ハ思ハザルノ甚シキモノデアルト思ヒマス、初カラ二億ノ赤字公債ヲ出シタラドウ云フヤウニ影響スルカト云フ議論ト、五十億、六十億ト云フ澤山ノモノヲ出シタ上ニ更ニ二億出スト云フコトデハ、ソコニ非常ナル相違ガアルト云フコトハ多クノ説明ヲシナクテモ宜イト思フ、藥ヲ服ム上ニ非爾度ノ適當ナル分量ノ所ニ一寸餘計増スナラバ、其ノ藥ガ藥ニナラヌデ毒ニナルト云フコトモアリ得ル、ソレ故ニ單純ニ二億ノ赤字公債ガドレダケ「インフレ」ニ害ヲ爲スカト云フ問題ト、既ニ六十億出シタ上ニ更ニ二億ノ公債ヲ出シテ「インフレ」ノ悪性化ニ役立ツコトハ非常ニ相違ガアルト思ヒマスカラ、低物價政策ヲ維持スル意味ニ於テノ補助金ノ財源ハドウシテモ増税ニ俟ツコトナケレバ、政策モ效果的デナク、又論理モ一貫シナイト思ヒマスガ、太藏大臣、此ノ點ニ向ツテ如何ナル御考ト如何ナル御決意ガアルデアリマセウカ

○櫻内國務大臣 武田サンノ御意見ハ私洵ニ御尤モダト思ヒマス、斯ウ云フ場合ニ於テ國民全般ニ關係ノアル、殊ニ生活必需品デアルトカ、基本産業、斯ウ云フモノニ關係ノアル品物ニ付テ補助金ヲ出スト云フコトハ、今ヤツテ居ル所デアリマシテ、石炭ニ致シマシテモ今日法律案ヲ提出致シテ居ルヤウナ譯デアリマスガ、今回ハ其ノ財源ハマニ要スル所ノ財源ハドウスルノカ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、今回ハ其ノ財源ハマダ決定致シテ居リマセヌケレドモ、他ニ適當ナル財源ヲ見出スコトノ出來ナイ場合ハ、公債ニ俟ツ外ハナイト思ヒマス、公債ニ俟テバソレダケヤハリ「インフレ」ヲ起スノデナイカ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、成程通貨ノ膨脹ハ起シマス、隨て是ハ避ケナケレバナラヌコトデアリマシテ、御説ノ通リ是ハ増税ニ俟ツ云フコトガ一番宜ノノデアリマセウ、併シナガラ此ノ助成ガ、之ヲ永續シテ行クト云フモノデアリマスナラバ、是ハ申スマデモナク増税ニ依ルカ、或ハ之ニ依ツテ利益ヲ蒙ツタ方面カラヤハリ税ヲ取立テルヤウナコトヲ考ヘナケレバナリマセヌケレドモ、併シ今回助成ヲ致シマスノハ、要スルニ經濟界ニ於ケル所ノ主ナル物資ニ付テ戰時の適正價格ガ公定セラレテ、サウシテ圓滑ナル配給が出來、其ノ適正ナル價格ノ下ニ生産ガ確保セラレルトシテモ本案ノ審議ニ當ツタ後、更ニ此ノ財源ヲ増税ニ求メルト云フコトハ事實出來ナイノデアリマス、又政府御自身トコトモ事實問題トシテハ出來ナイデアリマセウ、併シ此ノ案ヲ御作リニナル時ニハ、勿論今ノ補助ト云フヤウナ御考ハ當局ノ頭ニナカツタノデアルカラ已ムヲ得マセヌガ、何トカシテ公債ニアラザル財源ヲ以テ補助金ノ財源ニスルト云フコトニ向ツテ格段ノ御工夫ヲ下サラスト云フト、先程モ申上ゲタル通リニ僅カ一億五六千万若クハ二億足ラズノ金ダカラ、一時的ダカラト仰シヤルケレドモ、是ハ惡性「インフレ」化ノ傾向ノ最甚シイ今日ニ於テハ、其ノ影響ハ

アツカ場合ニ、臨時的ノ特別ノ增税ヲスル必

トハ、今ヤツテ居ル所デアリマシテ、石炭ニ要スル所ノ財源ハドウスルノカ、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、是ハ將來經濟ニ情勢或ハ國際情勢ノ變化等ニ依リマシテ、ドウシテモ増税ヲシナケレバイカスト云フヤウナ場合ガ起ツタ時ニ於テハ、御説ノ通り或ハ臨時方面ニ向ツテ増税スルト云フコトガ一番適當デアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマシテ、明年此ノ方面ニ向ツテ増税ヲスルト云フ風ナ考ハ持ツテ居リマスケレドモ、只今申ヤウナ場合ガ起ツタ時ニ於キマシテハ、武田君ノ御意見ハ十分尊重シテ參リタイト考ヘルノデアリマス○武田委員 今ノ補助金財源ノ問題ニ付テハ、私ハ先程モ申上げ居ル通リ是ハ「インフレ」ノ惡性化ニ非常ニ影響ガアルト思フノデアリマス、之ヲ増税ニ依ツテ賄フコトガ宜イト云フコトニ向ツテハ大藏大臣モ御異議ナイヤウデアリマスルガ、實際問題トシテハ、本案ガ通過シテシマツタ後、更ニ此ノ財源ヲ増税ニ求メルト云フコトハ事実出來ナイノデアリマス、又政府御自身トコトモ本案ノ審議ニ當ツテ、更ニ一億何千萬圓ト云フ増税ヲ此ノ中へ繰入レルト云フコトモ事實問題トシテハ出來ナイデアリマセウ、併シ此ノ案ヲ御作リニナル時ニハ、勿論今ノ補助ト云フヤウナ御考ハ當局ノ頭ニナカツタノデアルカラ已ムヲ得マセヌガ、何トカシテ公債ニアラザル財源ヲ以テ補助金ノ財源ニスルト云フコトニ向ツテ格段ノ御工夫ヲ下サラスト云フト、先程モ申上ゲタル通リニ僅カ一億五六千万若クハ二億足ラズノ金ダカラ、一時的ダカラト仰シヤルケレドモ、是ハ惡性「インフレ」化ノ傾向ノ最甚シイ今日ニ於テハ、其ノ影響ハ

決シテ尠クナイト思フノデアリマス、已ム要ガアルガ、明年出シタラドウデアルカト云フ風ナ御話デアリマシタガ、是ハ將來經濟ニ致シマシテモ今日法律案ヲ提出致シテ居ルヤウナ譯デアリマスガ、ソレニ付テ是等ニ要スル所ノ財源ハドウスルノカ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、今回ハ其ノ財源ハマダ決定致シテ居リマセヌケレドモ、他ニ適當ナル財源ヲ見出スコトノ出來ナイ場合ハ、公債ニ俟ツ外ハナイト思ヒマス、公債ニ俟テバソレダケヤハリ「インフレ」ヲ起スノデナイカ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、成程通貨ノ膨脹ハ起シマス、隨て是ハ避ケナケレバナラヌコトデアリマシテ、御説ノ通リ是ハ増税ニ俟ツ云フコトガ一番宜ノノデアリマセウ、併シナガラ此ノ助成ガ、之ヲ永續シテ行クト云フモノデアリマスナラバ、是ハ申スマデモナク増税ニ依ルカ、或ハ之ニ依ツテ利益ヲ蒙ツタ方面カラヤハリ税ヲ取立テルヤウナコトヲ考ヘナケレバナリマセヌケレドモ、併シ今回助成ヲ致シマスノハ、要スルニ經濟界ニ於ケル所ノ主ナル物資ニ付テ戰時の適正價格ガ公定セラレテ、サウシテ圓滑ナル配給が出來、其ノ適正ナル價格ノ下ニ生産ガ確保セラレルトシテモ本案ノ審議ニ當ツタ後、更ニ此ノ財源ヲ増税ニ求メルト云フコトハ事實出來ナイノデアリマス、又政府御自身トコトモ事實問題トシテハ出來ナイデアリマセウ、併シ此ノ案ヲ御作リニナル時ニハ、勿論今ノ補助ト云フヤウナ御考ハ當局ノ頭ニナカツタノデアルカラ已ムヲ得マセヌガ、何トカシテ公債ニアラザル財源ヲ以テ補助金ノ財源ニスルト云フコトニ向ツテ格段ノ御工夫ヲ下サラスト云フト、先程モ申上ゲタル通リニ僅カ一億五六千万若クハ二億足ラズノ金ダカラ、一時的ダカラト仰シヤルケレドモ、是ハ惡性「インフレ」化ノ傾向ノ最甚シイ今日ニ於テハ、其ノ影響ハ

決シテ専クナイト思フノデアリマス、已ム

セヌカト思フ、或ルモノハ是ハ利益ガアルカラ生産者ニ負擔セシムル、或ルモノハ配給者ニ負擔セシメヨウト云フコトヲ、政府本當ノ適正價格ト云フモノハ出來ル譯ガナイ、若シサウ云フコトヲナサルナラバ、ドウシテ適正價格ヲ形成ナサルデアラウカト云フコトニ付テモ疑ガアルノデアリマスガ、何トシテモ此ノ御答辯ハ私ノ腑ニ落チナイ、何人モ常識的ニ腑ニ落チナイデハナイカト、フ頗ヒタイ、若シ又御不同意デアリマスナラバ、私ガ今申上ダコトニ付テ御答辯ラバ私ハソレ以上追究ハ致サナイノデアリマス。

○櫻内國務大臣 消費稅ヲ増徵致シタ場合ニ於テ、ソレヲ生産者ノ方ニ負擔セシムルト云フ風ナコトヲ商工大臣が言ツタサウデアルガ、ソレニ對シテハドウ考ヘルカト云出来テ、利潤ガ最早は以上イカスト云フ風際ニキマシテハ、消費稅ヲ増徵致シマス云フ言葉ヲ使ツテ居リマスガ、原則トシテタノハ斯ウ云フ風ニ申シタノデアリマス、コトハ當然デアル、併シナガラ例外トシテハ、或ハ稅金ヲ生産者ノ方面ニ於テ一部若クハ全部——全部トハ申シマセヌデシタガ、例外トシテ生産者ノ方ニ於テ幾分負擔スルコトガアルカモ知レヌト申シタノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ、私モ全然同感デアリマス、消費稅ハ言フマデモナク大衆課稅デアリマスノデ、消費稅ノ上ツタダケハヤハリソレダケ其ノ方面ノ價格ガ上ルノガ至當デアリマシテ、隨ヒマシテ今回ノ消

費稅ヲ課稅致スニ付キマシテモ、主トシテ奢侈品若クハ不急ナ品物ニ對シテ多ク増徵致シタト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、唯生産方面ニ全然負擔セシムルコトガス、ナイカト申シマスト、實際ノ例ニ於テモアルノデアリマス、私共モ其ノ點ニ付キマシンテハ、若シ現在ノ實情ニ於テ生産者ノ利益ガ多クアル會社ニ於キマシテハ、或ル程度、全部ナリ一部ナリヲ生産者ニ於テ負擔スルト云フコトモ亦適當デハナイカト思フノデアリマス、此ノ實例ヲ申シマスト、慥カ砂糖デアリマシタカ、此ノ前増徵致シマシタ時ニハ、全部價格ニ於テハ少しモ變ヘズシテ、サウシテ其ノ消費稅額ダケヲ會社ノ方ノ負擔ニシタヤウナ例モアルノデアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテハ十分ニ考慮致シテ實行スルコトニ致シタイト思フノデアリマス、詰リ總テノ方面ニ向ツテノ適正價格ガ出来テ、利潤ガ最早は以上イカスト云フ風ニ、全部ノ物價ガキチントナツテ居リマスアルガ、ソレニ對シテハドウ考ヘルカト云出来テ、利潤ガ最早は以上イカスト云フ風際ニキマシテハ、消費稅ヲ増徵致シマスガ、或ル部分ニ於テ多クノ利潤ヲ持ツテ居ル方面ガアツタト致シマスレバ、其ノ利潤レバ、消費稅ダケハ值ガ上ル譯デアリマスガ、或ルコトモ適當カモ知レヌ、ソレハ其ノヤレルコトモ適當カモ知レヌ、ソレハ其ノヤウニ法令ニ依ツテ政府ガ權限ヲ與ヘテ、サウ云フコトヲヤツタラ宜カラウト思フノデアリマス、獨占價格ニ付テハ獨占價格ヲ制スルノ途ガ自ラアルノデアリマス、普通ノ經濟ノ運行ニ於テ、政府ノ權力ヲ以テ或ル部分ヲ生産者ニ負擔サセ、或ル部分ヲ配給業者ニ負擔サセルト云フヤウナコトヲ、行政的手段デ以テオヤリニナルト云フコトハ非常ニ危險ナコトデ、今日官僚獨善ト云フヤウナ議論ガ多ク出ルノハ、サウ云フ點カラデハナイカト私ハ思フノデアリマス、若シ運行デサウナルノハ當然デアルノデアリマスケレドモ、今日ノヤウナ統制經濟ノ相當

強化サレテ居ル場合ニ於テ、生産者ニ之ヲ負擔セシムルカ、消費者ニ之ヲ負擔セシムス、唯生産方面ニ全然負擔セシムルコトガス、ナイカト申シマスト、實際ノ例ニ於テモアルカ、配給業者ニ之ヲ負擔セシムルカト云ルカ、配給業者ニ之ヲ負擔セシムルカト申シマスト、實際ノ例ニ於テモアルノデアリマス、若シ單ニ經濟論トシテ自由經濟ガ支障ナク運行シテ居ル場合ニ、大體ノ傾向トシテハ消費稅ハ消費者ガ負擔スル、直接稅ハ生産者ガ負擔スルト云フ建前ダケヲ仰シヤルト云フナラバ、何モ異論ハナイ話デアル、而シテ實際政治ニ於テ、商工大臣ガソソナコトハ何モ此處ニ於テ御説明ニナル必要ハナイ、特ニサウ御言明ニナルト云フニハ、或物ニ依ツテ、或物ハ配給業者ニ負擔サセルト云フル、或ル物ハ配給業者ニ負擔サセルト云フコトノ意圖ガアツテコソ、初メテ論議ノ的ニナルノデアリマス、私ハサウ云フコトヲマス、詰リ總テノ方面ニ向ツテノ適正價格ガ出来テ、利潤ガ最早は以上イカスト云フ風ニ、全部ノ物價ガキチントナツテ居リマスアルガ、ソレニ對シテハドウ考ヘルカト云出来テ、利潤ガ最早は以上イカスト云フ風際ニキマシテハ、消費稅ヲ増徵致シマスガ、或ル部分ニ於テ多クノ利潤ヲ持ツテ居ル方面ガアツタト致シマスレバ、其ノ利潤レバ、消費稅ダケハ値ガ上ル譯デアリマスガ、或ルコトモ適當カモ知レヌ、ソレハ其ノヤレルコトモ適當カモ知レヌ、ソレハ其ノヤウニ法令ニ依ツテ政府ガ權限ヲ與ヘテ、サウ云フコトヲヤツタラ宜カラウト思フノデアリマス、獨占價格ニ付テハ獨占價格ヲ制スルノ途ガ自ラアルノデアリマス、普通ノ經濟ノ運行ニ於テ、政府ノ權力ヲ以テ或ル部分ヲ生産者ニ負擔サセ、或ル部分ヲ配給業者ニ負擔サセルト云フヤウナコトヲ、行政的手段デ以テオヤリニナルト云フコトハ非常ニ危險ナコトデ、今日官僚獨善ト云フヤウナ議論ガ多ク出ルノハ、サウ云フ點カラデハナイカト私ハ思フノデアリマス、若シ運行デサウナルノハ當然デアルノデアリマスケレドモ、今日ノヤウナ統制經濟ノ相當

○小山委員 議事進行ニ關シテ發言ヲ許シ

テ戴キタイト思ヒマス

○堀切委員長 ソレデハ議事進行デスカラ  
許シマス——小山君

○小山委員 私ハ此ノ委員會ニ於キマシテ  
書面ヲ以テ御質問申上ゲマスカラ、之ヲ速

記録ニ載セテ戴キタイシ、又之ニ對スル御  
回答ヲ速記録ニ載セテ戴キタイト思フノデ

アリマスカ

○堀切委員長 之ヲ許可致シマス、一つ答  
辯モ明ニシテ戴キタイ——川崎君宜シウゴ  
ザイマズカ

○川崎(末)委員 酒ハドウデスカ

○櫻内國務大臣 酒モ今申シタ通リデアリ  
マス

○川崎(末)委員 此ノ點ニ付テハ宜シウゴ  
ザイマズ

○北委員 今日ハ内務大臣ガ居ラシツタカ  
ラ、私ノ保留シテ居ル分ヲ此ノ際ニ……

○堀切委員長 保留シテ居ルノハ心得テ居  
リマス、武田君ハ餘り長ク掛リマセウカ  
二三點デス、私モ成ベク簡単ニ致シマスカ  
ラ……

○武田委員 サウ長クハ掛リマセヌ、アト  
云フ理窟ハナイ、機械ハ一個ノ「ストック」  
デアリマス、國家ノ危急切迫ノ場合ハ「ストッ  
ク」モ食ツテ行クト云フコトハ又已ムヲ  
得ナイ、現ニ今日マデ此ノ二年半ノ間  
ニ——今日ノ此ノ窮迫ノ經濟ハ、有ル所ノ  
「ストック」ヲ食ツテ來タ結果デアツテ、是  
ハ已ムヲ得ナイ、然ラバ此ノ戰時體制ニ對  
シテハ、私ハ償却年限ヲ寧ロ延バスコト  
ハ決シテ居ナイ、斯ウ云フ御話デアツタノ  
デアリマスガ、ドウ云フ工合ニ御變ヘニナ  
ル御見込デアルカ知リマセヌガ、何レ是マ  
デノ御説明ノ御趣旨カラ云ヘバ、生産力

擴充ヲ援助スルト云フヤウナ意味カラ、或  
ハ或ル事業ニ對シテハ減價償却ノ年限ヲ短  
縮スルト云フヤウナ御意圖デハナイカト、或

私ハ想像致シテ居ルノデアリマス、私ノ伺  
フコトハ、或ハ一寸突飛カト御考ニナルカモ  
知リマセヌガ、私自身ハ是ハサウデナイト  
考ヘテ居ルカラ、御尋スルノデアリマスガ、

實ハ私ハ此ノ戰時體制ニ於キマシテ、減價  
償却ヲ短縮スルト云フコトハ、戰時體制ノ  
意味ニ逆行スルモノデハナイカト云フ意見  
ヲ持ツテ居ルノデアリ、是ハ普通ニ論ゼラ  
シテ居ル所トハ一寸逆デアリマスケレドモ、  
私ハソレガ正シイノデハナイカト思フノデ  
アリマス、戰爭ニ於キマシテ總テノ物資ガ  
十分ノ場合ニハ是ハ議論ハアリマセヌ、併  
シナガラ今日ノ如ク非常ニ物資ガ不足ラシ  
テ「ストック」モ食ヒ盡シテ居ルト云フ時代  
デアリ、勞働モ普通ノ勞働時間ヨリハ、餘計  
ニ働くカネバナラスト云フ時代デアルノニ、  
機械ダケヲ償却ヲシ長クスルト云フコト  
ハ、機械ニ無理ヲ加ヘル、機械ヲ無理ニ使  
フト同ジ理窟ニナルノデアリマスカラ、機  
械ダケヲ安全ニシテ置カナケレバナラスト  
リマス、ナゼナラバ此處ニ十万圓ノ利益ガ  
申シマスト、會社トシテハ非常ナ利益ガア  
リマス、ナゼナラバ此處ニ利益ガアルカト  
ニモ、多少ソレヲ認ヌルト云フ考モ含マレ  
テ居ルノデアリマス、ソレデ減價償却ヲ短  
縮スルト云フノハ、何處ニ利益ガアルカト  
申シマスト、會社トシテハ非常ナ利益ガア  
リマス、ナゼナラバ此處ニ利益ガアルカト  
アツタ、其ノ時ニ於テ、從來ハ其ノ建設資  
金ニ對シテノ五分デアルトカ、或ハ二分デ  
アルトカ之ヲ擴張シテ行ク、ソレヲ三分ナ  
リ、五分ダケノモノ、金額ニシテ十万圓ノ  
中、假ニ五千圓ノ償却ヲシテ居ツテ、一万圓  
許スト云フコトニナリマスト、今マデハ九  
万五千圓ニ對シテ課稅致シタガ、今回ハ九  
萬圓ニ對シテ課稅ヲスルト云フコトニナリ  
マスカラ、稅額ガ減ツテ參リマス、斯様ナ  
コトヲナゼスルカ、斯ウ申シマスト、今ノ  
御話ノ通リニ償却ヲシテシマツタカラト言  
ツテ、機械ハ捨テルモノデハナイ、機械ハ  
何處マデモ使フノデアリマス、使フカラ償  
却率ト云フモノヲ殖ヤシマス、其ノ爲ニハ  
幾多ノ原因ガアリマスガ、ソレハ新タニ事  
業ヲ起シマス時ニ、今マデ稅務署ガ此ノ工  
場ハ二十箇年償却デナケレバ許サスト、斯  
マシテ、サウ云フモノハ最初儲ツテ居ル

ウモ私ニハ、ソレハ理論的ニモ實際的ニモ  
私ハ一寸違ウテ居リハシナイカト云フ風ニ  
考ヘルノデ、此ノ點ヲ一寸伺ヒタイノデア  
リマスルガ、何カ特殊ノ御考ガアルカドウ  
カ知リマセヌケレドモ、一寸其ノ點ニ疑問  
ヲ持ツテ居ルノデアリマス

○櫻内國務大臣 減價償却ニ對シテ、ドウ  
云フ割合デソレヲ見ルカト云フコトニ付キ  
マシテ、之ヲ變ヘタイト云フ意味ハ、今御  
話ノ通り、減價償却ノ年限ヲ短縮シヨウト  
云フ意味ヲ多分ニ含ンデ居リマス、同時ニ  
從來全然減價償却シテ居ナカツタ所ノ會社  
ニモ、多少ソレヲ認ヌルト云フ考モ含マレ  
テ居ルノデアリマス、ソレデ減價償却ヲ短  
縮スルト云フノハ、何處ニ利益ガアルカト  
申シマスト、會社トシテハ非常ナ利益ガア  
リマス、ナゼナラバ此處ニ利益ガアルカト  
アツタ、其ノ時ニ於テ、從來ハ其ノ建設資  
金ニ對シテノ五分デアルトカ、或ハ二分デ  
アルトカ之ヲ擴張シテ行ク、ソレヲ三分ナ  
リ、五分ダケノモノ、金額ニシテ十万圓ノ  
中、假ニ五千圓ノ償却ヲシテ居ツテ、一万圓  
許スト云フコトニナリマスト、今マデハ九  
万五千圓ニ對シテ課稅致シタガ、今回ハ九  
萬圓ニ對シテ課稅ヲスルト云フコトニナリ  
マスカラ、稅額ガ減ツテ參リマス、斯様ナ  
コトヲナゼスルカ、斯ウ申シマスト、今ノ  
御話ノ通リニ償却ヲシテシマツタカラト言  
ツテ、機械ハ捨テルモノデハナイ、機械ハ  
何處マデモ使フノデアリマス、使フカラ償  
却率ト云フモノヲ殖ヤシマス、其ノ爲ニハ  
幾多ノ原因ガアリマスガ、ソレハ新タニ事  
業ヲ起シマス時ニ、今マデ稅務署ガ此ノ工  
場ハ二十箇年償却デナケレバ許サスト、斯  
マシテ、サウ云フモノハ最初儲ツテ居ル

ケシカ償却ハ認メテ吳レマセヌ、今日ハ戰  
時時代デアリマスカラ、或ル程度特殊ナ仕  
事ニ付テハ、多ク儲カリマセウガ、其ノ儲  
カル金ハ全部稅金ニ取ラレテシマウ、サウ  
シテ三年カ、五年カ、所謂今日ノ重工業ガ全  
ク衰微シタ時ニナリマスト、今度ハ利益ガ  
來ナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、  
ソコデ先ヅ極ク明カナ例ヲ申シマスト、  
戰時工業ノ如キ問題ニ對シマシテ、鐵ノ所  
コトニナルノデアリマシテ、仕事ノ繼續ガ出  
來ノイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、  
謂軍需資材ナドヲ造ル工場ヲ設ケマシテ、  
軍需資材ヲ造ツテ、其會社ガ、二十年モ、  
三十年モ現在ノ註文ノ數ダケ註文ガ來レバ  
宜シイケレドモ、斯様ナルコトハ、今マデ  
ノ實情カラ見テ、三年ナリ、五年ナリノ間  
ハ續キマスガ、或ル年限ニナツテ來マスト  
註文ハ減ツテ來マス、減ツテ來ルト利益  
ガナクナツテ來ル、利益ガナクナツテ來  
ルト會社ノ基礎ガ危ブナクナツテ來ル、故  
ニ儲ツテ居ル時ニ或ル程度會社ノ財產ヲ償  
却シテ置キマセヌト、將來永續ハ致サナイン  
デアリマス、ソレデ先ヅ償却ヲ多クスルコ  
トヲ認メテヤツテ、サウシテ課稅標準ト云  
フモノヲ、償却ノ金額ヲ引イタ残リニ課稅  
致ス、斯ウ云フコトノ建前ヲ採ツタノデア  
リマス、ソレカラ今一ツ化學工業等ニ付テ  
リマス、ソレカラニシテシマツタカラト言  
葉デ製造シタ品物デハ、原價ガ高クナツテ  
仕事ガ出來ナイ、斯ウ云フヤウナモノガ澤  
山アリマスガ、殊ニ新シイ發明的ノ化學工  
業ニ於テハ、サウ云フコトガ多イノデアリ

時ニ、極メテ短期間ニ於テ、其ノ財産ヲ償却スルト云フコトヲ許シテヤラスト、其ノ仕事ヲヤルモノガナインデアリマス、又中間的ニ申シマスナラバ、例ヘテ言へバ今農家ニ最モ必要ナル硫安、此ノ硫安ナドモ、昭和六年ニ付テ考ヘテ見マスルト、一番良い工場ハ一廳四十四五圓デ製造シタノデアリマスガ、惡イ工場ハ八十六圓モ掛ツテ居ル、ナゼ八十六圓モ掛ルカト云フト、今マデ償却ト云フモノガシテナカツタ爲ニ、次第ニ古イ機械ニナツテ、新シイ能率的ノ機械ト比ベテ其處ニ非常ニ差ガ生ジタ、斯ウ云フ譯デアリマシテ、八十六圓ノ方ノ工場ハヤリ切レナクナツタ、斯ウ云フ譯デアリマス、今日ハ硫安等ニ付キマシテモ、百何十圓ノ「コスト」ガ掛ツテ居リマスカラ、現在ノ時代ニ於キマシテハ、殊更デアリマスガ、サウ云フ事情デアリマスノデ、ドウシテモサウ云フヤウナ仕事ハ或ル程度ノ年限ノ中ニ、其ノ資本金ノ何分ノ一カハ償却方出來ナケレバ、其ノ事業ノ永續が出來マセヌノデ、隨ヒマシテ若シ此ノ減價償却ト云フモノヲ、相當見テヤルト云フコトニシマセスケレバ、營業が繼續出來マセヌ、減價償却ヲ多ク見テヤルト、稅金ノ上ニ於テドウ云フ缺點ガアルカト申シマスト、一年間、年々ノ差當リ取ル金額ハ少イケレドモ、永續シテ取りマスカラ、若シ減價償却ヲシテ、財產ガ百万圓ノモノガ十万圓ニナツタモノト致シマスレバ、其ノ十万圓ニナツテ生ズル所ノ利益ガ、從來ト同ジコトニナツテ、非常ニ大キナ稅金ガ取レルノデアリマシテ、先ヅ稅金ヲ平均シテ取ルト云フ上カラ言ツテモ、效果ガアルト思ヒマスシ、又產業ノ發達助成ノ上カラ見テモ、此ノ減價償却ト

云フモノヲ適當ナ所ニ持ツテ行カナケレバ  
相成ラヌト、斯様ニ考ヘルノデアリマシテ、  
今日ノ如キ所謂重工業ノ發展ヲシツツアル  
場合、又殊ニ化學工業ノ發展シツツアル場  
合ニ於キマシテ、其ノ減價償却ニ付キマシ  
テハ適當ナ償却率ヲ定メテ、サウンテ課稅  
ヲスルノガ適當デアルト思フノデアリマシ  
テ、其ノ課稅ニ依ツテ其ノ年限ガ來レバ、  
之ヲ捨テテシマフ譯デモ何デモナイ、寧ロ  
其ノ時ニナツテ從來通リノ利益ガアリマス  
レバ、ヨリ多クノ利益ガ生レテ來ルノデア  
リマスカラ、茲ニ稅金ヲ課スル所ノ力モ出  
テ來ルノデアリマシテ、此ノ事柄ニ付キマ  
シテハ、特ニ留意シテ、左様ナ方針デ行ク  
ヤウニ決メタ譯デアリマス

少食フト云フコトハ、已ムヲ得ナイデハナナイ  
カト私ハ思フノデアリマス、即チ一面ニ於  
テハ是ハ増稅ヲ意味スルノデアリマス、ソ  
レ故ニ私ハ今日減價償却ヲ長クシテ、他日  
此ノ事變ガ終ヘタ後ニ減價償却ヲ短クシタ  
ラドウカ、其ノ必要ガアルノデハアリマセ  
ヌカト私ハ申シテ居ルノデアリマス、大臣  
ノ今ノヤウナ御説明ハ、是ハモウ當リ前ノ  
コトヲ、當リ前ニ言ツテ居ルト云フ以上ニ  
ガアルノデハナイカト云フ考カラ、今申シ  
タノデアリマス、併シ之ヲ御認メニナラヌ  
ト云フコトデアレバ、ソレモ是非ナイコト  
デアル、是ハ法律デ決メルコトデハナイノ  
デアリマシテ、手心デ決メルコトデアリマ  
シテ、一應私ノ考ヲ申上げテ御意見ヲ承ツ  
タノデアリマス、御意見ガアリマスレバ承  
ツテモ結構デス

デアリマスガ

〔委員長退席、立川委員長代理著席〕

税能力ヲ減殺スルノハ事實ニアリマスカラ、サウ云フ觀點カラ致シマスルト、負債發生ノ原因如何ヲ問ハズ、利子ハ所得カラ控除スルノガ適當ダト云フ議論ハ一應成立チマスケレドモ、併シナガラ今日ニ於キマシテハ、入ツテ來ル收入ヲ全部捕捉シテ居所得ハ、原則トシテ課稅ニナツテ居リマヌ、或ハ又自家用住宅ヲ借金デ以テ建デタ云フヤウナ場合ニ於キマシテモ、其ノ自家用住宅ノ利用價額ヲ所得ノ方ニ計算シテ居リマセヌ、斯ウ云フ事情ニアリマスカラ、隨テ借入金ノ利子ヲ全額控除スルト云フノハ、所得全部ヲ課稅ノ中ニ取入レナイ今日致シマシテハ、適當デハナイト思フノデアリマス

アリマス、サウスルト結局其ノ限界效用ナルモノハ、其ノ人ノ本當ノ支拂能力ヲ見ナウスルト實際上ノ其ノ人ノ支拂能力ヲ見ルト云フコトハ、其ノ人ガ任意ニ支拂フモノト違ツテ、其ノ人ハ既ニ借入金ガアツテ、不徳ノコトヲ爲サヌ以上ハ、其ノ利子ダケハ支拂ハナケレバナラヌ、實際問題カラ言ツテ見マシテモ一万圓ノ收入ノアル人ガ一萬圓ノ利拂ヲシナケレバナラヌヤウナ人ハ、天下決シテ少クナイ、其ノ人ガ全然支拂能力ガナクテモ、ソレハ借入金ノ利子ヲ控除シナイト云フコトニナツタナラバ、其ノ人ハ二年、三年續クナラバ稅ノ爲ニ破産シナケレバナラスト云フコトハ、是ハ一つノ説デハナイ、實際上ニモアル、既ニ限界效用説ガ綜合所得ノ累進稅ノ根據デアルナラバ、實際上ノ支拂能力ノコトモ考慮シナケレバナラヌ、私ハ借入金ノ利子ヲ控除スルノハ、徵稅技術上困難デアツテ、徵稅費ガ非常ニ掛ルト云フ理由カラ、從來ハソレヲ認メナカツタ承知シテ居ルノデアリマスガ、今ノ局長ノ御意見カラスレバ、サウデナイヤウニ御話デアリマスガ、私ノ重ネテ申上ゲタ意見ニ對シテ、局長ノ御意見ヲ伺ヒタイト存ジマス

技術ト致シマシテ、到底有ニル其ノ人ニ屬スル所得ヲ捕ヘ得ナイト云フヤウナ状況デゴザイマシテ、課稅所得ハ法律デ列舉致シテ居リマス、財產ノ處分利益、或ハ株式ヲ額面デ引受ケテ何箇月カ持ツテ「プレミアム」ガ付イテ居ルモノヲ、課稅所得ニ見テ居リマセヌ、一方ニ於テ又財產ノ處分損ト云フノヲ損ニ見テ居リマセヌ、斯ウ云フヤウナ状況ノ場合ニ、獨リ借入金ノ利息ハ擔稅能力ヲ減殺スルモノダカラシテ、其ノ借入金ノ發生原因如何ヲ問ハズ、總體之ヲ控除シナケレバナラスト云フ理由ハ、成立チ得ナイト思フノデアリマス、原則トシテ武田サンノ仰セノヤウニ進ンデ行クベキデハアリマスケレドモ、我國ノ課稅ノ現段階ニ於キマシテハ、ソコマデ進ミ兼ネル、此ノ度配當所得ニ於キマシテ、元本取得ニ要シタ借入金ノ利息ヲ見ヨウト云フノモ、從來見ナカツタノニ一步踏込ンデ行ツテ武田サンノ御趣旨ニ近付ク、斯ウ云フ譯ニアリマシテ、將來ハ其ノヤウニ進ンデ行カナケレバナラヌ問題グト思フノデアリマス、今日ニ於キマシテモ營業所得、或ハ貸室貸屋所得等ニ於キマシテハ、是ハ所得ヲ得ルノニ必要ナ借入金ノ利息ヲ經費ニ見テ居リマシテ、課稅技術上借入金ノ利息ヲ検査スルノガ困難ナルガ故ニ、一切ノ借入金ノ利息ヲ經費ニ見ルト云フコトヲ致シテ居ナイト云フ譯デハゴザイマセヌ、一切ノ入ツテ來ルノヲ課稅所得ニ取入レナリ點モアリ、又處分損ノ如キ負擔力ヲ減殺スルモノモ見テ居ナイ今日デアリマスカラシテ、借入金ノ利息ニ付キマシテモ、或ル限度ヲ置イテ、其ノ限度以內ニ於テ之ヲ經費ニ見ヨウ、斯ウ云フ譯デアリマス

○武田委員 今ノ局長ノ御答辯ニハ尙ほ私ハ満足スルコトガ出來マセヌガ、餘り論議ヲ致スノモ時間ノ都合モアリマス、ルカラ、ソレハ其ノ程度デ終ツテ置キマシテ、ソレト關聯シテ斯ウ云フコトヲ伺ツテ置キマス、  
综合所得稅ノ對象デアル綜合所得ノ中カラ、分類所得稅ヲ控除スルト云フコトハ私ハ當然ノコトノヤウニ思フノデアリマスルガ、本案ニハサウデナイヤウニアルト私ハ記憶シテ居リマス、私ノ考へ達ヒデアリマセウカ、何カ他ニ理由ガアツテ控除シナイコトニナツテ居ルノデアリマセウカ

○大矢政府委員 是モ前ニ二回程御答シテ居ルノデアリマシテ、個人ノ所得稅ニ於キマシテハ、分類所得稅ト綜合所得稅ト兩々相俟ツテ、負擔ノ均衡ヲ得ルヤウナ課稅ヲスル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、理論的ニ何レヲ先ニシテ、何レヲ後ニスルト云フ譯デハナイノデアリマス、唯分類所得稅ノ中配當利子及び勤勞所得ニ付キマシテハ、稅金ヲ納メル場合ニ、綜合所得稅ヲ納メル前ニ納メル、斯ウ云フコトニナツテ居リマシテ、稅金ヲ納メル時期が先ニナツテ居ルダケデアリマシテ、配當利子所得、勤勞所得ニ於キマシテモ、乙種ノモノニ付キマシテハ、是ハ綜合所得稅ハ同時ニ賦課サレ、徵收サレル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、綜合所得稅ヨリモ分類所得稅ノ方ガ先ニ決ツテ、サウシテ綜合所得稅ト云フノハ、其ノ分類所得稅ヲ差引イタアトノ所得ニ課稅スルノダグ事ニフ建前ニハ出來テ居ナイノデアリマス

○武田委員 私ハ更ニ他ノ點ヲモウ少シ伺ヒタインデスガ、是ハ此ノ委員會デモ屢々問題ニナツタノデアリマスルガ、即チ法人

ノ計算上、所得稅並ニ法人稅ヲ損金ニ入レルカ入レチイカト云フ問題デ、是ハ一番重要ナ點デアルト思フノデアリマス、私ハ元來此ノ政府案ガ理論的ニ適當デアルト思ツテ居ルノデアリマス、是ハドウシテモ理論的ニ損金ニ入レナイデ、利益金カラ支拂フベキモノト、私ハ信ジテ居ルノデアリマス、併シナガラ私ハ他ノ點ニ少シク疑問ガアルノデアリマシテ、其ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス、此ノ度政府ノ意向トシマシテハ、適正價格ヲ形成スルト云フ方向ニ突進ンデ居ルノデアリマス、適正價格ハ勿論總テノ物資ニ適用サレルモノデハナイ、若干ノ物資ノミニ限ラレテ居ルノデアリマスガ、併シ重要ナ物資ニハ適正價格ガ形成サレルコトト思フノデアリマス、其ノ場合ニ、此ノ所得稅並ニ法人稅ヲ損金ニ入レナイデ、利益ノ中カラ控除スルト致シマスト、適正價格ノ關係ガドウナリマセウカ、事業ノ如何ニ依ツテハ、詰リ稅ヲ支拂ハナイ所ノ純益ト云フモノハ、必ズシモ一様ニ行クトハ言ヘナインデアリマス、其ノ場合ニ利益ノ中カラ所得稅並ニ法人稅ヲ損金ニ付テ、利潤率ヲ一割若クハ一割二分ト見タ場合ニ其ノ業態如何ニ依ツテ非常ニ困ル者ト、因ラナリマスト、例ヘバ適正價格ニ付テ、利潤率ヲ一割若クハ一割二分ト見タ場合ニ其ノ利益ノ少イ人ガ、割合ニ適正價格ノ定め思フノデアリマス、其ノ利益ノ中カラ稅ノ引キ方ガ少クナリマスカラ、利潤率トシテ見ル場合ニ、ソレハ多クナルト云フヤウナ矛盾シタ現象ガ起キテ來ハシナイカ、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマスガ、要スルニ此ノ適正價格ヲ

形成スル場合ニ所得稅並ニ法人稅ヲ損金ニ入レナイト云フコトニ依ツテ、ソコニ何等カノ矛盾ガ生ジハシナイカト云フ疑問ヲ、私ハ持ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ點ニ付テ局長ハ如何様ニ御考デアリマセウカ、大矢政府委員 所得稅、臨時利得稅等ヲ損金ニ見テ、サウシテ適正價格ヲ決メルト云フノハ、私ハ是ハ適當デハナカラウト思ツテ居ルノデアリマシテ、臨時利得稅ハ御承知ノ通り利得ノ多イ者程稅ガ多クナリマス、隨ヒマシテ五割ノ利益ヲ擧ゲテ居ル者ヨリモ、十割ノ利益ヲ擧ゲテ居ル者ハ、利得稅ヲ餘計支拂フ、サウ云フ者ハ、經費ハ餘計掛ルノダカラ、ソレヲ經費ニ見テ適正價格ヲ見ルト致シマスト、ドウモ頗ル實際ニ副ハナイ適正價格ガ出テ來ルノデハナカラウカト思ヒマス、隨ヒマシテ適正價格ヲ見ル場合ニ於テハ、此ノ所得稅、臨時利得稅ヲ一應考慮ノ外ニ置イテ、サウシテ或ル適當トスル價格ヲ見テ、ソレニ普通ノ業者ノ利益ノ中カラ控除スルト致シマスト、殆ド適正價格ヲ見ルト思フノデアリマス、其ノ場合ニ利益ノ中カラ所得稅、法人稅ヲ支拂ハセルト云フ形ニナリマスト、例ヘバ適正價格ニ付テ、利潤率ヲ一割若クハ一割二分ト見タ場合ニ其ノ利益率方多クナリ、又元來利益ノ少カルベキ人ハ、損金ノ中カラ稅ヲ引カナイ結果トシテ、其ノ利益ノ中カラ稅ノ引キ方ガ少クナリマスカラ、利潤率トシテ見ル場合ニ、ソレハ多クナルト云フヤウナ矛盾シタ現象ガ起キテ來ハシナイカ、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマスガ、要スルニ此ノ適正價格ヲ

ガラ、若シマダ長イヤウデシタラ……  
○武田委員 私ハモウ一二點デスカラ、モウ一寸御待テ下サイ、今ノ御議論ハ、モウ少シ色々細ヤカニ論ジテ見ナイト、私ノ誤解カ、局長ノ誤解デアルカ、ドウモ其ノ點ハシ色々細ヤカニ論ジテ見ナクテモ宜イ問題カモ知レマセヌカラ、他日ニ讓ルコトニ致シマス、ソレカラモウ一つ伺ツテ置キタイコトハ、稅ノ納期ヲ調整スルト云フコトガ、金融政策上頗ヲ重大デアルト思フノデアリマスガ、私ハ其ノ點ニ對シテハ、實ハ此ノ法案ガ實行サレマシタ結果、毎月ノ稅ノ收入ノ振合ガドウナツテ、金融上如何ナル支障ヲ來スカラウカト云フヤウナ具體的ノコトハ、調べテ居ラスノデアリマス、隨テ現在ノ稅ノ納期デ差支ガアルカドウカト云フコトヲ、私ニ意見ガアツテ伺フノデハアリマセヌガ、稅ノ收入ガ多クナレバナルニ從ツテ、納期ノ調整ト云フコトガ適當ニサレナイト云フト、金融的ニ非常ニ影響ヲ來ハ當然大藏當局ハ、深甚テ考慮ヲ拂ハレタモノトハ思ヒマスケレドモ、ドウデアリマセスカ、之ヲ經費ノヤウニ見テ適正價格ノ出シヤウガナクナルノデハナカラウカ、斯ウ云フ風環論法ニナツテ、殆ド適正價格ノ出シヤウニ考ヘテ居リマス、但シ適正利潤ト申シマスカ、之ヲ經費ノヤウニ見テ適正價格ヲ定め思フノデアリマスガ、ソレハ極ク平均ト云フ譯ニハ行キマセヌガ、ソレハ當然大藏當局ハ、深甚テ考慮ヲ拂ハレタモノトハ思ヒマスケレドモ、ドウデアリマセスカ、之ヲ經費ノヤウニ見テ適正價格ヲ定め思フノデアリマスガ、國庫收入ノ方面カラガ出テ來ル、斯ウ云フ按配デアリマス、ソレカラ酒造稅ノ如キモ、納期ハ四期ニ分レテ居リマスルガ、是モ實際問題トシテ、從來ノ納期ヲ繰上ゲルト云フ譯ニモ行キマセスノデ、サウ云フ所ニ一ツノ制約ガアルト思フノデアリマスガ、國庫收入ノ方面カラ言ヘバ、出來ルダケ毎月或ハ毎四半期ニ適當ニ入額ガ各月甚シク異動ノナイヤウテ方向ニ考ヘラレテ、適當な調整ガ出來テ居リマスカドウカ、出來テ居リマシテ、若シ承リ得タルナラバ、ソレヲ稍、具體的ニ承リタイト思ヒマス

○大矢政府委員 深ニ御尤モナ御尋デゴザイマス、此ノ度ノ稅制改正ニ於キマシテモ、納期ノコトハ各種ノ觀點カラ檢討致シマシテ、適當ト認ムル所ニ定メタ次第デアリマス、外デ金融が繁忙スル場合ハ、成ベク稅形式ダケノコトデゴザイマシテ、實質ニハ何等觸レルコトガナイコトカト存ジマス○立川委員長代理 武田君ニ一寸御相談申テ、適當ト認ムル所ニ定メタ次第デアリマスガ、内務大臣ガ御急ギノヤウデス

ノ法定納期ハ避ケナケレバナラヌ、斯ウ云  
フ風ニ考ヘタノデアリマスガ、御承知ノ通  
リ此ノ度分類所得税ノ内、配當利子所  
得税及ビ勤勞所得ニ對スル税ハ、源泉徴  
收セラレテ毎月徵收ニナル、斯ウ云フコト  
デ、其ノ點ハ納稅者ノ側カラ云ツテモ、國  
庫ノ方面カラ言ヒマシテモ、又金融方面カ  
ラ云ツテモ、洵ニ都合ガ好クナツテ來タゾ  
リマシテ、ソレデ改正前ト改正後ニ於キ  
毎月適當ナ時ニ入ツテ來ル税デアリマスガ、  
隨時納期ノ方ト比ベルト、隨時納期ハ餘程  
殖エテ來テ居ルノデアリマシテ、此ノ點ニ  
於キマシテハ金融市場ニ對スル影響モ餘程  
好クナツテ來テ居ルト思ヒマス、ソレカラ  
法定納期ノ中デ税ノ大キイノハ、ドウシテ  
モ所得税ニ於ケル綜合所得税ト、ソレカラ  
酒税デアリマスガ、是ハ前ニ申上ゲマシタ  
通リ七月ノ納期ニハドウシテモカチ合フノ  
デ、是ハ如何トモ避ケ難イト思ヒマシテ、  
從来ノ通リニ致シテ置キマシタ、併シ從來  
其ノ外ニ三月デアリマシタカ、是モカチ合  
ツテ居タノデアリマスガ、之ヲカチ合ハヌ  
ヤウニ致シマシテ、相當調節ヲ取ツタノデ  
アリマシテ、從來關西方面デ灘地方ヲ控ヘ  
テ居ル大阪市場ニ於キマシテハ、此ノ所得  
税ノ納期ト酒ノ税ノ納期トガカチ合フ爲  
ニ、相當サウ云フ場合ノ金融ハ繁忙ヲ極メ  
テ居タノデアリマスガ、今回其ノ點ヲ考慮  
致シマシテ、適當ニ分ケタノデアリマシテ、  
金融市場ニ對シマシテモ、納期ノ點デ十分  
考慮ヲ拂ツタ積リデゴザイマス

○武田委員 勿論私ハ此ノ増税ヲサレルニ  
從ツテ、納期ノコトニ付テハ深甚ナ御考慮  
第六類第二號 所得税法改正法律案外三十件委員會議錄 第二十一回 昭和十五年三月十一日

ヲ拂ハレタコトト存ジテ居ツタノデアリマ  
ス、今承レバ相當御苦心ガアツタコトヲ承  
知致シマシタ、併シナガラ一例ヲ取ツテ申  
シマスト、私ハ尙ほ少シ不足ノ點ガアルヤ  
ウニ思ハレルノデアリマス、例ヘバ酒造税  
ニ付テ、造石税ト庫出税トニ今度ナサレテ  
居ルノデアリマスガ、庫出税ハ申スマデモ  
ナク現行法デハ物品税ニナツテ居ルノデア  
リマス、之ヲ何故庫出税ヲ御設ケニナルナ  
ラバ、造石税ヲ廢シテ庫出税一本ニサレナ  
イノデアリマセウカ、庫出税一本ニ致シマ  
レバ今ノ納期ノ金融關係ト云フモノハ、  
非常ニ都合好クナツテ居ルノデアリマス、  
又業者モ非常ニ都合ガ好イノデアリマス、  
賣上げテ金ヲ取ツタモノヲ、翌月政府ニ納  
メルノデアリマスカラ、業者モ非常ニ樂デ  
アリマセウシ、今ノ金融關係カラ申シマシ  
テモ、極く平均ニハ行キマセヌケレドモ、過渡期ニ於  
前酒造年度ノ酒造税ガ相當残ツテ居ル場合  
ニ、新酒ガ又出テ行クト云フ場合ハ、新酒  
ニ對スル庫出課税モ納メナケレバナラスト  
云フノデ、業者が過渡期ニ於テ二ツノ酒造  
年度分ノ負擔ヲシナケレバナラスト云フコ  
トガ起ツテ來テ、一時ニ全部庫出課税ニ移  
スト云フコトモ、業者ノ方面ニ於テハ相當  
苦痛ガアルノデアリマス、又ソレダケ金融  
市場ニ與フル影響ノ面白クナイモノガアル、  
斯ウ云フ點デアリマス、又國庫收入ノ點カ  
ラ行キマシテモ、初年度ハ其ノヤウニシマ  
シテ殖エマスケレドモ、次年度ニ於テハ又  
何千方百圓ノ減ガ出テ來ル、斯ウ云フコトガ  
アリマスノデ、過渡期ニ於キマシテ相當ノ  
弊害ガ出テ參リマス、御承知ノ通り昨年早  
ニ、相當時サウ云フ場合ノ金融ハ繁忙ヲ極メ  
テ居タノデアリマスガ、今回其ノ點ヲ考慮  
致シマシテ、適當ニ分ケタノデアリマシテ、  
ノ通リ數年前マデハ業者ノ間ニ於キマシテ  
ク消費ニ近イ所デ課税スルノガ宜イト存ジ  
マス、其ノ意味ニ於キマシテハ庫出課税ノ  
方ガ宜シニオデアリマスケレドモ、御承知  
云フ要望ガ強カツタノデアリマスガ、物品  
税トシテ酒ニ對スル税ノ一部ガ施行サレテ  
出課税デ増微スル、斯ウ云フ風ナ建前ヲ執

以來數年ノ經驗ニ依リマシテ、庫出課税必  
ズシモ業者ニ取ツテモ便利ナモノデモナイ  
ト云フ點ガ段々分ツテ來マシテ、業者ノ方  
シマスト、私ハ尙ほ少シ不足ノ點ガアルヤ  
ウニ思ハレルノデアリマス、例ヘバ酒造税  
ニ付テ、造石税ト庫出税トニ今度ナサレテ  
居ルノデアリマスガ、庫出税ハ申スマデモ  
ナク現行法デハ物品税ニナツテ居ルノデア  
リマス、之ヲ何故庫出税ヲ御設ケニナルナ  
ラバ、造石税ヲ廢シテ庫出税一本ニサレナ  
イノデアリマセウカ、庫出税一本ニ致シマ  
レバ今ノ納期ノ金融關係ト云フモノハ、  
非常ニ都合好クナツテ居ルノデアリマス、  
又業者モ非常ニ都合ガ好イノデアリマス、  
賣上げテ金ヲ取ツタモノヲ、翌月政府ニ納  
メルノデアリマスカラ、業者モ非常ニ樂デ  
アリマセウシ、今ノ金融關係カラ申シマシ  
テモ、極く平均ニハ行キマセヌケレドモ、過渡期ニ於  
前酒造年度ノ酒造税ガ相當残ツテ居ル場合  
ニ、新酒ガ又出テ行クト云フ場合ハ、新酒  
ニ對スル庫出課税モ納メナケレバナラスト  
云フノデ、業者が過渡期ニ於テ二ツノ酒造  
年度分ノ負擔ヲシナケレバナラスト云フコ  
トガ起ツテ來テ、一時ニ全部庫出課税ニ移  
スト云フコトモ、業者ノ方面ニ於テハ相當  
苦痛ガアルノデアリマス、又ソレダケ金融  
市場ニ與フル影響ノ面白クナイモノガアル、  
斯ウ云フ點デアリマス、又國庫收入ノ點カ  
ラ行キマシテモ、初年度ハ其ノヤウニシマ  
シテ殖エマスケレドモ、次年度ニ於テハ又  
何千方百圓ノ減ガ出テ來ル、斯ウ云フコトガ  
アリマスノデ、過渡期ニ於キマシテ相當ノ  
弊害ガ出テ參リマス、御承知ノ通り昨年早  
ニ、相當時サウ云フ場合ノ金融ハ繁忙ヲ極メ  
テ居タノデアリマスガ、今回其ノ點ヲ考慮  
致シマシテ、適當ニ分ケタノデアリマシテ、  
ノ通リ數年前マデハ業者ノ間ニ於キマシテ  
ク消費ニ近イ所デ課税スルノガ宜イト存ジ  
マス、其ノ意味ニ於キマシテハ庫出課税ノ  
方ガ宜シニオデアリマスケレドモ、御承知  
云フ要望ガ強カツタノデアリマスガ、物品  
税トシテ酒ニ對スル税ノ一部ガ施行サレテ  
出課税デ増微スル、斯ウ云フ風ナ建前ヲ執

ツテ居ルヤウナ次第デアリマス  
○川崎(末)委員 只今武田君ト政府委員ノ  
質疑應答サレテ居ルコトニ付キマシテ、關  
シマスト、私ハ尙ほ少シ不足ノ點ガアルヤ  
ウニ思ハレルノデアリマス、例ヘバ酒造税  
ニ付テ、造石税ト庫出税トニ今度ナサレテ  
居ルノデアリマスガ、庫出税ハ申スマデモ  
ナク現行法デハ物品税ニナツテ居ルノデア  
リマス、之ヲ何故庫出税ヲ御設ケニナルナ  
ラバ、造石税ヲ廢シテ庫出税一本ニサレナ  
イノデアリマセウカ、庫出税一本ニ致シマ  
レバ今ノ納期ノ金融關係ト云フモノハ、  
非常ニ都合好クナツテ居ルノデアリマス、  
又業者モ非常ニ都合ガ好イノデアリマス、  
賣上げテ金ヲ取ツタモノヲ、翌月政府ニ納  
メルノデアリマスカラ、業者モ非常ニ樂デ  
アリマセウシ、今ノ金融關係カラ申シマシ  
テモ、極く平均ニハ行キマセヌケレドモ、過渡期ニ於  
前酒造年度ノ酒造税ガ相當残ツテ居ル場合  
ニ、新酒ガ又出テ行クト云フ場合ハ、新酒  
ニ對スル庫出課税モ納メナケレバナラスト  
云フノデ、業者が過渡期ニ於テ二ツノ酒造  
年度分ノ負擔ヲシナケレバナラスト云フコ  
トガ起ツテ來テ、一時ニ全部庫出課税ニ移  
スト云フコトモ、業者ノ方面ニ於テハ相當  
苦痛ガアルノデアリマス、又ソレダケ金融  
市場ニ與フル影響ノ面白クナイモノガアル、  
斯ウ云フ點デアリマス、又國庫收入ノ點カ  
ラ行キマシテモ、初年度ハ其ノヤウニシマ  
シテ殖エマスケレドモ、次年度ニ於テハ又  
何千方百圓ノ減ガ出テ來ル、斯ウ云フコトガ  
アリマスノデ、過渡期ニ於キマシテ相當ノ  
弊害ガ出テ參リマス、御承知ノ通り昨年早  
ニ、相當時サウ云フ場合ノ金融ハ繁忙ヲ極メ  
テ居タノデアリマスガ、今回其ノ點ヲ考慮  
致シマシテ、適當ニ分ケタノデアリマシテ、  
ノ通リ數年前マデハ業者ノ間ニ於キマシテ  
ク消費ニ近イ所デ課税スルノガ宜イト存ジ  
マス、其ノ意味ニ於キマシテハ庫出課税ノ  
方ガ宜シニオデアリマスケレドモ、御承知  
云フ要望ガ強カツタノデアリマスガ、物品  
税トシテ酒ニ對スル税ノ一部ガ施行サレテ  
出課税デ増微スル、斯ウ云フ風ナ建前ヲ執

ツテ居ルヤウナ次第デアリマス  
○立川委員長代理 ソレデハ北君ノ後ニ發  
言ヲ願フコトニ致シマス  
○北委員 内務大臣ガ御見エニナツテ居リ  
マスカラ、内務大臣カラ伺ヒマス、國力培  
養上ノ重大問題トシテ私ハ伺フノデアリマ  
スガ、申スマデモナク今日ハ官民極メテ緊  
密ナ協力ヲ要スル時デアリマス、所ガ時局  
ニ便乗シタ官僚ノ獨善的横暴ガ遂ニ農民ヲ  
憤慨サセマシテ、官民ノ協力ヲ滅余々々ニ  
シテ居ルノデアリマス、ソレハ戸塚北海道  
長官ガ一部ノ極メテ少數ノ米ノ取扱業者  
所謂大手ト稱スル僅々數人ノ者、之ニ便宜  
ヲ與ヘル爲ニ、産業組合ニ極端ナ壓迫ヲヤ  
ツテ居ルノデアリマス、此ノ事ハ當議會ノ  
再開勞頭ニ於テ私カラ政府ニ對シテ質問主  
意書ヲ出シテ置イタ通りデアリマシテ、全  
ク一見不當ナ行爲デ農民ヲ壓迫シテ居ルノ  
デアリマス、是ガ爲ニ北海道農民ハ、私ノ  
計算デハ少クトモ一日十万圓内外ノ損失ヲサ  
セラレテ居ル、斯ウ云フ狀況ニナツテ居ル  
ノデアリマス、是ハ申上ゲナイト分ラナイ  
ノデアリマスガ、價格等統制令第十五條竝  
ニ同施行令第十二條ノ明文ニ違背シテ居ル  
ノデアリマシテ、明ナル法規抵觸事項デ、  
事頗ル重大デアルノデアリマス、是ガ爲ニ

今北海道デハ毎日無事ノ農民ガ拘引サレ、處罰サレツツアル、斯ウ云フ狀況デアリマス、而シテ是ハ長官ノ違法精神ニ缺クル所カラ來タノデアルト云フコトハ、是ハ明々白々デアリマス、國民ニ範ヲ示スベキ地方長官自ラ法ヲ蔑ロニシテ、ドウシテ國ガ治マルカ、亂暴極マルコトシテ居ルノデアリマス、農民ニ多大ノ損失ヲ掛け、且ツ之ヲ毎日泣カシテ居ル、長官ハ自ラ商工省ノ指示ヲ受ケタト豪語シテ居ルノデアリマスガ、價格等統制令ニ依ツテ人民ニ告示スル地方長官ガ、同法ノ第十五條ヤ施行令ノ第十二條ヲ知ラヌ苦ハナイ、明ニ農林大臣ノ權限ニ屬シテ居ルグデアリマス、之ヲ商工省ノ指示ヲ受ケタト言ツテシラヲ切ツテ居ルノハ、是ハ全ク作爲的ノコトデアツテ、斯ウマデシテ百姓ヲイヂメテ損失ヲ與ヘネバナラスト云フ此ノ心根ガ怨シ難イ、斯ル不都合ナ地方長官ノ農民壓迫ニ對シマシテ、ハナシテ居ルノデアルカ、之ヲ御伺致シマス

○兒玉國務大臣 只今北海道ニ於キマスル官僚獨善ノコトニ付テノ御質問デアルノデアリマス、實ハ私今其ノ事實ヲ初メテ承知致シマシタノデアリマス、篤ト取調べルコトニ致シマス、萬一地方長官ガ素リニ民衆ノ不便ヲモ顧ミズ、壓迫的行爲ヲ爲シ、是ガ爲ニ損害ヲ與ヘテ居ルヤウナ事實ガアリマシタナラバ、ソレヲ對シテ内務省至シテ御答ヲ申上、ゲタイト思ヒマス

○北委員 ドウカ此ノ事ハ極メテ重大ナコトデアリマシテ、今更ニナツテ役所ノ内部的工作ナドヲナサルヤウナコトガ若シ萬一アツテバイカヌ、北海道ニ於テハ是ハ十數回ニ亘ツテ新聞ガ三段抜、四段抜デ報道シテ居ル問題デアリマス、地方民ハ殆ド曲直ノ判断濟デアリマス、デスカラ姑息ヲ解決ヲサレタナラバ、ソレコソ地方ノ輿論ガ大沸騰致シマシテ、收拾スベカラザルニ至ルコト考ヘルノデアリマシテ、此ノ事件ニ對シマシテハドウカ公明正大ナル處置ヲ執ツテ戴キタイコトヲ希望シテ置クノデアリマス

其ノ次ハ道廳自ラガ昨年ノ十二月、樺太ニ對シマシテ三万石ト云フ大量ノ米ノ闇取引ヲサシタ、是ハ道廳ガ闇取引ノ常習犯デアル所ノ買占團、北海道ニ數人ノ組合ニ對シマシテモ、道廳ノ責任デヤルノダカラト云フ電話ヲ掛けテ、闇取引ヲサセヨウタシタ事實サヘアルノデアリマス、御承知ノ如ク米ノ縣外移出ヲスルノハ、長官ノ許可ガ要ルノデアリマス、其ノ許可書ニハ價格ト數量ヲ記載スルコトニナツテ居ルニ拘ラズ、故ラニ之ヲ記載ゼズ默認ノ形ヲ執ツタノデアリマス、北海道產業組合聯合會ニ對シテモサウ云フヤウナ形シ致シマス、萬一地方長官ガ素リニ民衆ノ便シテモ顧ミズ、壓迫的行爲ヲ爲シ、是ガ爲ニ損害ヲ與ヘテ居ルヤウナ事實ガアリマシタナラバ、ソレヲ對シテ内務省至シテ御答ヲ申上、ゲタイト思ヒマス

○兒玉國務大臣 只今北海道ニ於キマスル官僚獨善ノコトニ付テノ御質問デアルノデアリマス、實ハ私今其ノ事實ヲ初メテ承知致シマシタノデアリマス、篤ト取調べルコトニ致シマス、萬一地方長官ガ素リニ民衆ノ不便ヲモ顧ミズ、壓迫的行爲ヲ爲シ、是ガ爲ニ損害ヲ與ヘテ居ルヤウナ事實ガアリマシタナラバ、ソレヲ對シテ内務省至シテ御答ヲ申上、ゲタイト思ヒマス

○北委員 ドウカ此ノ事ハ極メテ重大ナコトデアリマシテ、今更ニナツテ役所ノ内部的工作ナドヲナサルヤウナコトガ若シ萬一アツテバイカヌ、北海道ニ於テハ是ハ十數回ニ亘ツテ新聞ガ三段抜、四段抜デ報道シテ居ル問題デアリマス、地方民ハ殆ド曲直ノ判断濟デアリマス、デスカラ姑息ヲ解決ヲサレタナラバ、ソレコソ地方ノ輿論ガ大沸騰致シマシテ、收拾スベカラザルニ至ルコト考ヘルノデアリマシテ、此ノ事件ニ對シマシテハドウカ公明正大ナル處置ヲ執ツテ戴キタイコトヲ希望シテ置クノデアリマス

其ノ次ハ道廳自ラガ昨年ノ十二月、樺太ニ對シマシテ三万石ト云フ大量ノ米ノ闇取引ヲサシタ、是ハ道廳ガ闇取引ノ常習犯デアル所ノ買占團、北海道ニ數人ノ組合ニ對シマシテモ、道廳ノ責任デヤルノダカラト云フ電話ヲ掛けテ、闇取引ヲサセヨウタシタ事實サヘアルノデアリマス、御承知ノ如ク米ノ縣外移出ヲスルノハ、長官ノ許可ガ要ルノデアリマス、其ノ許可書ニハ價格ト數量ヲ記載スルコトニナツテ居ルニ拘ラズ、故ラニ之ヲ記載ゼズ默認ノ形ヲ執ツタノデアリマス、北海道產業組合聯合會ニ對シテモサウ云フヤウナ形シ、得タル利益ヲ組員ニ還元スルコトニ依リ公定價格又ハ之ニ準ズベキ價格ヲ超エ精算スルハ違法ニ非ズ」斯ウ云フ通牒ヲ出シテ、後ニナツテ「右ハ道廳内一部係官ノ見解ニ依ルモノニシテ司法當局ノ見解ト相違ニシテ居ルノデアリマス、去ル四日ノ小樽新規、ソレカラ翌五日ノ北海「タイムス」ニ斯シ居リト云フテ各產業組合ヲ片端カラ檢舉聞、ソレカラ翌五日ノ北海「タイムス」ニ斯シ居リト云フ書面ヲ出サセテ居ル、斯ウ云フ状況ニナツテ居ルモノト認メルノデアリマス、是ハ樺太ノ或ル課長ヲ先頭ニ三人ノ買付班ガ札幌、小樽ニ來テ買付ヲシタノデアリマスガ、私ハ此ノ間其ノ樺太ノ買付班ノ事實デゴザイマスノデ、何レ調査ヲ致シマス

○立川委員長代理 北君ニ一寸御注意申上、ゲマスガ、各大臣ハ急イデ居ラレルノデ、餘リ其ノ問題ハ本委員會ニ關係ガナイヤウニ思ヒマス……

○北委員 重大關係ガアリマス、是デハ稅シテ、此ノ不當壓迫、毎日各組合ヲ引ツ

男デ、闇取引ダト云フノデ遂ニ神經衰弱ヲ起シテ、途中デ役ニ立タナクナツテ實ニ困ツタ、斯ウ云フコトサヘ聽カサレテ居ルノデアリマスガ、斯ノ如クシテ道廳自ラガ闇取引ヲ馴致シテ居ルノデアリマス、是ハ全島ニ知レ渡ツテ居ルコトデアルガ、之ニ對シマシテ内務大臣ハ如何ナル御處置ヲナサルノデアルカ、承ツテ見タイノデアリマスノデアリマスケレドモ、其ノ事實モ今初メテ私ハ承ルノデ、篤ト調查致シマシテ之ニ善處致シタイト思ヒマス

○兒玉國務大臣 甚ダ自分ノ不明ヲ謝スルノデアリマスケレドモ、其ノ事實モ今初メテ居ルノデアリマス、一旦斯ウ云フヤウナシマシテ置キナガラ後ニ至リマシテ産業組合支會ニ先程申シタヤウナ通牒ヲ出シテ檢舉サレテ居ル、道廳係官ノ指導ト雖モ其ノ責任ハ長官ニアル、抑々其ノ責任ノ歸屬スル所ハ何處ニアルカ、果シテ産業組合ガマス、北海道廳ハ產業組合ノ壓迫ニ付テハ手段ヲ選バズ何デモ產業組合ヲ引掛ケヨウトシテ居ルノデアリマシテ、茲ニ私ノ所ニ來テ居ル產業組合ノ……〔脱線〕ト呼フ者アリ」脱線デハアリマセヌ、是ハ道廳ノ指圖デ出タノデアリマスガ、産業組合ガ組合員ノ生産物ヲ平均賣シ或ハ加工販賣ヲ爲シ、得タル利益ヲ組員ニ還元スルコトニ依リ公定價格又ハ之ニ準ズベキ價格ヲ超エ精算スルハ違法ニ非ズ」斯ウ云フ通牒ヲ出シテ、後ニナツテ「右ハ道廳内一部係官ノ見解ニ依ルモノニシテ司法當局ノ見解ト相違ニシテ居ルノデアリマス、而モ是ハ後ニ至ツテガ農林省產業組合課ニ行ツテ聞いて見レバ、カラ來テ居ル點ガアルカラ穩便ニ取締ヲスル云々ト言ハレタノデアリマスガ

〔立川委員長代理退席、委員長著席〕

是コソ其ノ條件ニピツタリ當嵌ツテ居ル問題デアルノデアリマス、而モ是ハ後ニ至ツテノ係官ノ言フ方ガ正シイ、全國府縣ハ全部此ノ方法デヤラシテ居ル、北海道ダケソノコトヲヤラセル必要ハナイ、斯ウ云フ工合ニ言ハレテ居ルノデアリマスガ、ドウカ内務大臣ハ至急農林省トモ打合セヲ願ヒマシテ、此ノ不當壓迫、毎日各組合ヲ引ツ

張リ付ケテ居ル、之ニ付テ善處シテ戴カナ  
ケレバナラヌノデアリマスガ、之ニ對スル  
御考ヲ承ツテ見タイノデアリマス、斯ウ云  
フヤウナ始末デ、北海道農民ハ戸塚長官ノ  
亂暴極マル壓迫ニ憤慨シテ、昨年十一月ニ  
農村ノ第一線ニ立ツ農事實行組合ノ組合長  
等千數百名ガ一箇所ニ寄リマシテ、此ノ長  
官ノ居ル限り一切協力セヌト云フ決議ヲシ  
テ居ル、此ノ事實ヲ内務大臣ハ御知リニナ  
ツテ居ルカドウカ、是モ一つ承ツテ置キタ  
イノデアリマス、而モ斯ウ云フ決議ガ全國  
各地ニ次カラ次ニ毎ハレテ來ルヤウニナル  
ト、道廳ハ非常ニ慌テテ更ニ一層農民ノ直  
接彈壓ヲ始メタノデアリマス、ソレガ爲ニ  
道廳ト農民トノ間ニハ深イ溝ガ出來テシマ  
ヒマシテ、道廳ノ割當工作、生産計畫、斯  
ウ云フモノハ農民ハ一切馬耳東風、先日ノ  
如キハ札幌ニ農村ノ指導者ノ會合ガアツチ  
ソコニ道廳ノ某技術ガ來タノデアリマスガ  
ソコデ説明ヲシテ、終ヒニハモウ少シデ袋  
叩キニナリサウニナツテ歸ツテ行ツタ、是  
ハ戰時下ノ今日ニ於ケル一大痛恨事デアル  
ト思ヒマスガ、官僚ノ横暴ガ折角ノ國民ノ  
協力ヲ妨ゲヨウトシテ居ル、斯ウ云フコト  
シテドウ云フ風ニナサレル積リアルカ、  
御意見ヲ承ツテ置キタインデアリマス  
○兒玉國務大臣 只今ノ問題モ前二問題ト  
聯關シタ問題ノヤウニ拜聽致シマシタ、產  
業組合ニ或ル問題ガ起ツテ居ルコトハ聞及  
シデ居リマスガ、其ノ内容ニ付テハマダ私  
確ト承知シテ居リマセヌ、三問題トモ篤ト  
調査致シマシテ善處致スコトニ致シマス

○北委員 ソレデハ農林大臣ニ御尋致シマ  
ス、農林大臣ハ產業組合課稅ハ本質上好マ  
シクナイガ、時局柄產業組合ニ是レ位ノ課  
稅ハ已ムヲ得ナイトノ意味ノコトヲ發表サ  
レテ居ルノデアリマス、アナタハ此ノ課稅  
ノ影響ヲ極メテ簡單ニ考ヘテ居ラレルヤウ  
デアリマスガ、吾々產業組合ニ携ツテ居ル  
者カラ申シマスト、其ノ稅額ハ僅少デモ、  
ソレガ非常ニ產業組合ノ發達ヲ阻礙スル、  
謂ハバ眞綿ノ中ニ針ガ入ツテ居ルヤウダ、  
斯ウ云フ危險性ノアルモノダト思ツテ居ル  
ノデアリマス、甚ダ失禮ナ言分デハアリマ  
スガ、農林大臣ハ產業組合ノ實質ヲ知ラヌ  
人々ノ大變間違ツタ一種ノ世間ノ風潮ニ完  
全ニ引摺ラレタ所ノ、皮相ナ先入主ガ尠カ  
ラズ入ツテ居ルノデハナイカト思フノデア  
リマス、今全國ノ農民達ハ此ノ間カラ此ノ  
問題ニ對シテ事モナガナ農林大臣ノ御言葉  
ニ對シテ、ドウモ島田サンハ產業組合ニ對  
シテ理解ガナイ、冷淡ダト云フコトヲ言ツ  
テ居ルノデアリマス、ソコデ私ハ根本的ナ  
問題トシテ承ツテ置キタインデアリマスガ、  
アリマスカ、ソレトモ又益、發達サセテ經  
濟統制機關トシ、或ハ又農村更生ノ機關ト  
シテ重要視サレル御意持デアルカ、率直ナ  
シ、發達スルコトヲ希望シテ居リマス

○島田國務大臣 私ハ帝國ノ法制ノ下ニ於  
業組合ノ組織シテ居ル日本國民ハ、斯  
ガアルト御考ヘニナラヌカ、爲シ得レバ是  
ハ取ル爲ニ非常ニ勞ガ多ク、效ガ少イ、是  
ガ爲ニ產生擴充ヲ阻礙シテ、却テ國家ノ爲  
ニナラヌ、コンナ稅金ヲ取ルコトハ却テ國  
家ノ爲ニナラヌト御考ヘニナラヌダラウ  
カ、ソレヲ伺ヒマス

○島田國務大臣 産業組合課稅ノ問題ニ付  
キマシテハ、先般此ノ公開ノ席上ニ於テ、  
石井委員ノ御尋ニ對シテ御答致シマシタ通  
リ、政府ト致シマシテ、此ノ稅制ノ改革ノ場  
合ニ於テ、他ノ特別法人ニ對シテモ課稅ス  
ルト云フ場合デアリマスカラ是ハ已ムヲ得  
ナイ、斯様ニ考ヘテ原案ニ贊意ヲ表シテ、  
提案ニ同意シタ次第デアリマス、稅ト云フ  
全體カラ申シマスレバ、是ハ擔稅者ノ立場  
カラ言ヘバ、稅ガ少イ方ガ宜イ、課ケラレ  
ス方ガ宜イ、是ハ產業組合バカリデハアリ  
マセヌ、今回ノヤウナ大規模ノ增稅、所謂  
法人ニ對シテモ稅ヲ課ケル、斯ウ云フ建前  
デ行ク場合ニ於テハ、是ハ已ムヲ得ナイ、  
临时ノ處置トシテ已ムヲ得ナイ、斯ウ云フ、  
風ナ考ヲ持ツテ居ル次第デアリマシテ、產  
業組合自體ガ課稅ノ目標トシテ適當デア  
シテハ當ツテ居ラナイ、是カラドシ～發  
達サセテ行カレル氣持カ、ドウカト云フ意  
味デ私ハ質問シタノデアリマス

○北委員 ソレデハ農林大臣ニ御尋致シマ  
ス、農林大臣ハ產業組合課稅ハ本質上好マ  
シクナイガ、時局柄產業組合ニ是レ位ノ課  
稅ハ已ムヲ得ナイトノ意味ノコトヲ發表サ  
レテ居ルノデアリマス、アナタハ此ノ課稅  
ノ影響ヲ極メテ簡單ニ考ヘテ居ラレルヤウ  
デアリマスガ、吾々產業組合ニ携ツテ居ル  
者カラ申シマスト、其ノ稅額ハ僅少デモ、  
ソレガ非常ニ產業組合ノ發達ヲ阻礙スル、  
謂ハバ眞綿ノ中ニ針ガ入ツテ居ルヤウダ、  
斯ウ云フ危險性ノアルモノダト思ツテ居ル  
ノデアリマス、甚ダ失禮ナ言分デハアリマ  
スガ、農林大臣ハ產業組合ノ實質ヲ知ラヌ  
人々ノ大變間違ツタ一種ノ世間ノ風潮ニ完  
全ニ引摺ラレタ所ノ、皮相ナ先入主ガ専カ  
ラズ入ツテ居ルノデハナイカト思フノデア  
リマス、今全國ノ農民達ハ此ノ間カラ此ノ  
問題ニ對シテ事モナガナ農林大臣ノ御言葉  
ニ對シテ、ドウモ島田サンハ產業組合ニ對  
シテ理解ガナイ、冷淡ダト云フコトヲ言ツ  
テ居ルノデアリマス、ソコデ私ハ根本的ナ  
問題トシテ承ツテ置キタインデアリマスガ、  
アリマスカ、ソレトモ又益、發達サセテ經  
濟統制機關トシ、或ハ又農村更生ノ機關ト  
シテ重要視サレル御意持デアルカ、率直ナ  
シ、發達スルコトヲ希望シテ居リマス

○島田國務大臣 北君ノヤウニ論ジマスト、  
サウ云フヤウナ結論ニモ達スルカモ知レス  
ト思ヒマスケレドモ、政府ハソレ程問題ガ  
深刻ナモノトハ考ヘテ居リマセヌ、產業  
組合ヲ組織シテ居ル人々モ農村ノ爲ニ皆努  
力シ、農村ノ爲ニヤツテ居ルノデアリマス  
カラ、是ハ理論的ニ言ヘバ色々ニ言ヘマス  
ケレドモ、此ノ際トシテハ已ムヲ得ナイ、

殊ニ當分ノ内ヤルト云フノデアリマスカ  
ラ、萬已ムヲ得ナイ、斯ウ云フ風ニ思ツテ  
居ル、私ノ已ムヲ得ナイモノト考ヘテ居ルト  
云フ政府ノ意思ニ付テ御諒承ヲ願ヒマス  
○北委員 私ハ更ニ角度ヲ變ヘテ、政治的  
方面カラ此ノ問題ヲ伺ツテ置キタイト思フ  
ノデアリマス、農林大臣ハ當分ノ間應分ノ  
負擔ヲスルノダカラ、是レ位ノコトハ差支  
ナイノダト云フヤウニ考ヘテ居ラレルガ、  
如何ニ遲鈍ナ農民ト雖モ、此ノ問題ノ起ツ  
タ前後ノ事情カラ、何人モ農林大臣ノ御説  
明ヲマトモニ受取ル者ハ一人モアリマセ  
ヌ、業ニ已ニ是ハ產業組合ノ壓迫デアルト  
云フヤウナ印象ヲ全國ノ農民ニスツカリ植  
付ケテシマツテ居ルノデアリマス、如何ニ  
島田農相ガ巧妙ナル御説明ヲ以テ致シマシ  
テモ、之ヲ覆スコトハ出來ナイノデアリマ  
ス、今更ドウスルコトモ出來ナイノデアツ  
テ、感情的ニ洵ニ面白カラヌ結果ガ生ジ  
テ、各地農民ノ間ニハ一種ノ惡氣流ガ流レ  
テ居ルノデアリマス、斯ウ云フ農民ノ抑壓  
感ニ對シテ、今日ノ農民ハ決シテ反抗ハ致  
シマセヌ、併シ全ク無抵抗主義ニ農業ヲ  
見棄テデシテ他ニ轉出シテ居ル、ソレ  
ハヒドイ勢ヒデアリマス、北海道ノ土地ノ  
荒廢ハヒドイ、斯ウ云フヤウナ狀況ニナツ  
テ居ルノデアリマス、ソレモ政府ノ豫期ス  
ル所ノ澤山ノ稅金ガ取レルナラバマダシモ、  
サウデナク餘り稅金モ取レズ、而モ此ノ食  
糧問題ノ洵ニ大切ナル今日、農民ガコンナ  
考ヲ持ツコトハ國家ニ取ツテハ非常ニ大損  
失デアルト考ヘルノデアリマス、折モ折、  
目前ニ迫ツテ居ル食糧問題ノ重大危機ヲ前  
ニシテ、食糧ノ大本ヲ握ツテ居ル農民ノ感  
情ヲ害スルコトガ如何ニ不利ニナリ、危險

デアルカト云フコトニ付テハ、多クヲ述べ  
ル必要ハナイノデアリマス、私ハ此ノ間モ  
申上ゲタノデアリマスガ、米作農民ハ諸ヲ  
食ツテモ米ヲ市場ニ出荷シテヤラウト云フ、  
此ノ誠意一ツアリサベスレバ、今年ノ米ノ  
問題ハ解決ガ付クノデアリマス、自分ノ消  
費ヲ節約シテ出ス、斯ウ云フ非常ニ大キイ  
關係ニアルノデアリマシテ、爲政者ガ此ノ  
點ニ關シテ、其ノ影響スル所ニ付テ今ノヤウナ  
考デアルトスルナラバ、ソレハ迂闊千萬デ  
アル、ドウカスウ云フ問題ニ付テハ此ノ課  
稅問題ノ農民ニ對スル影響ヲ考ヘテ戴キタ  
イ、議論ハ沸騰シテ居リマス、私ハ電報ヲ  
見タガ、北海道ハヒドク大シタ事ニナツテ  
居ルノデアリマス、茲ニ誠意ヲ缺イテハナ  
ラヌト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ關ス  
ル農林大臣ノ御考ヲ承ツテ置キタイト思ヒ  
マス

○島田國務大臣 私ハ屢々御答ラシテ居リマ  
スガ、北君ニ申上ゲテ置キタイ、此ノ稅ノ委  
員會ノ經過ニ於テ此ノ特別法人課稅ノ問題  
ガ如何様ナ扱ニナルカ、其ノ點ニ付テハマ  
ダ豫想ヲスルコトハ出來マセヌケレドモ、  
假ニ原案ガ通過ヲスルト云フコトニナリマ  
シテモ、只今熱心ノ餘リニ北君ガ述ベラ  
テ居ルヤウニ、農民ガ農作ヲ離レルトカ云  
フヤウナ意味ニ此ノ事ヲ導イテ行カナイデ、  
非常時局ノ下ニ於テ已ムヲ得ナイコトデア  
ルカラト云フ意味ヲ以テ能ク農民ヲ指導セ  
ラレ、御諭シニナツテ、產業組合亦其ノ意  
味ヲ以テ農民ヲ指導シテ、農作ニ影響セザ  
ルヤウニ、只今ノ御話ノ、熱意ヲ以テスレ  
バ本年ノ米作差支ナシト言ハレル其ノ意味  
ヲ農民ニ植付ケテ戴クヤウニ御指導アラン  
コトヲ切ニ希望致シマス

日本ノ農業ノ將來ニ付テハ御意見ノ通リ慎  
重ニ考ヘテ、此ノ農業ヲ基礎トシテ國ヲ立  
ルコトヲ阻マレルコトニナルカラ、農民ハ  
意氣沮喪シテ轉出スルノハ當然デアリマス、  
ドウカ此ノ點ニ付テハモウ一步考ヘ直シテ  
戴キタイト思フノデアリマスガ、序ニ此處デ  
伺ツテ置キタイノハ、日本ノ農業ハ氣候ニ  
惠マレテ居ルケレドモ、土地ガ狹隘デアル  
爲ニ獨立農業ノ形ヲシテ居ラス、謂ハバ半  
獨立農業デアルト云フコトニナツテ居ルノ  
デアリマシテ、先程モ申シマシタヤウニ產  
業組合ナシニハ立ツテ行ケナイノデアリマ  
ス、然ルニ課稅其ノ他ニ依ツテ其ノ發達ヲ  
阻止シテ、小農ヲシテ前途ニ光明ヲ失ハシ  
メ、意氣ヲ沮喪セシムルコトハ、生產ニ惡  
影響ヲ興ヘ、離村ニ拍車ヲ掛けテ、前世紀  
ニ於テ英國ノ農村ガ急速度テ退歩シタ同  
様ナコトガ近イ將來日本國內ノ農業情勢ト  
シテ現ハレテ來ルノデハナイカト云フコト  
ヲ私ハ非常ニ心配シテ居ルノデアリマスガ、  
此ノ點ニ對シマシテ日本ノ農業ノ將來ニ付  
テ農林大臣ハ如何ニ考ヘ、如何ナル見透シ  
ヲサレテ居ルカ、又土地ガ狭イカラ、内地  
ノ農民ハ減少スルノガ理想ダト言フヤウナ  
人モナイデハナイノデアリマスガ、是ハ實  
ニ國ヲ誤ルモノデアル、氣候ニ惠マレテ居  
ルカラ半獨立農業デモ生活ノ方途サヘアレ  
バ國內ニ農民ノ多いコトハ、國家構成上、  
國防上極メテ大事ナルコトデアルト思フノ  
デアリマスガ、此ノ點ニ關シマシテ農林大  
臣ノ御考ヲ承ツテ置キタイ

○北委員 私ハ此ノ點ニ付テ農林省ノ態度  
ニ洵ニ不満デアル、此ノ間米ノ委員會ニ於テ  
事柄ハ、自分モ詳細ニ條文ヲ調べテ見タ上  
デ別ノ機會ニ御答致シマス

○島田國務大臣 只今御示ノ法規ニ關スル  
事柄ハ、自分モ詳細ニ條文ヲ調べテ見タ上  
デ別ノ機會ニ御答致シマス

○北委員 私ハ此ノ點ニ付テ農林省ノ態度  
ニ洵ニ不満デアル、此ノ間米ノ委員會ニ於テ  
事柄ハ、自分モ詳細ニ條文ヲ調べテ見タ上  
デ別ノ機會ニ御答致シマス

○島田國務大臣 只今御示ノ法規ニ關スル  
事柄ハ、自分モ詳細ニ條文ヲ調べテ見タ上  
デ別ノ機會ニ御答致シマス

マデ言ツテ、サウシテ諒解ヲ求メテ、ドウカ突込ンダ質問ヲシテ吳レルナト云フコトデ、吾々ノ同志農村議員ハ質問シナカツタノデアリマス、ソレニ私ガ質問書ヲ出シテカラ既ニ五十日デスガ、未ダニサウ云フヤウナ、今頃調査シテト云フヤウナ御答辯ハ、議會ヲ愚弄シ侮辱スルモ甚シキモノデアルト思フノデアリマス、果シテ左様ナ無責任ナル答辯ヲシテ居ラレテ宜イノカ、斯ウ云フ重大ナル問題ニ付テハ一ツシツカリシタ御意見ヲ知ラシテ戴キタイ

○島田國務大臣 北君ノ質問主意書ニ對シテ答辯書ハ既ニ出シテアリマス(北委員出

テ居リマセス)即チ北海道廳ニ照會中デアルカラ、其ノ照會ニ對スル回答ヲ得タ上デ處置スルト云フ答辯書ハ出シテ居ルノデア

リマス

○北委員 ソレハ大變ナ御間違ヒデアリマ

シテ、マダ出テ居リマセス、先程議事課カ

ラ、マダ答辯書ハ出マセヌガ、明日ノ議事日程ニ載セテ置キマセウカト言ツテ來マシタ

カラ、載セテ置キナサイト言ツテアルノデ

アリマシテ、農林大臣ガサウ云フコトヲ御話ニナルノハ大變ナ御間違ヒデアル、ソレ

ハツイ先刻私ノ所ニ諒解ヲ求メニ來タノデス、ソレハ大變ナ御間違ヒデス

其ノ次ハ北海道ニ於ケル産業組合ノ委託品、加工品ニ對スル販賣價格ニ

リマスガ、是ハ文書ガ申上げマス「産業組合ガ組合員ノ生産物ヲ平均賣トシ、或ハ加工販賣ヲ爲シ得タル利益ヲ組合員ニ還元スルコトニ依リ公定價格又ハ之ニ準ズベキ價格ヲ超エテ精算スルハ違法ニ非ズ」斯ウ云フ通牒ガ出テ居ツタノデアリマスガ、後ニナツテ、右ハ道廳内一部係官ノ見解ニ依ルモノ

デ、司法當局ノ見解ト違フト云フノデ、先程モ申シマシタヤウニ各產業組合ハ片ツ端カラ檢舉サレテ居ルノデアリマス、私ノ所ニハ澤山ナ電報ガ來テ居ルノデアリマスガ、其ノ電報ノ中ニ斯ウ云フノガアル「組合ノ職員ハ恐怖シテ皆退職希望、全面的ニ事業停止ノ外ナシ、速急政治的解決ヲ望ム」是ハ内地ハ全部適法ニヤラシテ居ルノニ、北海道ダケハヤラセナイ、斯ウ云フ問題ニ對シマシテ、北海道ダケソンナ繼子扱ヒヲ農林省ガナサルコトハナイト思フカラ、此ノ席上デハツキリシタコトヲ答ヘテ戴キマシテ、此ノ結果ヲ私ハ北海道ヘ直グ知ラシテヤラウト思フ、サウスルト明日カラ引張ラレル人達ハナクナル、組合ノ販賣帳簿ヲ全部持ツテ行ツテ仕事ヲサセス、斯ウ云フ結果ガ起ツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ問題ニ對シテモドウカ一ツ明白ナル御答辯ヲ願ヒマス、ソレカラ先程ノ御尋ニ對シテモハツキリシタ御答辯ガナシ、唯申譯的ナ御答辯ヲナサツテ居ルガ、此ノ問題ノ爲ニ百姓ハ毎日引張ラレル、一日十万圓ヅツノ損トサセラレテ居ル、此ノ非常時ノ大事ナ時ニ百姓ブソソナニ繼子扱ヒシテ居ルノニ、農林大臣ハ知ラン顔ヲシテ居ル、役人ノ體面ヲ繕ツテ居ル、ソンナ馬鹿ナコトガアツテハ斷ジテイカスト思フノデアリマシテ、此ノ點ハ遠慮ナサラズニハツキリシテ貰ヒタル利益ヲ組合員ニ還元スル

コトニ依リ公定價格又ハ之ニ準ズベキ價格ヲ超エテ精算スルハ違法ニ非ズ」斯ウ云フ通

中、ソンナ馬鹿ナコトヲ言ハズニ、ドウカ

ハツキリシテ貰ヒタ、農林大臣ガ其ノ位

タルキリシテ貰ヒタ、農林大臣ハ直ニ北海南道ノ鈴木調整事務官ヲ呼ンダ、北海道ノ新聞ニハ、北ガ斯

ウ云フ質問ヲ出シタガ、二三日中ニ答辯ス

ルト書イテ居ツタノデアリマス、サウ云フ

状況デ、ソレ以來ズツト折衝シテ居ル、ア

ナタノ部下デアル米穀局長トモ折衝シテ居ル、是ハ道廳ノ長官ガ惡イト言ツテシマヘ

バソレ切リダケレドモ、ソコハ役所同士、

シイ道理アル要求ヤ理論ニ對シマシテモ、

大臣トシテ聞イタノハ餘程後デアリマスカ

ラ、取調べテ處置ヲスル、斯ウ云フコトヲ

申上ゲテ居ルノデアリマス、マダ取調ヲ終

ス

海道ダケハヤラセナイ、斯ウ云フ問題ニ對

シマシテ、北海道ダケソンナ繼子扱ヒヲ農

林省ガナサルコトハナイト思フカラ、此ノ

席上デハツキリシタコトヲ答ヘテ戴キマシ

テ、此ノ結果ヲ私ハ北海道ヘ直グ知ラシテ

ヤラウト思フ、サウスルト明日カラ引張ラ

レル人達ハナクナル、組合ノ販賣帳簿ヲ全

部持ツテ行ツテ仕事ヲサセス、斯ウ云フ結

果ガ起ツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ問

題ニ對シテモドウカ一ツ明白ナル御答辯ヲ

願ヒマス、ソレカラ先程ノ御尋ニ對シテモ

ハツキリシタ御答辯ガナシ、唯申譯的ナ御

答辯ヲナサツテ居ルガ、此ノ問題ノ爲ニ百

姓ハ毎日引張ラレル、一日十万圓ヅツノ損

トデアリマスガ、農林大臣ハ疋蹠逡巡シテ

居ルノデアリマセス、判斷ヲ致スベキ材料

ガ手ニナイカラシテ判斷ヲシナシ、斯ウ云

フ譯デアリマスカラ、疋蹠逡巡シテ居ルノ

デナイト云フコトダケハ御諒承願ヒタイト

思ヒマス

○北委員 或ハ一寸言葉ガ惡カツタカモ知

レマセヌガ、併シ是ハ大臣トシテデナシニ

米穀局長或ハ米穀局ノ課長、是等ノ人達ニ

対シテハ私ハ確ニ覺エテ居リマスガ、一月ノ

二十三日ニ北海道廳ノ告示ヲ持ツテ來テ、

斯ウナツテ居ルガドウカト言ツタ所ガ、ソ

レハ大變イカヌ、不都合ナ事ヲヤツテ居ル、

早速寫サシテ吳レ、直グニ道廳ニ照會シテ

ヤルカラ、斯ウ云フコトデ私ハ寫サシタ、

所ガ道廳長官ハ直チニ北海道ノ鈴木調整事務官ヲ呼ンダ、北海道ノ新聞ニハ、北ガ斯

ウ云フ質問ヲ出シタガ、二三日中ニ答辯ス

ルト書イテ居ツタノデアリマス、サウ云フ

前進ガ出來ナイ、不正ナ者ノミ跳梁シテ金

ナイ、其ノ具體策ハドウサレルノカ、之ヲ

儲ケヲシテ居ル、或ハ汙水ヲ流シテ物ノ生

産ニ從フ者ハ頭ヲ押ヘラレ、其ノ人々ノ正

タト言ヒマスケレドモ、農林省ノ役人ハ疾

クニ知ツテ居ルシ、此ノ問題ハ米ノ委員會ニ於テモ質問ニナツテ居ル、ツイ此ノ間モモノデアレバ處置ヲ致シマス。

○北委員 議會モ將ニ濟マウトシテ居ル、

ドウカサウ云フ疋蹠逡巡ナラズニ、一ツ

ハツキリシタ國民ニ對シテ誠意ノアル政治

ノヤリ方ヲシテ戴クコトヲ希望シテ置キマ

ス

○島田國務大臣 北君ノ疋蹠逡巡ト云フコ

トデアリマスガ、農林大臣ハ疋蹠逡巡シテ

居ルノデアリマセス、判斷ヲ致スベキ材料

ガ手ニナイカラシテ判斷ヲシナシ、斯ウ云

フ譯デアリマスカラ、疋蹠逡巡シテ居ルノ

デナイト云フコトダケハ御諒承願ヒタイト

思ヒマス

○北委員 或ハ一寸言葉ガ惡カツタカモ知

レマセヌガ、併シ是ハ大臣トシテデナシニ

米穀局長或ハ米穀局ノ課長、是等ノ人達ニ

対シテハ私ハ確ニ覺エテ居リマスガ、一月ノ

二十三日ニ北海道廳ノ告示ヲ持ツテ來テ、

斯ウナツテ居ルガドウカト言ツタ所ガ、ソ

レハ大變イカヌ、不都合ナ事ヲヤツテ居ル、

早速寫サシテ吳レ、直グニ道廳ニ照會シテ

ヤルカラ、斯ウ云フコトデ私ハ寫サシタ、

所ガ道廳長官ハ直チニ北海道ノ鈴木調整事務官ヲ呼ンダ、北海道ノ新聞ニハ、北ガ斯

ウ云フ質問ヲ出シタガ、二三日中ニ答辯ス

ルト書イテ居ツタノデアリマス、サウ云フ

前進ガ出來ナイ、不正ナ者ノミ跳梁シテ金

ナイ、其ノ具體策ハドウサレルノカ、之ヲ

儲ケヲシテ居ル、或ハ汙水ヲ流シテ物ノ生

産ニ從フ者ハ頭ヲ押ヘラレ、其ノ人々ノ正

タト言ヒマスケレドモ、農林省ノ役人ハ疾

クニ知ツテ居ルシ、此ノ問題ハ米ノ委員會ニ於テモ質問ニナツテ居ル、ツイ此ノ間モモノデアレバ處置ヲ致シマス。

○北委員 議會モ將ニ濟マウトシテ居ル、

ドウカサウ云フ疋蹠逡巡ナラズニ、一ツ

ハツキリシタ國民ニ對シテ誠意ノアル政治

ノヤリ方ヲシテ戴クコトヲ希望シテ置キマ

ス

○島田國務大臣 北君ノ御話ノ問題ヲ農林

大臣ハ能ク知ツテ居ラレル、ドウカ一ツ

變苦心シテ居ル、大臣ハ近頃御聞キニナツ

タト言ヒマスケレドモ、農林省ノ役人ハ疾

クニ知ツテ居ルシ、此ノ問題ハ米ノ委員會ニ於テモ質問ニナツテ居ル、ツイ此ノ間モモノデアレバ處置ヲ致シマス。

○北委員 議會モ將ニ濟マウトシテ居ル、

ドウカサウ云フ疋蹠逡巡ナラズニ、一ツ

ハツキリシタ國民ニ對シテ誠意ノアル政治

ノヤリ方ヲシテ戴クコトヲ希望シテ置キマ

ス

○北委員 議會モ將ニ濟マウトシテ居ル、

ドウカサウ云フ疋蹠逡巡ナラズニ、一ツ

ハツ

百姓ニ勝手ナコトヲ言ハシテハナラズト取  
上げナイ、懷ロ手ヲシテ何カウマイ儲ケヲ  
シヨウト云フ者ヤ、何等生産ヲセズニ偽善  
的生活ヲシテ居ル者ヲ增長サシテ居ル、コ  
ンナコトデハ國民ハ一體ニナツテ進メナ  
イ、コンナ仕組デハイカヌ、此ノ仕組、機  
構ヲ先ヅ何トカシテ、國民ガ眞ニ一體ニナ  
ツテ行ケルコトニスルノガ先決問題デアル  
ト思フノデアリマス、大藏大臣ニモ此ノ間  
私ハ斯ウ云フ意味ノコトヲ言ツタラ、ソレ  
ハサウダケレドモ、ソレハ理想デ中々ヤレ  
ヌノダ、斯ウ云フ意味ノコトモ言ハレタノ  
デアリマスガ、コンナコトガ斷乎トシテヤ  
レスヤウナコトデハ舉國一體ハ難カシイ、  
生産ノ擴充或ハ低物價政策ナドハ拋棄スル  
ヨリ外ナインデアリマス、何等根幹ニ觸レ  
タ政策ガ執レナイデ、唯膏鑿貼リノ一時凌  
ギノ政策デハ、長期戰ノ體制ト云フモノハ  
出來上ツテ來ナインデアリマス、舉國一體  
デ進ムト云フコトハ何時マデモ出來ナイ、  
斯ウ私ハ信ジ切ツテ居ルノデアリマスガ、  
之ニ對シテ商工省當局ハ如何ニ御考ニナツ  
テ居ルカ、承リタイノデアリマス

資ノ需給が巧ク行キマセヌト正シイ取引ガ行ハレテ  
出来マセヌデ、其ノ爲ニ闇取引ガ行ハレテ  
参リマスコトモ十分承知シテ居リマス、隨  
ヒマシテ今日價格ヲ決メマス際ニハ、物ノ  
需給ト併セ考ヘテ、生産方面ハドウ云フ風  
ニスルカ、配給方面ハドウスルカ、消費方  
面ハドウスルカト云フコトガ一體トナツテ、  
價格政策ヲ進メテ行カナケレバナラヌ、單  
ニ價格ノ問題トシテ扱ハズニ、物ノ生産、  
配給、消費、斯ウ云フ相當廣イ範圍ヲ併セ  
考ヘテヤツテ行ク、斯ウ云フヤリ方ヲヤツ  
テ居リマス、隨ヒマシテ其ノ間生産者モ、  
配給者モ、消費者モ、相協力シテ今日ノ戰  
時經濟ヲ乘切ツテ行クコトニ遺憾ナキヤウ  
ニ致シタイト思ツテ居リマス、今日ノ實情  
ニ於キマシテモ、必ズシモ有ニル方面ガ完  
全ニ行ツテ居ルトハ考ヘマセヌカラ、今後  
スペキ事ガ可ナリ澤山アルト云フコトハ、  
北君ノ仰シヤル通りアリマス

炭相容レザルモノノ兩全ヲ期スル爲ニハ、  
ドウシテモ生産本位デ行カナケレバナラヌ、  
中間利潤ヲ多クシテハ生産ノ維持ガ出来、又  
ト云フコトハモウ分リ切ツタコトデアリマス、  
現在生産者ノ利益ガ割合ニ少クテ、配給業者  
者ノ利益ガ比較的多い、消費者ニ渡ス最高  
價格ノ頭ヲ抑ヘラレテ居ル今日デアリマス、  
カラ、自然配給業者ノ利潤ト云フモノハ生  
産者ノ利益ノ中ニ喰ひ込ンデ、サウシテ生  
産費ガ償ハナクナリ、生産ガ減ツテ行クノ  
ダ、斯ウ云フコトヲ言ハレテ居ルノデアリ  
マスガ、全ク其ノ通リデアリマス、ソコデ  
配給機構ノ整備ニ當ツテハ、個人的營利主  
義ノ所謂商業者ヲ基調トスルカ、共同的ノ  
非營利主義ノ即チ產業組合、工業組合ト云  
フヤウナ組織ヲ基調トスルカ、一體ドツチ  
ヲ基調トスルカ、之ヲ承リタイ、配給ニ對  
シテ營利主義ヲ採用スルコトハ、前ニ申シ  
タ通り、中間利潤ノ爲ニ生産者ノ利益ニ切  
於テハ、法デ如何ニ取締ツテモ是ハ制シ切レ  
ナイノデアリマス、ヨク斯ウ云フコトヲ言  
ハ、今日ノ如ク物ノ足ラナイ、金ノ餘ル時ニ  
タ通り、中間利潤ノ爲ニ生産者ノ利益ニ切  
喰ヒ込ムバカリデアリマシテ、營利主義デ  
シテ營利主義ヲ採用スルコトハ、ソレハ  
ナモノデ、ズルヽト拔ケテ行ク、幾ラデ  
モ方法ハアルト商人ノ言ウテ居ル、ドンナ  
智慧ヲ加ヘテ行クノデアリマスカラ、其處  
ニ必ズ方法ガアル、斯ウ云フコトデアリマ  
ス、ソコデ配給機構ダケハ營利主義ノ採用  
ハイカヌ、斯ウ云フ工合ニ私共ハ考ヘルノ

デアリマス、商工省トシテハ所謂中間利潤ヲ減少スル、是ガ先決問題デアリマス、商工省ハ物價問題ト商人ノ救濟問題トハ、是ハ別箇ニ御取扱ニナラナケレバナラヌ、私ハ斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、其ノ爲ニ商業者ニ迷惑ヲ掛ケテハイカヌカラ、ドンヽ轉業資金等ヲ貸シテヤツテ、サウシテ本當ノ生産方面ニ向ケル、今日人ガ足ラヌ人ガ足ラヌト言ウテ居ル一方ニハ、配給業者ハ過剰デ困ル、配給業者ハ二百五十万人アルノデスゾ、ソレハ過剰デ困ル、是ガ戰時體制デアリマスカ、此ノ大變ニ餘ツテ居ル者ヲ生産方面ニ向ケナケレバナラヌ、是ガ出來ナクテドウシテ長期戰ガ出來ルノデアリマスカ、是ハドウシテモ切離シテ行カナケレバナラヌ、ソレヲシナイモノダカラ、肝腎要ノ生産者ガ生産費ガ償ハナイデ、生産者ノ方ガ轉業シテ居ル、餘ツタ配給業者ガ轉業シナイデ、必要ナ生産業者ガ轉業シテ居ル、斯ウ云フ姿ニナツテ、戰時態勢ハ全ク逆立シテ歩イテ居ル、斯ウ云フ風ニ私共ハ思フ、ダカラ此ノ配給機構ニ對シマシテハ、ドウシテモ非營利主義デ行カナケレバナラヌ、ソコデ特別法人税ノ如キハ、產業組合、商業組合、工業組合、此ノ何レニモ課ケルコトハイカヌ、何等課ケルベキモノデハナイ、是非營利主義ヲ執ツテ行ツテ、之ヲ發達セナケレバナラヌ、ソンナ時ニ課税ヲシテ發達ヲ阻止シテ行カウト云フコトハ逆立ニモウツ何カ掛ケテヤルヤウナモノデアリマス、所謂薪ニ油ヲ掛ケルヤウナ行キ方ヲシテ居ルノデアリマス、是デハ幾ラヤツテモ駄目デアリマス、アナタ方ハ愈、行ク所マ

デ行カナケレバ氣が付カナイ、愈々行ク所マ  
デ行ツテドウニモ斯ウニモナラス時ニナツ  
テ所謂臍ヲ噛ム所ノ悔ヲ残スコトニナルト  
私ハ明言シテ置ク、ソコデ是ハドウシテモ  
サウ云フヤウナ非營利主義ノ配給機構デシ  
ツカリヤラスコトニシナケレバナラス、是  
ハ勿論一遍ニハ出來ナイ、一遍ニヤツテハ  
大變ナコトデスカラ一遍ニヤレトハ言ハヌ  
ガ、漸次サウ云フ基調デ進ム、斯ウ云フ風  
ニナツテ來ナケレバ、戰時體制下ニ於ケル  
所ノ配給機構ノ整備ハ出來ナイ、アナタ方  
ハ色々ナコトヲ考ヘテ配給業者ヲ手數料式  
ニスルトカ何トカ言フガ、ソレハ出來ハシ  
ナイ、物ガ足ラナクナツタラ方法ガ無イ、物  
ノ餘ル時、物ノ十分ニアル時、或ハ一杯々々  
ニ渡シテマダ少シ餘ル時ハ出來ルガ、今  
日ノヤウニ物ガ足ラナクナツタノデハ全然  
駄目デアル、ソレハ不可能デス、コンナコト  
デハアナタ方ハ國家ニ申譯ナイデハナイカ  
ト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル御  
所見ヲ承リタイ

○新倉政府委員 今日、物資ノ不足シテ居  
リマス現狀カラ見テ、配給機構ニ付テ相當  
考ヘナケレバナラスト云フコトハ仰セノ通  
リデアリマス、併シナガラ一面ニ於テ、配  
給業者ニハ配給業者トシテノ機能ガア  
リマスカラ、其ノ機能ヲ最モ合理的ニ發揮  
サセルト云フコトモ亦必要デアラウカト思  
シテシマフガ宜イト云フヤウナ考ヘ方ハ私  
共ハシテ居リマセヌ、又配給業者ノ利潤ト  
申シマスカ、或ハ手數料ト申シマスカ、サ  
ウ云フモノト生産業者ノ利潤トノ間ニ於

テ、配給業者ニ特ニ厚ク、生産業者ニ特ニ薄  
クスルト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセ  
ス、唯問題ハ配給機關ヲ如何ニ合理化スル  
カト云フ點ニアルカト思ヒマス、是ハ物ニ  
依リマシテ相當違フノデアリマシテ、極ク  
簡單ニ申シマスレバ、生鮮食料品ノヤウ云  
場合ト、非常ニ長期ノ貯藏ニ耐ヘルヤウナ  
場合、或ハ大量ニ集リマスモノト、非常ニ  
少量デ分散シテ居リマス場合、斯ウ云フヤ  
ウニ色々ナ物資ソレムノ實情ニ付テ併セ  
考ヘテ、配給機構ノ合理化ヲ圖リマセヌ  
ト、唯一様ニドウスウスルト云フコトハ出  
來ナカラウト思ヒマス、要ハソレムノ物  
資ノ實情ニ於テ中間ノ配給機構モ出來ルダ  
ケ合理化シテ行クト云フコトが必要ダト、  
斯様ニ考ヘマス

○北委員 ドウモ私ノ質問ニ對スル御答ハ  
「ピント」ガ合ウテ居ラヌノデアリマス、配  
給業者ヲ無クセヨト云フノデハナイ、ソン  
ナコトハ一遍ニ出來ルモノデハナイ、何レ  
ヲ基調ニスルカ、營利ト非營利トチラヲ  
基調ニスルカ、斯ウ言ツテ居ルノデアリマ  
スガ、今ノ御答辯デハ私ノ質問ニ當嵌ラナ  
イノデアリマス、ソレカラ又商工省當局ト  
シテ商業組合、工業組合等ニモ課稅スルコ  
トガ差支ナイト見テ居ラレルカドウカ、是  
モ一つ承リタイ

○新倉政府委員 北サンノ營利非營利ト言  
得、配給業者ハ配給業者ノソレムノ機能  
ニ應ジテ、適正ナル口錢ナリ經費ヲ得ルト  
云フコトハ當然デアル、ソレヲ營利ト云フ  
カ非營利ト云フカ、是ハ或ハ言葉ノ爭ト云  
テ、配給業者ニ特ニ厚ク、生産業者ニ特ニ薄  
クスルト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセ  
ス、唯問題ハ配給機關ヲ如何ニ合理化スル  
カト云フ點ニアルカト思ヒマス、是ハ物ニ  
依リマシテ相當違フノデアリマシテ、極ク  
簡單ニ申シマスレバ、生鮮食料品ノヤウ云  
場合ト、非常ニ長期ノ貯藏ニ耐ヘルヤウナ  
場合、或ハ大量ニ集リマスモノト、非常ニ  
少量デ分散シテ居リマス場合、斯ウ云フヤ  
ウニ色々ナ物資ソレムノ實情ニ付テ併セ  
考ヘテ、配給機構ノ合理化ヲ圖リマセヌ  
ト、唯一様ニドウスウスルト云フコトハ出  
來ナカラウト思ヒマス、要ハソレムノ物  
資ノ實情ニ於テ中間ノ配給機構モ出來ルダ  
ケ合理化シテ行クト云フコトが必要ダト、  
斯様ニ考ヘマス

○北委員 商工省ガ營利非營利ガ分ラナイ  
トハトンデモナイ話デス、營利ハ商人ガ自  
分ノ儲ヲ得ヨウトシテヤツタ居ル、ソレガ  
營利デセウ、非營利トハ產業組合、工業組  
合等ガヤツシテ居ルヤウニ組合員自身ガ扱ツ  
テ居ツテ、自分ハ一文モ利益ヲ取ラナイ、  
全部組合ニ任セテ置イテ消費者ニ安イ物ヲ  
供給スル、是ハ自分ト云フモノノ儲ハ取ラ  
ナイノデアル、此ノ營利非營利ガ今日マデ  
分ツテ居ナカツタトハ私ハ本當ニ唸然タラ  
ザルヲ得ナイ、ソンナ人ガ物價局ヲ操縦シ  
テ居ラルルコトハ實ニ驚キ入ツタコトデア  
リマス、ケレドモソシナコトヲ言ツテモ仕  
様ガナイカラ次ノ問題ニ移リマス  
次ハ近頃商工省ハ統制品ヲ商業組合ニバ  
カリ取扱ハセテ居ル、マア肥料ナドハ別デ  
スケレドモ、其ノ他ノ統制品ハ商業組合バ  
カリニ扱ハセテ居ル、是ハ產業組合ニ渡サ  
ナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、  
サウスルト、是ハ農村ニ起ツテ居ル現象ナ  
ンデスガ、犬糞的ニ商人ガ此ノ際產業組合  
ライコトハ當然デアル、ソレヲ營利ト云フ  
デヤツテ居ルノデス、產業組合員ガ買ヒニ  
都合ナコトヲヤル者ニ對シテ配給スルカド  
タインノデアリマス、ソレト同時ニ今後ハド  
ウ云フ配給フサレルカ、サウ云フヤウナ不  
都合ナコトヲヤル者ニ對シテ配給スルカド  
タインノデアリマス、ソレト同時ニ今後ハド  
ウカ、斯ウ云フ點モ承ツテ置キタイト思フ  
ノデアリマス

○新倉政府委員 物資ノ配給ニ關シマシテ、  
產業組合ト商工組合其ノ他トノ間ニ種々ナ  
ル問題ノアルコトハ、既ニ支那事變前カラ

フコトニナルカトモ思ヒマス、要スルニ生

産者モ配給業者モ適正ナル經費及ビ利潤ヲ

得行ク、サウ云フコトニ依ツテ此ノ戰時

テ賣ラナイ、切符ヲ持ツテ行ツテモソレハ

後廻シニシテシマフ、ナイノト言ツテ中々

北海道廳ハ澤山ノ切符ヲ出シタ、所ガナイ

シタ、ソレカラ切符ノ數量ト石油ノ量トヲ  
調べテ見ルト半分ニモ行ツテ居ナイ、斯ウ

云フ現象ガ起ツテ居ル、ナイノト云ツテ

渡サナイ、或ハ渡スニシテモ後廻シニス

ル、二度モ三度モ足ヲ運バセテ、サウシテ非  
常ナ時間ノ浪費ヲサセ、手數ヲ掛ケサセテ

ヤツト渡ス、ソコデ產業組合ノ人達ハ非常

ニ憤慨シテ、マルデ吾々ヲ人間扱セヌカラ

ヤツト渡ス、ソレカラ奴等カラハモウ買ツテ  
ヤラヌ、吾々ハ食ハヌデモ宜イト云フヤウ

ナコトデ怒ツテ、忌々シクテ仕様ガナイト

云フコトデ各所カラ吾々ノ方ニ陳情ニ來テ

居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ狀況ヲ  
當局ハ知ツテ居ラルルカドウカ、切符制度

ヲヤレバ旨ク行クモノダト斯ウ考ヘラレタ

ラ大變ダ、ソンナコトデ旨ク行キハセヌ、

故意ニヤレバドンナコトデモ出來ル、產業  
組合員ハ非常ニ苦シメラレテ居ル、サウ云

フコトヲ御氣付ニヤツテ居ルカ、事實知ツ

テ居ラレルカドウカ、之ヲ一ツ承ツテ置キ

ウカ、斯ウ云フ點モ承ツテ置キタイト思フ  
ノデアリマス

ノ問題デモアリマスシ、又事變後物資ノ統

制が行ハレテカラ相當激シクナリツツアルコトモ承知シ居リマス、此ノ問題ニ付キマジテハ、今日ノ現情ニ於テ國民ノ中ニコチラハ產業組合、ソチラハ工業組合或商業組合ト云フヤウナ形ニ於テ相爭フト云フコトハ洵ニ遺憾ニ存ジテ、吾々ト致シマシテモ何等カ適切ナル解決ヲスルヤウニ致シテ参リタイト考ヘテ居ル次第アリマス、今ノ具體的ノ御話ノ如ク、商人ガ產業組合ノ者ニ賣ラナイト云フコトモ一二聞イテ知ツテ居リマス、知ツテ居リマスガ、サウ云フ個々ノ末梢的ナ點ダケヲ全部直スト云フコトモ中々實ハ難カシイノデ、要ハ產業組合ト中小ノ商工業者トノ間ハドウ云フ風ニヤツテ居ルカト云フ根本ニ觸レテ、是ハ出来ルダケ速ニ解決シナケレバイケナイ問題デアルト考ヘテ居リマス

コトハ私ガ言フマデモナイノデアリマス、隨ヒマシテ近時市井ニ於テ販賣サレル酒ニ於キマシテモ、飲用スル酒ニ於キマシテモ、ニ御取締ニナツテ居ルカ、サウ云フモノハ相當程度割水ト云フカ、加水サレテ居ツテ、而モ酒精度ハ普通ヨリモ殆ド半分以下ニナツテ居ル、而シテ其ノ酒ガ所謂公定相場ト言ヒマスルカ、公定價格デ販賣サレテ居ル、其ノ中ニハ勿論酒稅モ含マレテ居ルガ、是ガ果シテ割水サレテモ、ソレダケノ稅ガ販賣業者ナリ製造者ナリデ納メテ居ルナラ宜イノデスガ、事實ニ於テハ吾等消費者カラ云ヘバ何トモ言ハナイデ免ニ角代價トシテ拂ツテ居ル、其ノ中ニハ稅モ含マレテ居ル、是ガ或ハ販賣業者或ハ製造業者ノ手ニ入ツテ、政府ノ方ニハ稅トシテハ入ラズニ今ノヤウナ狀態デ割水ヲサレテ居ルノデアリマス、是ハツノ問題デアリマス、是等ニ付テドウ云フ風ニ取締ツテ居ルノデアリマスカ、又將來ドウ云フ風ニ取締ラレルカ御尋致シタイ、是ガ第一點尙ホ斯ウ云フ風ニ現在ニ於テ酒飢餓ニナツテ居リマスガ、今後大藏省ハ廣イ意味ニ於テ酒ノ需給ニ付テハドウ云フ御見透シテ持ツテ居ラレルカ、又計畫ヲ持ツテ居ラレルカ、之ヲ伺ヒタインガ第二點次ニ細カクナリマスガ第三點トシマシテハ茲ニ一つノ問題ガアルト思フノデス、今回所謂新式清酒ト云フモノニ付キマシテ、從來トハ違ツテ清酒ト燒酎又ハ「アルコール」ヲ混和シタモノヲ之ヲ合成清酒トシテ第一號デ認メラレテ居ル、言フマデモナク清酒ヲ基礎ニシテ之

ニ燒酎或ハ「アルコール」ヲ混和シテ製造  
致ス方法ハ從來モアツタノデス、私ガ申上  
ゲルマデモナク此ノ方法ニ依ル所謂新清酒  
ト言ヒマスルカ、今回ノ法律ニ依ル合成清  
酒ト云フモノハ、概ネ是ハ企業的ニ實際ニ  
於テ失敗シテ參ツタノデアツテ、現在ニ於  
テハ新式清酒ト云フノハ自ラソヨニ一定ノ  
社會通念ガアリマシテ、今回ノ法案ニ依ル  
第一號ノ如キハ、殆ド從來ノ社會通念カラ  
申シマスレバ新式清酒ノ中ニ入レテ居ナイ  
モノデアル、殊ニ之ヲ企業形態カラ申シマ  
スト、合理的企業カラ申シマスレバ、斯ウ  
云フモノハ實際存在シテ居ナカツタ、是等  
ヲ新ニ第一號ニ加ヘラレタ其ノ理由如何、  
ソレヲ伺ヒタイノガ第三點デアリマス  
尙ホ隨テ斯ウ云フモノヲ認メルガ爲ニ、  
此ノ造石ニ於キマシテハ、清酒竝ミニ合成  
清酒ニ於テモ各三百石マデヲ御許シニナツ  
テ居ルガ、果シテ是ガ現在適當デアルカド  
ウカ、私ハ多大ノ疑ヲ持ツテ居ルノデアリ  
マス、ソレニ付テノ御見解ヲ伺ヒタイ、是  
ガ第四點デアリマス

メデ居ナイ、其ノ理由如何、是ガ第六點アリマス  
第七點ト致シマシテハ從來ノ酒造組合ノ  
方ニ付キマシテハ、是ハ入レテナカツタ、  
今回新ニ之ヲヤハリ同様ノ、一ツノ酒造組  
合トシテ之ヲ統制シテ行カウト御考ニナツ  
テ居ル、其ノ理由如何、是ガ第七點アリ  
マス、私ハ理由ヲ申シマセヌガ、是等ノ點  
ニ付テ一應御伺シタイ  
○田中政府委員 第一ハ加水ノ點ニアリマ  
スガ、是ハ御承知ノヤウニ稅法上カラ行キ  
マス、レバ、造石稅ニ付キマシテハ造石高ニ  
應ジテ課稅致シマスカラ、ソレガ市場ニ出  
マシテドウ加水サレヨウガ、稅法上ノ取締  
ノ必要ハ本來ノ目的カラ言ヘバナイト思ヒ  
マス、ソレカラ廩出稅ニ致シマシテモ、製  
造場内ニ於キマシテノ加水ニハ課稅致シ  
スガ、製造場ヲ一タビ出マシテカラハ、是  
ハ製造場ヲ出ル時ノ石數ニ依ツテ課稅致シ  
マスカラ、是亦市場ヲ出マシテカラノ加水ニ  
ハ、稅ヲ取ルト云フ唯單ニ其ノ目的カラ言  
ヘバ、加水ニ對シテ何等ノ取締ヲ必要トシ  
ナイト考ヘマス、隨テ稅ヲ取ルコトヲ主眼  
トシマス酒稅法ニ於キマシテハ、此ノ加水  
ニ付テハ何等取締ヲ加ヘズ、自由ト云フコ  
トニ致シテ居ル譯ニアリマスガ、唯御話ノ  
ヤウニ市場へ出マシテカラ水ヲ加ヘテ非常  
ニ薄イ酒ニナルト云フコトニ付キマシテハ、  
是ハ衛生上ノ見地ナリ、或ハ公定價格ノ決  
マス、ソレ等ヲ考ヘマシテ、稅ヲ取ルコト  
ヲ建前トスル酒稅法ニ於テ、此ノ取締ヲ致  
スト云フコトハ聊カ行過ギデハナイカト考

ハテ居ルヤウナ次第アリマス  
ソレカラ酒ガ非常ニ不足シテ居ル、是等  
ノ對策如何ト云フ問題ガ第二點アリマス  
ガ、是ハ御承知ノヤウニ米ノ需給ト云フ、  
國民ノ最モ需要ノアル食糧ニ關スル需給政  
策カラ、已ムヲ得ズ酒ニ付キマシテ相當ノ  
減石ヲ致ス譯デアリマスガ、併シ是ハ已ム  
ヲ得ナイコトト致シマシテモ、市場ニ於ケ  
ル酒ノ供給量ガ非常ニ少ク、其ノ爲ニ色々  
ナ弊害ヲ起スト云フコトモ十分考ヘラマ  
スノデ、出來ル限リノ對策ヲ講ジマシテ、  
其ノ供給量ヲ多クスルト云フコトニ付テハ  
考慮中デアルコトハ屢々大臣カラ此ノ委員  
會ニ於テモ申述ベタ通リデアリマス  
其ノ次ニ第五條第十號ニ所謂「清酒ト燒  
酎又ハアルコールト混合シテ製造シタル  
モノ」ニ付テデアリマスガ、斯ウ云フ製造  
方法ハ合成清酒トシテハ既ニ失敗ノ歴史ガ  
アツタ、逆モ斯ウ云フモノデハ駄目デハナイ  
カ、サウ云フモノヲ新シク合成清酒トシテ  
認メルノハ不穩當デハナイカト云フ御話デ  
ゴザイマスガ、此ノ一號、二號何レニ致シ  
等ハ色々加工致シマシテ造ルノデアリマシ  
テ、此ノ一號、二號ニ掲ゲマシタハ本當  
ノ合清酒原料ノ骨組ヲ掲ゲタニ過ギナイ  
ノデアリマス、唯御話ハ極ク大規模ノ工場  
合清酒ハ認メナクテモ宜イト云フ御意見  
デアルカトモ解釋致シマスガ、酒ノ對策  
小規模ノ製造業者ガ原始的ナ方法デヤル  
ハナイ清酒ヲ多クスルト云フ趣旨カラモ、  
從來ノ製造業者ガ極ク原始的ナ製造方法ニ

將來ノ食糧政策カラ考ヘマシテモ、必要ナ  
ヨトト考ヘテ居ルヤウナ次第アリマス  
其ノ次ニハ合清酒ト清酒ノ稅額ノ問題  
デアリマス、其ノ間ノ差違ヲ認メル必要ガ  
ナイデハナイカト云フ御話デゴザイマスガ、  
御承知ノヤウニ今回ハ清酒モ合成清酒モ二  
十度ヲ以テ一應區切りマシテ、ソレ以下ノ  
モノニ對シテ一石幾ラ、ソレヲ超エレバ一  
度毎ニ幾ラト云フヤウナ構成ヲ採ツテ居リ  
マス、又二十度ニ致シマスト御承知ノヤウ  
ニ從來ノ清酒ハ二十度マデ出來ルモノハ稀  
アリマシテ、大體十六度乃至十八度ト云  
フコトニナリマス、併シ合成清酒ノ方ハ各  
種ノ原料ヲ以テ合成ノ方法デ造リマス關係  
上、二十度一パインモノヲ造り得ル關係ガ  
アリマス、ソレ等ノ割水ノ點、其ノ他ヲ考  
慮致シマシテ、造石稅ト庫出稅ト合セマ  
シテ、清酒ニ付テハ七十圓、合成清酒ニ付  
テハ七十三圓、一石ニ付三圓程度ノ差ガア  
マシテモ、是ダケデハ清酒ト同様ノ品質ヲ  
持ツタ酒ハ出來ナイノデアリマスカラ、是  
ゴザイマスガ、此ノ一號、二號何レニ致シ  
等ハ色々加工致シマシテ造ルノデアリマシ  
テ、此ノ一號、二號ニ掲ゲマシタハ本當  
ノ合清酒原料ノ骨組ヲ掲ゲタニ過ギナイ  
ノデアリマス、唯御話ハ極ク大規模ノ工場  
合清酒ハ認メナクテモ宜イト云フ御意見  
デアルカトモ解説致シマスガ、酒ノ對策  
ト致シマシテ今後サウ云フ方面ノ、米ヲ使  
ノデアリマス、唯御話ハ極ク大規模ノ工場  
合清酒ハ認メナクテモ宜イト云フ御意見  
デアルカトモ解説致シマスガ、酒ノ對策  
ト致シマシテ今後サウ云フ方面ノ、米ヲ使  
ハナイ清酒ヲ多クスルト云フ趣旨カラモ、  
ハナイ清酒ヲ多クスルト云フ趣旨カラモ、  
從來ノ製造業者ガ極ク原始的ナ製造方法ニ

依ツテ清酒ニ似タ、清酒ノ代用タルベキ酒  
ヲ造ルト云フコトモ好マシイノデアリマシ  
テ、サウ云フ途ヲ此ノ際開イテ置ク、是ハ  
ヨトト考ヘテ居ルヤウナ次第アリマス  
其ノ次ニハ合清酒ト清酒ノ稅額ノ問題  
デアリマス、其ノ間ノ差違ヲ認メル必要ガ  
ナイデハナイカト云フ御話デゴザイマスガ、  
御承知ノヤウニ今回ハ清酒モ合成清酒モ二  
十度ヲ以テ一應區切りマシテ、ソレ以下ノ  
モノニ對シテ一石幾ラ、ソレヲ超エレバ一  
度毎ニ幾ラト云フヤウナ構成ヲ採ツテ居リ  
マス、又二十度ニ致シマスト御承知ノヤウ  
ニ從來ノ清酒ハ二十度マデ出來ルモノハ稀  
アリマシテ、大體十六度乃至十八度ト云  
フコトニナリマス、併シ合成清酒ノ方ハ各  
種ノ原料ヲ以テ合成ノ方法デ造リマス關係  
上、二十度一パインモノヲ造り得ル關係ガ  
アリマス、ソレ等ノ割水ノ點、其ノ他ヲ考  
慮致シマシテ、造石稅ト庫出稅ト合セマ  
シテ、清酒ニ付テハ七十圓、合成清酒ニ付  
テハ七十三圓、一石ニ付三圓程度ノ差ガア  
マシテモ、是ダケデハ清酒ト同様ノ品質ヲ  
持ツタ酒ハ出來ナイノデアリマスカラ、是  
ゴザイマスガ、此ノ一號、二號何レニ致シ  
等ハ色々加工致シマシテ造ルノデアリマシ  
テ、此ノ一號、二號ニ掲ゲマシタハ本當  
ノ合清酒原料ノ骨組ヲ掲ゲタニ過ギナイ  
ノデアリマス、唯御話ハ極ク大規模ノ工場  
合清酒ハ認メナクテモ宜イト云フ御意見  
デアルカトモ解説致シマスガ、酒ノ對策  
ト致シマシテ今後サウ云フ方面ノ、米ヲ使  
ハナイ清酒ヲ多クスルト云フ趣旨カラモ、  
ハナイ清酒ヲ多クスルト云フ趣旨カラモ、  
從來ノ製造業者ガ極ク原始的ナ製造方法ニ

シテ、事實ニ於テサウ云フ減量ハ生ジテ居  
スノデ、出來ル限リノ對策ヲ講ジマシテ、  
其ノ次ニ第五條第十號ニ所謂「清酒ト燒  
酎又ハアルコールト混合シテ製造シタル  
モノ」ニ付テデアリマスガ、斯ウ云フ製造  
方法ハ合清酒トシテハ既ニ失敗ノ歴史ガ  
アツタ、逆モ斯ウ云フモノデハ駄目デハナイ  
カ、サウ云フモノヲ新シク合成清酒トシテ  
認メルノハ不穩當デハナイカト云フ御話デ  
ゴザイマスガ、此ノ一號、二號何レニ致シ  
等ハ色々加工致シマシテ造ルノデアリマシ  
テ、此ノ一號、二號ニ掲ゲマシタハ本當  
ノ合清酒原料ノ骨組ヲ掲ゲタニ過ギナイ  
ノデアリマス、唯御話ハ極ク大規模ノ工場  
合清酒ハ認メナクテモ宜イト云フ御意見  
デアルカトモ解説致シマスガ、酒ノ對策  
ト致シマシテ今後サウ云フ方面ノ、米ヲ使  
ハナイ清酒ヲ多クスルト云フ趣旨カラモ、  
ハナイ清酒ヲ多クスルト云フ趣旨カラモ、  
從來ノ製造業者ガ極ク原始的ナ製造方法ニ

依ツテ清酒ニ似タ、清酒ノ代用タルベキ酒  
ヲ造ルト云フコトモ好マシイノデアリマシ  
テ、サウ云フ途ヲ此ノ際開イテ置ク、是ハ  
ヨトト考ヘテ居ルヤウナ次第アリマス  
其ノ次ニハ合清酒ト清酒ノ稅額ノ問題  
デアリマス、其ノ間ノ差違ヲ認メル必要ガ  
ナイデハナイカト云フ御話デゴザイマスガ、  
御承知ノヤウニ今回ハ清酒モ合成清酒モ二  
十度ヲ以テ一應區切りマシテ、ソレ以下ノ  
モノニ對シテ一石幾ラ、ソレヲ超エレバ一  
度毎ニ幾ラト云フヤウナ構成ヲ採ツテ居リ  
マス、又二十度ニ致シマスト御承知ノヤウ  
ニ從來ノ清酒ハ二十度マデ出來ルモノハ稀  
アリマシテ、大體十六度乃至十八度ト云  
フコトニナリマス、併シ合成清酒ノ方ハ各  
種ノ原料ヲ以テ合成ノ方法デ造リマス關係  
上、二十度一パインモノヲ造り得ル關係ガ  
アリマス、ソレ等ノ割水ノ點、其ノ他ヲ考  
慮致シマシテ、造石稅ト庫出稅ト合セマ  
シテ、清酒ニ付テハ七十圓、合成清酒ニ付  
テハ七十三圓、一石ニ付三圓程度ノ差ガア  
マシテモ、是ダケデハ清酒ト同様ノ品質ヲ  
持ツタ酒ハ出來ナイノデアリマスカラ、是  
ゴザイマスガ、此ノ一號、二號何レニ致シ  
等ハ色々加工致シマシテ造ルノデアリマシ  
テ、此ノ一號、二號ニ掲ゲマシタハ本當  
ノ合清酒原料ノ骨組ヲ掲ゲタニ過ギナイ  
ノデアリマス、唯御話ハ極ク大規模ノ工場  
合清酒ハ認メナクテモ宜イト云フ御意見  
デアルカトモ解説致シマスガ、酒ノ對策  
ト致シマシテ今後サウ云フ方面ノ、米ヲ使  
ハナイ清酒ヲ多クスルト云フ趣旨カラモ、  
ハナイ清酒ヲ多クスルト云フ趣旨カラモ、  
從來ノ製造業者ガ極ク原始的ナ製造方法ニ

キマシテハ、製造致シマシテ査定ヲ受ケテ  
カラ、賣出スマデニサウ云フ減量ガ生ズル  
ナイト考ヘテ居リマス、尙ホ此ノ稅率ノ七  
十圓、先程申シマシタ七十圓ハ、溝引減量  
ガアルヤウナ點ヲモ十分計算ニ入レマシテ  
御承知ノヤウニ今回ハ清酒モ合成清酒モ二  
十度ヲ以テ一應區切りマシテ、ソレ以下ノ  
モノニ對シテ一石幾ラ、ソレヲ超エレバ一  
度毎ニ幾ラト云フヤウナ構成ヲ採ツテ居リ  
マス、又二十度ニ致シマスト御承知ノヤウ  
ニ從來ノ清酒ハ二十度マデ出來ルモノハ稀  
アリマシテ、大體十六度乃至十八度ト云  
フコトニナリマス、併シ合成清酒ノ方ハ各  
種ノ原料ヲ以テ合成ノ方法デ造リマス關係  
上、二十度一パインモノヲ造り得ル關係ガ  
アリマス、ソレ等ノ割水ノ點、其ノ他ヲ考  
慮致シマシテ、造石稅ト庫出稅ト合セマ  
シテ、清酒ニ付テハ七十圓、合成清酒ニ付  
テハ七十三圓、一石ニ付三圓程度ノ差ガア  
マシテモ、是ダケデハ清酒ト同様ノ品質ヲ  
持ツタ酒ハ出來ナイノデアリマスカラ、是  
ゴザイマスガ、此ノ一號、二號何レニ致シ  
等ハ色々加工致シマシテ造ルノデアリマシ  
テ、此ノ一號、二號ニ掲ゲマシタハ本當  
ノ合清酒原料ノ骨組ヲ掲ゲタニ過ギナイ  
ノデアリマス、唯御話ハ極ク大規模ノ工場  
合清酒ハ認メナクテモ宜イト云フ御意見  
デアルカトモ解説致シマスガ、酒ノ對策  
ト致シマシテ今後サウ云フ方面ノ、米ヲ使  
ハナイ清酒ヲ多クスルト云フ趣旨カラモ、  
ハナイ清酒ヲ多クスルト云フ趣旨カラモ、  
從來ノ製造業者ガ極ク原始的ナ製造方法ニ

○川崎(末)委員 一應當局ノ御意見ノアル  
所ハ伺ヒマシタガ、私ハ此處テ討論スルノデ  
ハアリマセヌカラ、是レ以上申上ゲマセヌ、  
申シテ置キマス、今國稅課長ノ御話ニナ  
リマシタコトハ、是ハ机ノ上デ御考ニナツ  
タノデハ成程一應御趣旨ハ通ルヤウデアリ  
ラ免除スル、是ハ宜クナインデハナイカト云フ  
御話ガアリマシタガ、是ハ先程申シマシタ  
ヤウナ理由デアリマシテ、即ち將來米ノミニ  
次ニ清酒ト合成清酒ヲ合セテ三百石ナ  
ラ免除スル、是ハ宜クナインデハナイカト云フ  
ニ從來ノ清酒ハ二十度マデ出來ルモノハ稀  
アリマシテ、大體十六度乃至十八度ト云  
フコトニナリマス、併シ合成清酒ノ方ハ各  
種ノ原料ヲ以テ合成ノ方法デ造リマス關係  
上、二十度一パインモノヲ造り得ル關係ガ  
アリマス、ソレ等ノ割水ノ點、其ノ他ヲ考  
慮致シマシテ、造石稅ト庫出稅ト合セマ  
シテ、清酒ニ付テハ七十圓、合成清酒ニ付  
テハ七十三圓、一石ニ付三圓程度ノ差ガア  
マシテモ、是ダケデハ清酒ト同様ノ品質ヲ  
持ツタ酒ハ出來ナイノデアリマスカラ、是  
ゴザイマスガ、此ノ一號、二號何レニ致シ  
等ハ色々加工致シマシテ造ルノデアリマシ  
テ、此ノ一號、二號ニ掲ゲマシタハ本當  
ノ合清酒原料ノ骨組ヲ掲ゲタニ過ギナイ  
ノデアリマス、唯御話ハ極ク大規模ノ工場  
合清酒ハ認メナクテモ宜イト云フ御意見  
デアルカトモ解説致シマスガ、酒ノ對策  
ト致シマシテ今後サウ云フ方面ノ、米ヲ使  
ハナイ清酒ヲ多クスルト云フ趣旨カラモ、  
ハナイ清酒ヲ多クスルト云フ趣旨カラモ、  
從來ノ製造業者ガ極ク原始的ナ製造方法ニ

アリマス、組合ノ構成其ノ他ニ付キマシテ  
ハ從來ト別ニ變リハナイ斯様ニ考ヘテ居リ  
マス  
○川崎(末)委員 一應當局ノ御意見ノアル  
所ハ伺ヒマシタガ、私ハ此處テ討論スルノデ  
ハアリマセヌカラ、是レ以上申上ゲマセヌ、  
申シテ置キマス、今國稅課長ノ御話ニナ  
リマシタコトハ、是ハ机ノ上デ御考ニナツ  
タノデハ成程一應御趣旨ハ通ルヤウデアリ  
ラ免除スル、是ハ宜クナインデハナイカト云フ  
御話ガアリマシタガ、是ハ先程申シマシタ  
ヤウナ理由デアリマシテ、即ち將來米ノミニ  
次ニ清酒ト合成清酒ヲ合セテ三百石ナ  
ラ免除スル、是ハ宜クナインデハナイカト云フ  
ニ從來ノ清酒ハ二十度マデ出來ルモノハ稀  
アリマシテ、大體十六度乃至十八度ト云  
フコトニナリマス、併シ合成清酒ノ方ハ各  
種ノ原料ヲ以テ合成ノ方法デ造リマス關係  
上、二十度一パインモノヲ造り得ル關係ガ  
アリマス、ソレ等ノ割水ノ點、其ノ他ヲ考  
慮致シマシテ、造石稅ト庫出稅ト合セマ  
シテ、清酒ニ付テハ七十圓、合成清酒ニ付  
テハ七十三圓、一石ニ付三圓程度ノ差ガア  
マシテモ、是ダケデハ清酒ト同様ノ品質ヲ  
持ツタ酒ハ出來ナイノデアリマスカラ、是  
ゴザイマスガ、此ノ一號、二號何レニ致シ  
等ハ色々加工致シマシテ造ルノデアリマシ  
テ、此ノ一號、二號ニ掲ゲマシタハ本當  
ノ合清酒原料ノ骨組ヲ掲ゲタニ過ギナイ  
ノデアリマス、唯御話ハ極ク大規模ノ工場  
合清酒ハ認メナクテモ宜イト云フ御意見  
デアルカトモ解説致シマスガ、酒ノ對策  
ト致シマシテ今後サウ云フ方面ノ、米ヲ使  
ハナイ清酒ヲ多クスルト云フ趣旨カラモ、  
ハナイ清酒ヲ多クスルト云フ趣旨カラモ、  
從來ノ製造業者ガ極ク原始的ナ製造方法ニ

アリマス、組合ノ構成其ノ他ニ付キマシテ  
ハ從來ト別ニ變リハナイ斯様ニ考ヘテ居リ  
マス  
○川崎(末)委員 一應當局ノ御意見ノアル  
所ハ伺ヒマシタガ、私ハ此處テ討論スルノデ  
ハアリマセヌカラ、是レ以上申上ゲマセヌ、  
申シテ置キマス、今國稅課長ノ御話ニナ  
リマシタコトハ、是ハ机ノ上デ御考ニナツ  
タノデハ成程一應御趣旨ハ通ルヤウデアリ  
ラ免除スル、是ハ宜クナインデハナイカト云フ  
御話ガアリマシタガ、是ハ先程申シマシタ  
ヤウナ理由デアリマシテ、即ち將來米ノミニ  
次ニ清酒ト合成清酒ヲ合セテ三百石ナ  
ラ免除スル、是ハ宜クナインデハナイカト云フ  
ニ從來ノ清酒ハ二十度マデ出來ルモノハ稀  
アリマシテ、大體十六度乃至十八度ト云  
フコトニナリマス、併シ合成清酒ノ方ハ各  
種ノ原料ヲ以テ合成ノ方法デ造リマス關係  
上、二十度一パインモノヲ造り得ル關係ガ  
アリマス、ソレ等ノ割水ノ點、其ノ他ヲ考  
慮致シマシテ、造石稅ト庫出稅ト合セマ  
シテ、清酒ニ付テハ七十圓、合成清酒ニ付  
テハ七十三圓、一石ニ付三圓程度ノ差ガア  
マシテモ、是ダケデハ清酒ト同様ノ品質ヲ  
持ツタ酒ハ出來ナイノデアリマスカラ、是  
ゴザイマスガ、此ノ一號、二號何レニ致シ  
等ハ色々加工致シマシテ造ルノデアリマシ  
テ、此ノ一號、二號ニ掲ゲマシタハ本當  
ノ合清酒原料ノ骨組ヲ掲ゲタニ過ギナイ  
ノデアリマス、唯御話ハ極ク大規模ノ工場  
合清酒ハ認メナクテモ宜イト云フ御意見  
デアルカトモ解説致シマスガ、酒ノ對策  
ト致シマシテ今後サウ云フ方面ノ、米ヲ使  
ハナイ清酒ヲ多クスルト云フ趣旨カラモ、  
ハナイ清酒ヲ多クスルト云フ趣旨カラモ、  
從來ノ製造業者ガ極ク原始的ナ製造方法ニ

五十石位ノモノヲ製造スルコトガ經濟的合  
理的ニ出來ルカト云フコトハ言フマデモザ  
イマセヌ、少クトモ現在日本ノ無水酒精  
ヲ製造スル企業單位トシテハ、四万石乃至  
五六万石、理想カラ言ヘバ十万石ノ企業單  
位デヤラカケレバ、合理的經濟的ニヤレナ  
イト云フヤウニ現在言ハレツタル、又現  
在企業ヲ經營シテサウ云フ實績ヲ舉ゲテ居  
ルモノヲ、銘々ガ五十石ノ「アルコール」ヲ  
持ヘテ、サウシテ合成酒ヲ持ヘルト云フコ  
トハ出來ヌコトハナイデセウガ、現在資材  
ガ不足シテ居ル、實際サウ云フ設備ガ出來  
ルカドウカト云フト容易ニ出來ルモノデナ  
イト思フ、實際ニサウ云フコトハ出來ルモノ  
デハナイ、假ニ資材ガ許サレテモ、サウ云  
フヤウナ企業規模ガ果シテ合理的デアリ經  
濟的デアルカ、是亦私ハ合理的デモナケレ  
バ經濟的デモナイコトヲ斷言シテ憚ラナイ、  
然ラバ此ノ酒精ヲ何處カラ供給ヲ受ケルカ  
ト云フト、「アルコール」ハ大體專賣ニナツ  
テ居ル、專賣局ニ於テ小規模ノ酒造家ガ合  
成酒ヲ持ヘル時ニ最大五十石、ソレヲ一々  
供給サレテ十分ノ餘力ガアルノカ、若シサウ  
デナクテ銘々原料ノ「アルコール」ヲ持ヘル  
ト云フコトナラバ、今言ツタヤウニ極メテ  
不合理デアツチ不經濟デアル、是等ヲダウ  
云フヤウニ御考ニナツテ居ルカ、又是ダケ  
ノ「アルコール」ヲ各自ガヤルトスレバ、現  
在ノ製造能力ニ於テ全國的ニ言ツテモ、個  
人カラ言ツテモ、政府ノ工場設備カラ言ツ  
テモ、容易ニ供給シ得ルカドウカ、机上デ  
問デアルト思フ、

ソレカラ尙ホ大藏大臣ニ伺ツテ置キマス  
ルガ、現在ノ清酒ニ付テノ酒飢餓ヲ緩和ス

ル意味ニ於テ、現在市井ニ於テ割水ガ行ハ  
レテ非常ニ薄マツテ居ル、酒ノ取締ニ付テ成  
程大藏省ノ稅法ノ取締カラ言ヘバ、ソレデ  
ザイマセヌ、少クトモ現在日本ノ無水酒精  
ヲ製造スル企業單位トシテハ、四万石乃至  
五六万石、理想カラ言ヘバ十万石ノ企業單  
位デヤラカケレバ、合理的經濟的ニヤレナ  
イト云フヤウニ現在言ハレツタル、又現  
在企業ヲ經營シテサウ云フ實績ヲ舉ゲテ居  
ルモノヲ、銘々ガ五十石ノ「アルコール」ヲ  
持ヘテ、サウシテ合成酒ヲ持ヘルト云フコ  
トハ出來ヌコトハナイデセウガ、現在資材  
ガ不足シテ居ル、實際サウ云フ設備ガ出來  
ルカドウカト云フト容易ニ出來ルモノデナ  
イト思フ、實際ニサウ云フコトハ出來ルモノ  
デハナイ、假ニ資材ガ許サレテモ、サウ云  
フヤウナ企業規模ガ果シテ合理的デアリ經  
濟的デアルカ、是亦私ハ合理的デモナケレ  
バ經濟的デモナイコトヲ断言シテ憚ラナイ、  
然ラバ此ノ酒精ヲ何處カラ供給ヲ受ケルカ  
ト云フト、「アルコール」ハ大體專賣ニナツ  
テ居ル、專賣局ニ於テ小規模ノ酒造家ガ合  
成酒ヲ持ヘル時ニ最大五十石、ソレヲ一々  
供給サレテ十分ノ餘力ガアルノカ、若シサウ  
デナクテ銘々原料ノ「アルコール」ヲ持ヘル  
ト云フコトナラバ、今言ツタヤウニ極メテ  
不合理デアツチ不經濟デアル、是等ヲダウ  
云フヤウニ御考ニナツテ居ルカ、又是ダケ  
ノ「アルコール」ヲ各自ガヤルトスレバ、現  
在ノ製造能力ニ於テ全國的ニ言ツテモ、個  
人カラ言ツテモ、政府ノ工場設備カラ言ツ  
テモ、容易ニ供給シ得ルカドウカ、机上デ  
問デアルト思フ、

○櫻内國務大臣 今ノ御話ノ僅カナ酒ヲ造  
居リマスカドウカ、ソレヲ伺ツテ置キタイ  
ニナリマスルカ、今ノアナタノ主旨サレテ居  
ル大藏當局ノ御答辯デ十分ト御考ニナツテ  
濟ムヤウナ御話デアリマスケレドモ、此ノ  
狀態ハ大藏大臣ハ國務大臣トシテドウ御考  
ニナリマスルカ、今ノアナタノ主旨サレテ居  
ル大藏當局ノ御答辯デ十分ト御考ニナツテ  
濟ムヤウナ御話デアリマスケレドモ、此ノ  
雲フヤウニナツテ居リマスカ、專賣局ノ方カラ買ハスト云フ  
ノデスカ、專賣局ノ方カラ買ハスト云フ  
云フノデスカ

○櫻内國務大臣 他ノ方カラ買ハセル積リ  
ツテ居ル所、合成酒ヲ造ツテ居ル所ガ、五  
十石ヤ六十石ノ「アルコール」ヲ造ル設備ヲ  
新ニ持ヘルト云フヤウナコトハ、是ハ決シ  
テ適當デハナインデアリマシテ、衛生上ノ  
關係カラ言ヒマシテモ、有ユル點カラ考ヘ  
テ、「アルコール」ヲヤハリ買ハセテヤツテ  
居ルヤウナ狀況デアリマス、今御話ノ點ニ  
付キマシテハ、政府ト致シマシテモ考慮致  
スペキ點ガアルト思ヒマスガ、併シ現實ノ  
狀態ニ於テ大ナル支障ハナイヤウニ考ヘマ  
ス、ケレドモ此ノ際ニ於テサウ云フ大キナ  
工場ヲ持ヘルトカ、或ハ政府ノ工場ヲ一パ  
カ、是ハ條文ダケ讀ンダラ清酒ト燒酎又ハ  
「アルコール」ヲ混和シテ製造シタルモノ、  
ハ純然タル清酒ト燒酎又ハ「アルコール」ヲ  
混和スルダケデアツテ、之ニ水ヲ加ヘルコ  
ドハイケナイト云フヤウニ解釋スペキモノ  
デスカ、如何デスカ

○田中政府委員 第二號ノ方デハ水ヲ加ヘ  
テモ差支ナイコトニナツテ居リマス

○川崎(末)委員 ソレハドウ云フ譯デス  
カ、是ハ條文ダケ讀ンダラ清酒ト燒酎又ハ  
「アルコール」ヲ混和シテ製造シタルモノ、  
水ハ此處ニ入ツテ居ナイデセウ

○田中政府委員 水ニ付キマシテハ第二號  
ニ規定シテ居リマスカラ、第一號ニハ其ノ  
デハアリマスカ、第二號ノ方ノモノデモ合  
規定ハ必要トシナイモノト考ヘテ居リマス  
アトデモ申シマスケレドモ、製造シタ後デ  
イ場合デアリマス、併シ第一號ノミ合成酒  
デハアリマスカ、第二號ノ方ノモノデモ合  
規定ハ必要トシナイモノト考ヘテ居リマス  
アトデモ申シマスケレドモ、製造シタ後デ  
加ヘテモ合成酒が出來ル、斯ウ云フ譯デア  
リマス、水ヲ加ベルノヲ禁止シテ居ル譯デ  
ハアリマセス

○大矢政府委員 第一號ノ方ハ水ハ入ツテ  
居リマセヌガ、第二號ノ「他ノ物品ト混和  
シテ製造シタルモノ」ト云フ他ノ物品ニハ  
水モ入ツテ居リマス、出來タ品物ガ清酒ニ  
類似シテ居レバ、合成酒ニナル、斯ウ云フ  
譯デアリマス

○川崎(末)委員 ソレダカラヲカシイ、第  
二號ニハチヤント他ノ物品ト云フ逃道ガア  
ツテ水ヲ加ヘルト云フコトニナツテ居ル、  
「清酒ト燒酎又ハアルコール」ヲ混和シテ  
製造シタルモノ」トナツテ居ルガ、之ニモ  
サウ云フ論理カラ言ヘバ第一號ノ合成酒ハ  
「清酒ト燒酎又ハアルコール」ヲ入レタラ宜イデバ  
ナイカト思フノデアリマス

○大矢政府委員 第一號ノ方ハ水ヲ加ヘナ  
水ヲ加ヘルト云フコトヲ入レタラ宜イデバ  
ナイカト思フノデアリマス

○大矢政府委員 第一號ノ方ハ水ヲ加ヘナ  
イ場合デアリマス、併シ第一號ノミ合成酒  
デハアリマスカ、第二號ノ方ノモノデモ合  
規定ハ必要トシナイモノト考ヘテ居リマス  
アトデモ申シマスケレドモ、製造シタ後デ  
加ヘテモ合成酒が出來ル、斯ウ云フ譯デア  
リマス、水ヲ加ベルノヲ禁止シテ居ル譯デ  
ハアリマセス

○堀切委員長 マア水掛論ト云フヤウナコ  
トニシテ……(笑聲)ソレデハ深澤君

○深澤委員 私ハ北君ノ質問ニ關聯シマシ  
テ商工省ノ方デスガ、マダ御見エニナラナ  
イノデスガ、御見エニナラナケレバ留保シ  
テ置キマス

○堀切委員長 ソレデハ長野君、此ノ間オ  
ヤリニナツタノデスカラ、願クバ簡単ニ残

シタ分ヲ御質問願ヒマス

○長野(長)委員 私ハ先づ大藏大臣ニ御答辯ヲ御願シタイト思ヒマス、先般鑛業法ノ委員會ニ於キマシテ、商工大臣カラハ一應御意見ヲ承ツタノデアリマスルガ、我國ノ財政ノ根本ニ關係スル問題モアリマスルシ、更ニ鑛區稅ノ全般ヲ眺メテ見マシテモ、議會ニ於キマシテモ、產金政策ヲ擴充ニ付テ、豫算竝ニ新シキ機關ノ擴充創設ト云フコトガ相當出來タノデアリマス、昨年ノ事實ニ於テハ、本年ハ昨年ヨリモ金ガ減產シテ居ルト云フコトハ商工大臣ノ言明セラレタ所デアリマス、私ハ其ノ狀態ニ付テ、私ノ知ツテ居ル範圍ノコトヲ此處デ申上ゲルコトハ控ヘマス、控ヘダ方ガ宜イト思ヒマスカラ控ヘマスガ、茲ニ最モ重大ナコトハ、此ノ產金ニ從事シテ居ル所ノ業者デアリマス、殊ニ中小ノ產金業者デアリマス、是ガ昨今甚ダ振ハナイト云フコトガ此ノ減產ノ原因ノ一つデアリマス、ソレカラ今一つハ相當ニ密輸ガ行ハレテ居ル、現在ノ產金制度ト云フモノノ缺陷カラシマシテ、隨分外國ニ金ガ流レテ居ル、是ハ想像シ得ラレルコトデアルガ、事實當局ノ方デモ摘發ヲセラレテ居ルヤウデアリマス、併シマダ摘發シ得ザルモノガ澤山アリマス、ソコデ此ノ際產金ニ關スル制度ヲ再検討スル必要ガアリハシナイカト思フノデアリマシテ、私ハ此ノ際產金廳トデモ言ヒマスルカ、產金ヲ特ニ所管スル所ノ官廳ヲ大藏省ナリ、内閣直屬デモ宜イデセウガ、適當ナ所ニ作リマシテ、サウシテ是等ノ缺陷ヲ芟除スルト云

フコトガ必要デヤナイカト思ヒマス、ソコ  
デ現在大藏省ニ於キマシテハ、造幣局ニ於  
テ金ノ精製ヲ無料デヤツテ居リマス、大藏  
省ニハ頗ル關係ガ深イコトデアリマスシ、  
更ニ金ノ國家的施設ニ付テハ、商工省ノミ  
ナラズ、大藏省モ深刻ナ關係ヲ持タレテ居  
リマス、是等ノ見地カラ、殊ニ大藏大臣ト  
セラレテハ、産金機關ノ創設ニ依ツテ、我  
國ノ憂フベキ此ノ產金ノ減退ヲナクシテ、  
大増産ヲセラレルヤウニスル必要ガアリハ  
シナイカト思ヒマス、ナゼ私ガ產金廳ノ必  
要ヲ力説スルカト申シマスト、現在中小ノ  
鑛業者ハ、皆鑛石ヲ三四ノ財閥ノ持ツテ居  
リマス所ノ製鍊所ニ賣ツテ居ルノデア  
リマス、所ガ「ガソリン」ハ高イ、各般ノ運  
賃ハ高イ、或ハ鐵道輸送ガ困難デアルト云  
フコトノ爲ニ、莫大ナル損失ヲシテ居ル、  
ソレガ一ツデアリマス、ソレカラ今一ツハ、  
中小ノ鑛業者ノ賣鑛シタルモノ、或ハ製鍊  
ヲ委託シタルモノ、之ヲ先づ分析スルノデ  
アリマスケレドモ、其ノ分析ノ際ニ於テ、  
業者ニ於テハ納稅シ兼ネル實情ガアルト云  
フコトヲ聞クノデアリマス、是ハ具體的ニ  
申上ゲマセヌ、ソレカラ今一ツハ、製鍊料  
ト云フモノガ高イノデアリマス、隨ヒマシ  
テ以上申上ゲタ理由ニ依ツテ、中小鑛業者  
ノ經濟的現狀ト云フモノハ實ニ憂慮スベキ  
モノデアリマス、或ハ商工省ノ補助金、或  
ハ產金會社ノ金融等ヲ以テシマシテモ、中  
小ノ產金業者ニシテ仕事ヲ始メテ泣カナイ  
者ハ恐ラクナイト思ヒマス、サウ云フ狀態  
デアル、斯ノ如ク各種ノ機關ガ大擴充ヲセ  
ラレタニモ拘ラズ、尙ホ金ノ增産ガナイ、  
而モ我國ノ金ノ埋藏量ハ實ニ世界ニ誇ルベ  
キモノデアルト云フコトハ、學者ノ發表ニ

依レテモ、又實情ヲ眺メテ見テモ吾々ハ肯定シ得ルノデアリマス、就キマシテハ此ノ際政府ハ產金廳ヲ設ケ、サウシテ此ノ產金廳デ製鍊ヲヤルコト、恰モ農家ガ煙草ヲ作ツテ、大藏省ガ煙草ヲ製造シテ居ルト同様ニ、大藏省自體ガ現在ヤツテ居ル金精製ノ事業ヲ擴充致シマシテ、無料デ製鍊ヲスル、サウ云フコトニシマスルト、出來タ金ハ逃ゲナイ、政府ガ持ツテ居ルノデアルカラ絶對ニ逃ゲル虞ハアリマセヌ、ト同時ニ中小ノ產業者ガ安心シテ委託スルコトガ出來、又其ノ經濟的ノ採算ト云フモノモ隨分合フ譯デアリマシテ、茲ニ產金ニ關スル所ノ根本的ナ缺陷方是正サレルニ至ルノデハナイカト思フノデアリマス、論ヲ爲ス者ハ、殊ニ商工大臣ノ如キハ、成程ソレハ必要ダカラ研究シテ見マセウトハ仰セラマシタケレドモ、併シ日本產金會社モアルカラトスウ云フ御話デス、ケレドモ日本產金會社ト云フモノハ、アレハ半官半民デアリマシテ、而モ會社ノ内容、組織ト云フモノ、及ビ人の組織ト云フモノハ、國家ノ財的生命トモ謂フベキ金ノ生產ニ當ルト云フコトニ付テハ、是ハマダ堅牢性ガ乏シイト私ハ思フ、又中小ノ鑄業者ガ決シテ之ニ全幅ノ信賴ヲ爲シ得ナイ現狀デアリマス、就キマシテハ國家ハ此ノ際思ヒ切ツテ此ノ國營ヲヤル御考ハナイカ、全國ノ一万何千ト云フ鑄區ノ開發ニ付テハ、一般ノ業者ニヤラセル、サウシテ製鍊ダケ、或ハ新シキ發明等ガアツテ、送鑛等ニ付テモ國營ガ出來得ルヤウニナレバ、ソレモ一緒デ宜シウゴザイマスガ、サウ云フ風ニシテ茲ニ抜本的ナ對策ヲ練ラレテ實行セラルル必要ガアリハシナイカト思フノデスガ、之ニ付テ大藏當局ノ御答辯ヲ

○櫻内國務大臣 産金ノ大切ナコトハ御話  
ノ通リデアリマス、然ルニ此ノ増産計畫方  
所期ノ如ク成績ヲ得テ居ナイト云フ事柄ニ  
付キマシテハ、是ハ餘程ノ決心ヲ以テ、今  
マデノヤリ方ヲ變ヘテ、サウシテ增産ノ方  
法ヲ講ジナケレバイカヌト思ツテ居リマス、  
其ノ點ニ付キマシテハ今長野君ノ言ハレル  
通リデアリマス、ソレニ付テ、國營製鍊所  
ヲ設ケルトカ、其ノ他ノ設備ヲシテ、而シ  
テ今日ノ金ノ増産上ニ於ケル所ノ支障ヲ除  
去シテハドウデアルカト云フ風ナ御意見デ  
アリマスガ、昨今金ノ増産ニ付キマシテハ  
色々ナ意見ガ出テ居リマス、即チ金ノ買上  
價格ヲ上げタラドウデアルカト云フヤウナ  
說モアリマス、或ハ又サウデナクシテ、增  
產計畫ニ對スル獎勵金ヲ更ニ殖ヤシテヤツ  
タラドウカト云フヤウナ說モ出テ居リマス  
ガ、御承知ノ如ク増産ニ付キマシテハ、單  
ニ價格問題バカリデハ成功スルモノデハナ  
イノデアリマシテ、御說ノ通り色々ナ方面  
ニ對シテノ施設ガナケレバ相成ラヌト存ジ  
テ居リマス、政府ガ一番考ヘテ居リマスノ  
ハ、申スマテモナク採鑛ノ費用ヲ安クスル  
問題、ソレニ電力ノ供給トカ、鑿岩機械デアル  
トカ、或ハ砂金デアリマスレバ「ドレッ  
ジャー」ノ關係デアルトカ、或ハ又ソレヲ運  
搬シマス勞力ノ關係トカ、所謂勞力ト資材  
ノ兩方面カラ之ヲ援助シテ出スヤウニシナ  
ケレバナラスト云フノデ、其ノ方面ニ非常  
ニ力ヲ入レテ居ル譯デアリマス、隨ヒマシ  
テ、今御話ノ精鍊ノヤウナ問題モ、確ニ一  
テ居リマス、ヤハリ其ノ鑛石石ノ出ル附近  
此ノ點ニ付キマシテモ考慮ヲ致シタイト考

等ヲ見テ適當ナ設備ヲシテ行カナケレバナ  
ラヌコトニナリマスケレドモ、御承知ノ通  
リ今日ハ資材モ少イノデアリマシテ、ソレ  
ヲ設備スルノニハ、又其ノ設備ヲスルニ付  
テ相當ノ金ヲ掛ケテ行カナケレバナラナ  
イ、殊ニ國內ノモノバカリデナク、外國カ  
ラノ輸入ニ俟タナケレバナラスモノモアリ  
マスノデ、彼此レ睨合セマシテ、今此ノ問  
題ニ對スル對策ヲ講ジテ居リマス、是ハ  
獎勵金其ノ他ノ問題デアリマスト、議會ノ  
協賛ヲ經ナケレバナリマセヌガ、サウデナ  
クシテ他ニ適當ナ方法ガアラウト思ツテ居  
リマス

御話ノ精鍊ノ問題ヲ國ニ於テ取扱フト云  
フコトニ付キマシテハ、是ハ商工大臣ハド  
ウ御答申上ゲタカ知リマセヌケレドモ、十  
分ニ研究シナケレバナラヌ點デアリマシテ、  
極メテ速ニ此ノ問題ニ對シマシテハ、十分  
考究致シマシテ、其ノ結果ニ依ツテ適當ナ  
措置ヲ執リタイト思ツテ居リマス

○長野(長)委員 今一ツダケ別ナ問題デ御  
伺致シマス、ソレハ今度ノ改正所得稅法案  
ニ於キマシテ、個人ノ所得稅ニ對スル經過  
救濟ノ點デ、具體的事例ニ付テ御尋申シタ  
イノデアリマス、所得稅法案ニ於テ、第十  
二條第四號ノ規定ヲ見マスルト、「事業所得  
ハ前年中ノ總收入金額ヨリ必要ノ經費ヲ控  
除シタル金額」トアルノデアリマス、ソレデ  
前年度ノ詰リ實蹟所得稅ニ課稅スル解釋  
シテ居ルノデアリマスガ、例ヘバ昭和十四  
年ノ十二月末ニ事業ヲ廢メタ場合、昭和十四  
四年度ノ課稅ニ付テ考ヘテ見マスト、現行  
法デハ、十四年度ノ事業所得ニ對スル課稅  
度ニ推定ヲシテ課稅ヲシテ居ルノデアリマ

ス、故ニ十四年度ノ分ハ既ニ十四年ノ納稅  
デ納メテ居ル、即チ十四年度ニ課稅ヲセラ  
レテ居ルノデアリマス、然ルニ十四年末カ  
ラ廢業シタ場合、若シ十五年度ニ於テ前年  
度ノ實蹟所得、即チ十四年度分ガダブ  
課稅スルトシマスト、十四年度分ガダブ  
ル、ダブルト云フ言葉ハ惡イカモ知レマ  
セヌガ、二度拂フヤウナ形ニナルノデアリ  
マス、斯ル場合ニ於テモ十五年度ニ於テ課  
稅スルノデアルカ、又ハ十五年度ニ於テハ  
モウ十四年度分ニ相當スル稅金ハ全然課稅  
ヲセヌノデアルカ、此ノ點ニ付キマシテ、  
カラ具體的ノ説明ヲシテ戴キタイト思ヒマ  
ス

○田中政府委員 今度ノ改正所得稅法案ニ  
依リマシテ、例ヘバ營業所得、御指摘ニナ  
リマシタ事業所得ナドノ分類所得稅ニ於テ  
ハ第十二條ニ規定シテアリマスガ、綜合所  
得稅ニ於テモ同ジヤウナ規定ガ第三十條ニ  
アリマス、原則トシテ總テ前年ノ實蹟ニ依  
ルコトニ相成ツテ居リマス、其ノ結果御說  
明ノ昨年十二月ニ其ノ營業ヲ全然廢メテシ  
マツタト云フヤウナモノニ付キマシテハ、  
此ノ規定其ノ儘デ行キマスト、本年ノ課稅  
ニ當リマシテハ廢業マデノ實蹟ニ對シテ  
課稅シナクテハナラヌコトニナリマスガ、  
御話ノヤウニ、從來ノ所得稅法ニ依レバ、  
サウ云フモノニハ本年ハ課稅シナクテモ宜  
ニ對シテ、從來ニ比シテ非常ニ酷ニナルノ  
デ、其ノ救濟規定ヲ第一條ニ設ケタノデ  
アリマス、此ノ第一條ニ依ツテ、命令デ  
定メテ色々ナ場合ノ救濟規定ヲ設ケル譯デ  
アリマスガ、御説明ノヤウニ、昨年末ニ營

ス、故ニ十四年度ノ分ハ既ニ十四年ノ納稅  
デ納メテ居ル、即チ十四年度ニ課稅ヲセラ  
レテ居ルノデアリマス、然ルニ十四年末カ  
ラ廢業シタ場合、若シ十五年度ニ於テ前年  
度ノ實蹟所得、即チ十四年度分ガダブ  
課稅スルトシマスト、十四年度分ガダブ  
ル、ダブルト云フ言葉ハ惡イカモ知レマ  
セヌガ、二度拂フヤウナ形ニナルノデアリ  
マス、斯ル場合ニ於テモ十五年度ニ於テ課  
稅スルノデアルカ、又ハ十五年度ニ於テハ  
モウ十四年度分ニ相當スル稅金ハ全然課稅  
ヲセヌノデアルカ、此ノ點ニ付キマシテ、  
カラ具體的ノ説明ヲシテ戴キタイト思ヒマ  
ス

○長野(長)委員 能ク分リマシタ、ソレカ  
ラ若シ十四年ノ末ニ廢メマシタ時ニ、其ノ  
個人經營ヲ法人經營ニ變更シタ場合、其ノ  
場合ニ於テ其ノ個人ノ課稅ニ付テハ如何ナ  
ルコトニナリマスカ

○田中政府委員 從來サウ云フヤウナ場合  
ニ於キマシテハ、先程申上ゲタヤウニ、單  
純ニ廢業シタ場合ニハ課稅シナイ、併シ法  
人ニナツタ場合ニハ、昨年ノ決定額ヨリモ  
非常ニ昨年ノ實蹟ガ殖エテ居リマス、法  
人ニナツテモソレヲ追加決定シ得ルヤウナ  
規定ガアリマシタガ、今回ハソレヲ廢止致  
シテ居リマス、隨テ先程御説明申上ゲタヤ  
ウニ、全然廢業シタモノト同様ニ課稅致サ  
ナイト云フコトニナレバ、ソコガ非常ニ從  
來ヨリ不合理ニナリマスカラ、サウ云フモ  
ノニ付テハ、増差額ニ對シテ適當ニ課稅ス  
ル、斯ウ云フ方法ヲ講ジタイト考ヘテ居リ  
マス

○堀切委員長 是デ一應各派質問ガ終了シ  
タモノト認メマス、ソレデ明日ハヤハリ午  
前十時ヨリ開會シマシテ、各黨各派ノ態度  
ヲ決定スルニ對シテ必要ナル質疑ヲ各派代  
表者カラ願フコトニ致シタイト思ヒマスガ、  
ソレデ御異議アリマセヌカ

○深澤委員 ソコデ疑問ニナリマスノハ、  
十五條ノ一ニ、農林水產物ニ對スル主管ハ  
農林大臣ト明記サレテアリマスガ、之ニ關  
聯シテノ疑問ハ、加工質モ農林大臣ガ決メ  
ル、其ノ次ニ一ツノ關聯事項トシテハ、價格  
力シテヤラウ、斯ウ云フコトニ致シテ居リ  
マス

○深澤委員 私ハ先程ノ北委員ノ質問ノ中、  
聯シテアリマスガ、北委員ノ質問ノ中、  
私ノ尋ねル所ハ、小賣價格ヲ商工省ニ決メ  
ルナラバ、例ヘバ產地カラ「レール」渡シノ  
場合モ、ヤハリ商工省所管ニ屬スルカ、斯

ウ云フ質問デアリマス

○新倉政府委員 具體的ニ北海道ノ產地「レール」價格ガドウ云フ價格デアルカト云フ點ニ、多少疑問ガアルヤウデアリマス、之ヲ卸賣價格ト見ルノカ、白米ノ價格デアルカラ白米ノ小賣價格ノ一部ニナルカト云フヤウナ點ニ付キマシテ、解釋ガハツキリシナイ點ガドウモアルヤウデアリマス、假ニ

白米ノ小賣價格ト致シマスレバ、商工省デ決メルモノノ中ニ入ルト考ヘテ宜イカト思ヒマス、今ノ產地「レール」渡シ價格ガ白米ノ小賣價格ニナルカト云フ點ニ疑義ガアリマシテ、ハツキリ御答辯申上ゲルマデニ行ツテ居ナイ實情デアリマス

○立川委員 此ノ機會ニ具體的ノ問題デ、物價局次長ニ一寸御尋ラシタイ點ガ一ツアリマス、神戸ニ穀肥取引所ト云フモノガアリマス、其處ニ雜穀ノ相場ガ立テラレテ居リマスガ、此處デ公定相場ヲ無視サレタ相場ガ立ツテ居ル、私ハ茲ニ一ツシカ材料ヲ持ツテ居リマセヌガ、小豆ノ小賣ノ公定價格ガ二十二圓六十錢ト云フモノヲ、四月限受渡ノ先物ガ二十六圓五十錢、大納言赤小豆ト云フノガ、卸二十六圓五十錢ト云フノガ、同ジク四月限受渡ノモノガ二十九圓ト云フ相場ガ立テラレテ居リマス、是ハ公認ノ取引所デアルノデスガ、公認ノ取引所デ公々然ト所謂闇相場ガ立ツテ居ルト云フコトハ、甚ダ面白クナイト思フノデアリマスガ、御承知デアリマスレバドウ云フ譯カ、御承知デナケレバ至急取調ノ上、適當ニ御處置ヲ願ヒイタ

○新倉政府委員 是ハ法律的ニ申上ゲマスト、取引所ニ於ケル取引ハ九・一八カラ除外シテ居リマス、隨テ今御詰ノ穀肥ノ取引

所ノヤウニ、法律ラ以テ認メラレタル取引所

ニ於ケル取引ハ、法律的ニハ差支ナイコトニナツテ居リマス、併シ是ハ實際問題トナリマスト、取引所ノ價格ト取引所外ノ現物ノ取引ノ價格ト違フト云フ問題ガアリマス、之ヲ實際ニドウ云フ風ニ調和スルカト云フコトニ付キマシテハ、今研究ヲ進メテ居リマス

○堀切委員長 ソレデハ主稅局長カラ、此ノ間ノ私ノ質問ニ對シ、此ノ際ニ一寸答辯致シテ置キタイト云フコトデアリマス

○大矢政府委員 此ノ間委員長カラ、昨年ノ圓「ブロック」ノ貿易ハ約十二億圓ノ輸出超過トナルガ、其ノ資金關係ハドウナツテ居ルカト云フ御尋デアリマス、昨年圓「ブロック」ニ對スル出超約十二億圓ノ中、約九億圓ハ滿洲國關係デアリマシテ、是ハ同年中ニ於テハ我國ノ對滿投資ト大體同ジ關係ニナツテ居ルノデアリマス、支那ニ對スル出超ハ約三億圓デアリマスガ、一方支那ニ對シマシテハ軍事費、開發資金ノ供給其ノ他ニ依リマシテ、相當多額ノ貿易外ノ支拂ガアルノデアリマシテ、此ノ貿易外ノ支拂勘定ハ、前ニ述ベマシタ輸出超過ニ依ツテハマダ相殺シ切レナイヤウナ狀態ニアルノデアリマス、大體左様デアリマス

○堀切委員長 ソレデハ今日ハ是デ散會致シマス

午後六時五分散會

昭和十五年三月十一日印刷

昭和十五年三月十三日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局